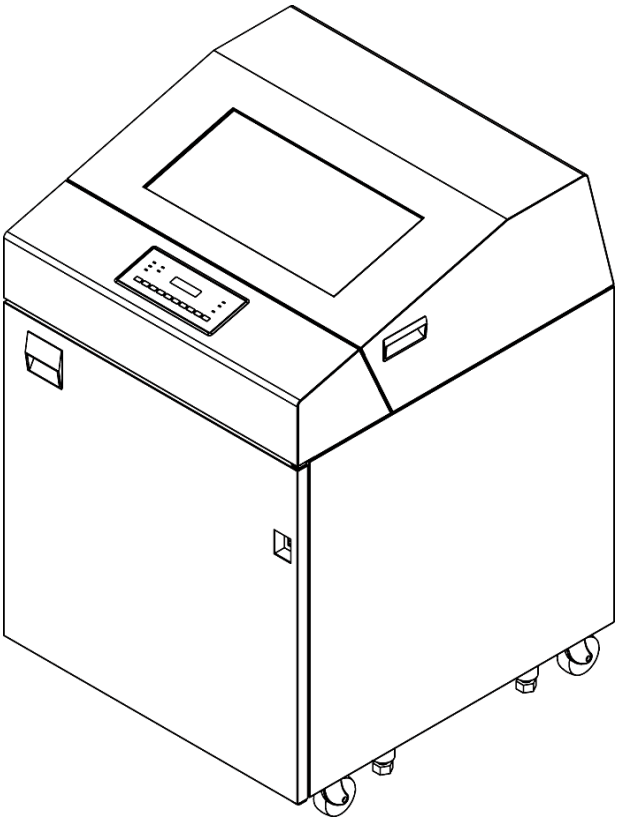
NEC

MultiImpact 750/500E

ラインプリンター

ユーザーズマニュアル



CBZ-040804-001-00
初版

安全な使用のために

● 本書の取り扱いについて

　このマニュアルには、本プリンターを安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。本プリンターをご使用になる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアルに記載されている安全上の注意事項をよく読み、理解された上で本プリンターをご使用ください。また、このマニュアルは、当製品の使用中、いつでも参照できるように、大切に保管してください。

● VCCI 適合基準について

　この装置は、クラスＡ機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI－A

● 漏えい電流自主規制について

本製品は、日本産業規格（JIS C 6950-1）の漏えい電流基準に適合しております。

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品です。

● 長時間、または大量に印刷するときの換気について

換気の悪い部屋で長時間使用するとき、または大量の印刷を行うときは、適切な換気を行ってください。

● 騒音について

この製品は、印刷中に騒音が発生しますので、事務所とは別室に設置することを推奨します。

は　じ　め　に

MultiImpact 750/500E（以下、本プリンター）は、Windowsアプリケーションから印刷することが可能な
ドットラインプリンターです。
本書は、本プリンターを使用するシステム設計者およびオペレーターの手引きにすることを目的として解説したものです。
ご使用前にこのユーザーズマニュアルをよくお読みいただき、本プリンターが十分に機能を発揮できますよう
正しい取扱いをお願いいたします。

2020年4月

安全にかかわる表示

本プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
ここではプリンターのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明します。また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本書ならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷** を負うおそれがあることを示します。
注意	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の３種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		**けが**をするおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		**特定しない一般的な注意・警告**を示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		破損した電源コードは使わないでください。**感電や火災**のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。		電源コードを中途半端に差し込まないでください。**火災**のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。**感電**のおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。**けが**をするおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。**感電**のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。**感電や火災**のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。**感電や発火**のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による**感電や火災**のおそれがあります。
	製品の近くで火器類を扱わないでください。**火災**の原因となるおそれがあります。		手や髪の毛を近づけないでください。プリンター内部に巻き込まれて**けが**をするおそれがあります。
	直射日光を避けてください。**発火**のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の禁止を示します。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

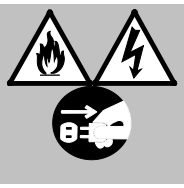
	プリンターの電源コードをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。	100V 専用	電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。**火災や漏電**のおそれがあります。
	電源コードはプラグ部を持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して**感電や火災**のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の強制を示します。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の記号を使っています。

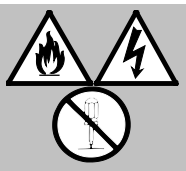
	内　　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

⚠ 警告



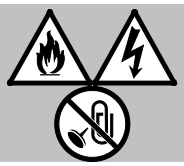
煙や異臭・異音がしたら電源を OFF にする

万一、煙・異臭・異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源コードをコンセントから抜いてください。その後、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。



分解・修理・改造はしない

分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。



針金や金属片を差し込まない

本プリンターのすきまから金属片や針金などの異物を落としたり、差し込んだりしないでください。感電や故障のおそれがあります。

ぬれた手で触らない

ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。また、通電中にぬれた手で本プリンター側面のインターフェース部や本プリンター内部に触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

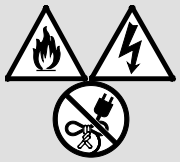
火の中に投げ入れない

本プリンターおよび本プリンター内蔵部品を火の中に投げ入れないでください。プラスチック部分が溶け出して、有害な成分が発生することがあります。

⚠ 注意

100V 以外のコンセントに差し込まない

電源は 100V の電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V 以外の電源を使うと火災や漏電になるおそれがあります。



電源コードは曲げたりねじったりしない

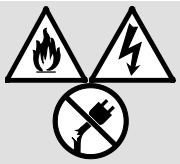
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードを中途半端に差し込まない

電源コードはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、電源プラグ部は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよく拭き取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となるおそれがあります。

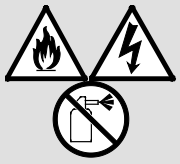
延長コードは使用しない

電源コードだけでコンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの容量超過により発熱するおそれがあります。



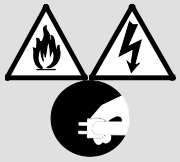
損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い上げの販売店またはサポート窓口へ修理を依頼してください。



電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源コードを抜くときは電源プラグ部を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

長期間使用しないときは電源コードを抜く

連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンター本体および電源コードを抜いてください。火災の原因となることがあります。

ほこり・湿気の多い場所で使用しない

本プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。

直射日光が当たる場所、温度変化の激しい場所には置かない

本プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。また温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）、湿気の多い場所には設置しないでください。温度変化により内部の温度が上がったり、結露現象が起こったりして、故障の原因となるばかりでなく、異常動作したり、火災を引き起こしたりすることがあります。

不安定な場所に置かない

本プリンターを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。

調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かない

絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。

本プリンターの上に重い物を置かない

置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
プリンター内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご相談ください。

配線部には触らない

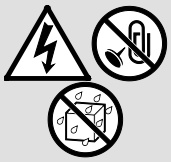
動作中でなくても、電源が ON になっているときに配線部に触ると、感電するおそれがあります。

高温部品に触らない

カバーを開けて作業する場合は、30 分ほど待って十分に冷めてから行ってください。本プリンターの動作直後に触ると火傷するおそれがあります。

指を挟まない

カバーの開閉時に指を挟まないように気を付けてください。けがをするおそれがあります。



本プリンター内に異物を入れない

本プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。
もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。

突起物に手などをぶつけない

本体内部の突起物などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

本プリンターに強い衝撃を与えない

カバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。万一、カバーなどを破損した場合は、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。

巻き込み注意

本プリンターの動作中、用紙を交換するときは本プリンターのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

雷が鳴りだしたら本プリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源コードをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて本プリンターには触らないでください。

お手入れの際は、電源コードをコンセントから抜く

感電の原因となるおそれがあります。

シンナーやベンジンなどの薬品類で本プリンターを拭かない

火災の原因となるおそれがあります。

移動するときは、電源コードを抜く

接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となるおそれがあります。

本プリンターを子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置いたりしない

感電・けがの原因となるおそれがあります。

添付の台座をしたに敷き、台足をおろしてプリンターを固定する。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となるおそれがあります。

動作中はトップカバーを閉じてご使用ください。

けがのおそれがあります。

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で１５分以上洗浄して医師に相談してください。

目や口にインクを入れない

インクリボンのインクを目や口に入れないでください。インクが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

電源コードをたこ足にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

商標について

NEC、NEC ロゴ、MultiImpact は日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

MultiImpact 750/500Eが使用するオープンソースソフトウェアについて

本装置は、BSD License等でライセンスされるオープンソースソフトウェアを使用しています。
これらのソフトウェアに適用されているライセンス全文は、ソフトウェアＣＤ－ＲＯＭに格納されています。

以下のファイルを参照してください。
　　ドライブ名：¥Manual¥License.txt

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation, NEC Embedded Products, Ltd. 2020
日本電気株式会社、NECエンベデッドプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

目次

安全な使用のために ii
は　じ　め　に iii
安全にかかわる表示 iv
商標について xi
MultiImpact 750/500Eが使用するオープンソースソフトウェアについて xi
ユーザーサポートについて xiv

第１章　概要 1
1.1　概要 1
1.2　各部の名称とはたらき 2
1.3　使用上のお願い 5
1.4　仕 様 6
1.5　機能面・運用面における注意事項 7
1.6　Windows環境で使用するソフトウェア 8

第２章　印刷の準備 9
2.1　添付品の確認 9
2.2　設置、移設 10
2.3　LANケーブルの接続 12
2.4　電源コードの接続 14
2.5　リボンカートリッジの取り付け 15
2.6　用紙のセット 18

第３章　操作について 26
3.1　電源の投入と切断 26
3.1.1　電源の投入 26
3.1.2　電源の切断 27
3.2　操作パネルの配置と機能 28
3.2.1　操作パネルの配置 28
3.2.2　液晶ディスプレイ 28
3.2.3　ランプの機能 28
3.2.4　スイッチの機能 29
3.3　プリンターの状態と操作パネルの表示 32
3.4　セットアップの操作 37
3.4.1　操作の流れ（基本的な操作） 37
3.4.2　設定の一覧 38
3.4.3　設定の印刷 41
3.4.4　設定の初期化 43
3.4.5　LAN設定 44
3.4.6　SNMP設定 45
3.5　テスト印刷をする 46
3.5.1　操作手順 46
3.5.2　印刷形式と終了条件 47
3.5.3　印刷例 48

3.6　用紙の交換 53
第４章　消耗品の交換および点検 54
4.1　リボンカートリッジの交換 55
4.2　インクリボン（サブカセット）の交換 58
4.3　インクリボンの注意事項 61
4.4　セパレータの清掃および交換 62

第５章　故障かな？と思ったら ･･ 65
5.1　プリンターがうまく動かないとき ･･ 65
5.1.1　プリンターの状態と対処方法 ･･ 65
5.1.2　液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき ･･････････････････ 66
5.2　印刷不良の対応について ･･ 69
5.3　リボンづまりのときの対処 ･･ 75
5.4　用紙づまりのときの対処 ･･ 76

第６章　用紙について ･･ 77
6.1　印刷用紙 ･･ 77
6.1.1　用紙の基本仕様 ･･ 77
6.1.2　用紙の連量 ･･ 78
6.1.3　用紙の一般的注意事項 ･･ 78
6.1.4　印刷領域 ･･ 79
6.2　用紙加工仕様 ･･ 80
6.2.1　ミシン目加工・送り孔加工 ･･ 80
6.2.2　複写用紙のとじ方 ･･ 82
6.3　特殊紙 ･･ 85
6.3.1　複写用紙で複写しない用紙がある場合について（給与明細書等々） ･･････ 85
6.3.2　ラベル紙（タック紙） ･･ 86
6.3.3　段差媒体 ･･ 87
6.3.4　孔つき用紙 ･･ 87
6.3.5　再生紙 ･･ 88
6.3.6　バーコード（イメージデータ）印刷時の注意事項 ･･････････････････････ 88

第７章　日常の点検とお手入れ ･･ 89
7.1　日常の点検 ･･ 89
7.2　日常の点検清掃 ･･ 90

第８章　設置に関する条件および注意事項 ･･････････････････････････････････････ 92
8.1　設置条件 ･･ 92
8.2　外形寸法 ･･ 93
8.3　設置スペースと設置上の注意事項 ･･ 94
8.4　プリンターの廃棄について ･･ 94

ユーザーサポートについて

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」はプリンターをお買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については「保証書」をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、プリンターをお買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせください。

チェック

本体の背面に製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名が明記された装置銘板が貼ってあります。お買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。
また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

修理について

保証期間中の修理は、「保証書」を添えてお申し込みください。本プリンターは出張修理対象品ですので、お買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせください。

重要

海外でのご使用について
本プリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合はNEC の海外拠点で修理することはできません。
また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。
したがって、本プリンターを輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

補修用部品について

プリンターの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後５年です。

情報サービスについて

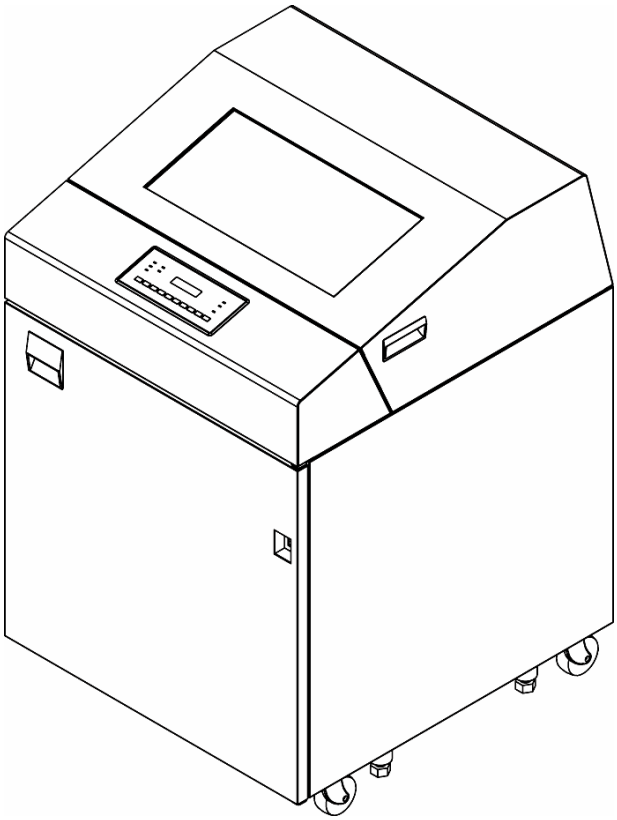
NEC製品に関する情報を、下記で提供しています。

インターネットの WEBページ	NECコーポレートサイト（http://jpn.nec.com/）

第１章　概　要

1.1　概要

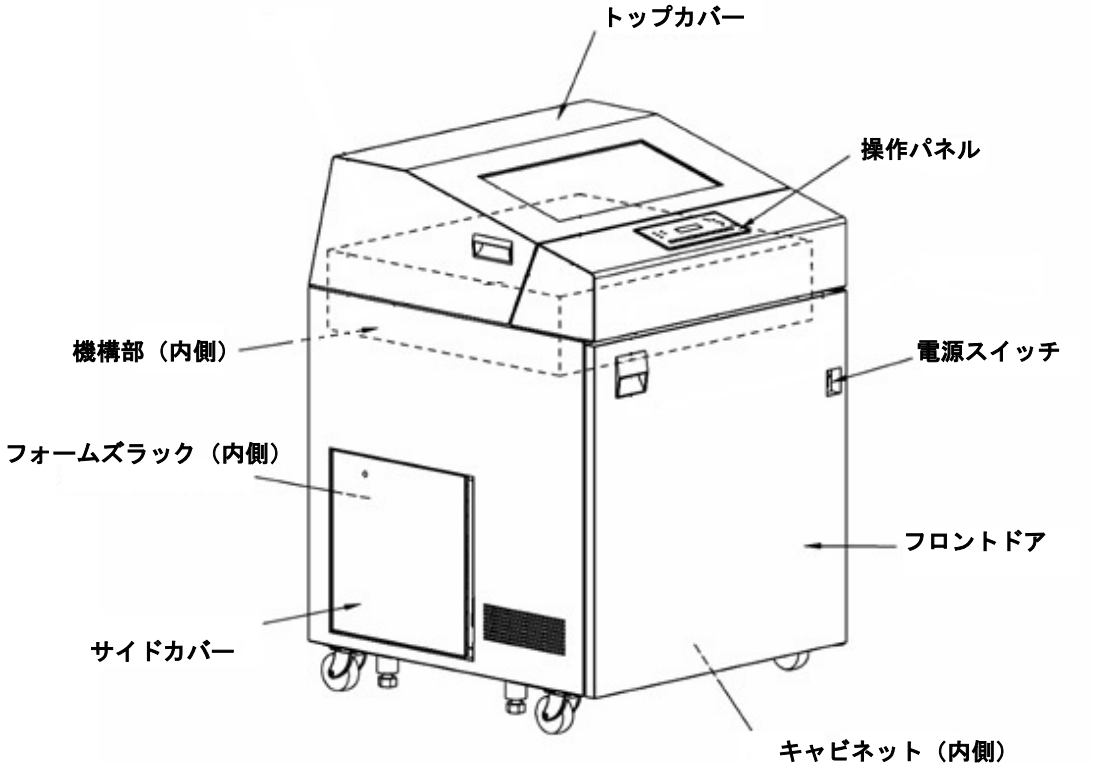
本プリンターは、Windowsパソコンのアプリケーションからの印刷が可能なネットワークプリンターです。
LAN接続された複数のクライアントサーバー混在のシステム環境において、それぞれのシステムのプリンターとして共有できます。
本プリンターの外観を以下に示します。

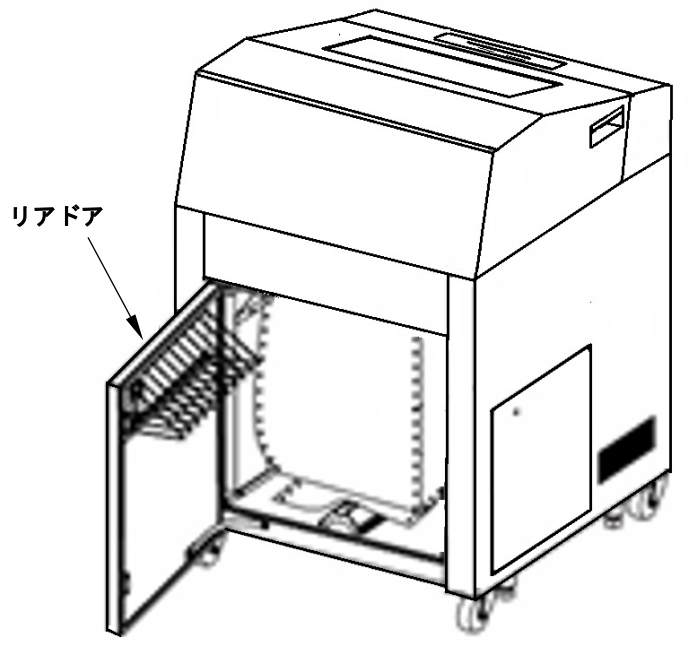


外観

1.2　各部の名称とはたらき

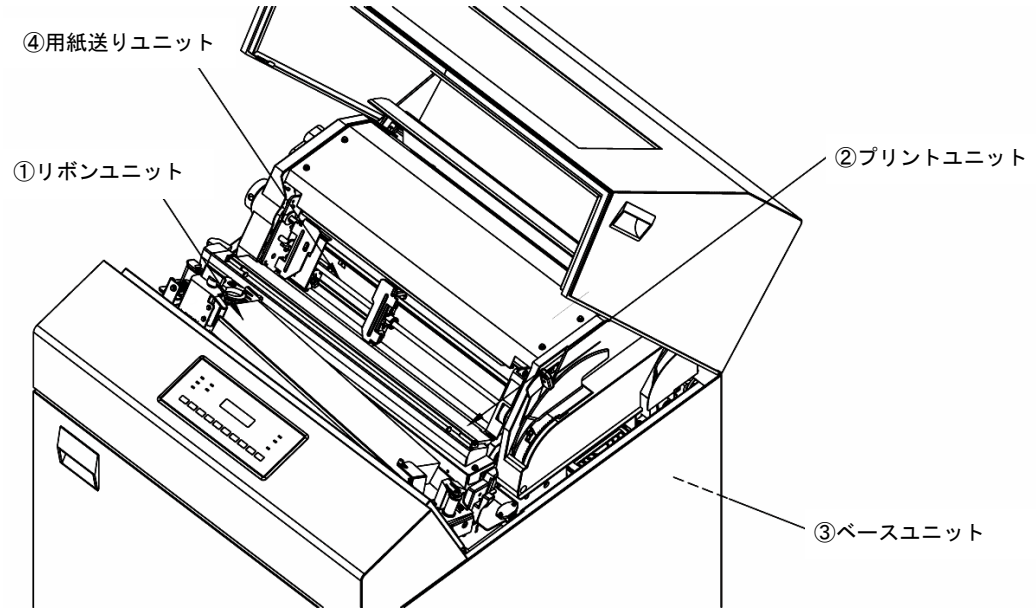
各部の構成を以下に示します。





●機構部

機構部はベースユニット、プリントユニット、用紙送りユニットおよびリボンユニットより構成されています。
機構部の構成を下図に示します。



① リボンユニット
リボンカートリッジを取り付け、リボン送りを行います。

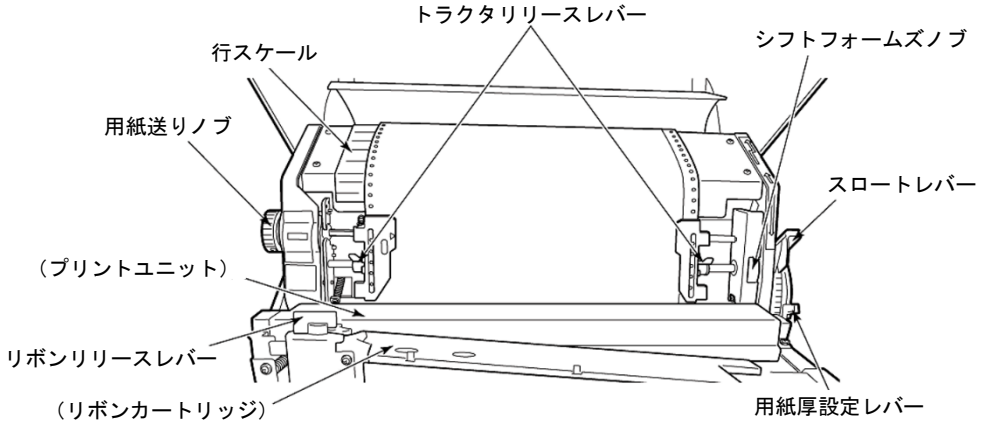
② プリントユニット
印刷を行う機構です。

③ ベースユニット
プリントユニット、用紙送りユニットおよびリボンユニットが実装されています。
この他に、スロートオープン機構(*1)と用紙厚調整機構(*2)が設けられています。

*1： プリントユニットと用紙送りユニットとの間隔を用紙装着時に拡げる機構です。

*2： 用紙の厚さに応じて、印刷の濃度を調整する機構です。

④ 用紙送りユニット
連続帳票用紙を送ります。
用紙送りユニットの詳細を下図に示します。



用紙送りユニットには、本プリンターの操作および調整に使用するレバーとノブがあります。
これらの機能は以下のとおりです。

スロートレバー ..... 用紙やインクリボンの交換などを行うときに使用します。
レバーを『開』位置にすると、プリントユニットと用紙送りユニットの間隔が拡がります。
用紙がつまったときは、レバーを『全開』位置にすると、取り除くことができます。
本レバーを操作するときは、プリンターを一時停止状態またはオフライン状態にします。

用紙厚設定レバー ..... 用紙の厚さに応じて印刷圧を調整するときに使用します。
用紙が薄い場合は手前（数字の小さい側）に、用紙が厚い場合は後方（数字の大きい側）にセットします。
本レバーの設定が適切でないと、印刷濃淡むらなどの印刷不良やリボンエラーなどが発生する原因となるので注意が必要です。

トラクタリリースレバー ... 用紙幅が変わったとき、用紙の位置を変えるとき、および用紙の水平方向の張力を調整するときに使用します。
レバーを起こすと、トラクタを移動させることができます。なお、左右に移動させる場合は、トラクタの上と下を押さえて移動させます。

用紙送りノブ ..... 用紙を行スケールに合わせるとき、および用紙に対する垂直方向の位置がずれたときに使用します。
このノブを回すと、印刷用紙は上方または下方に移動します。
このノブを使用して印刷用紙を下方に移動させたときは、印刷用紙のたるみを取り除くために軽く下方に引っ張ります。

⚠ 注意

印刷時は高速回転します。
髪や衣服等が巻き込まれないよう、注意してください。

シフトフォームズノブ ..... 用紙を水平方向に微調整するときに使用します。
用紙をセットしてこのノブを回すと、用紙を水平方向に約2.5mmずつ移動させることができます。

リボンリリースレバー ..... インクリボンを交換するときに使用します。
レバーを手前に引くと、インクリボンの脱着が可能となります。レバーを手前に引いたままだと、インクリボンがリボンカートリッジ内に繰り込まなくなるので注意してください。

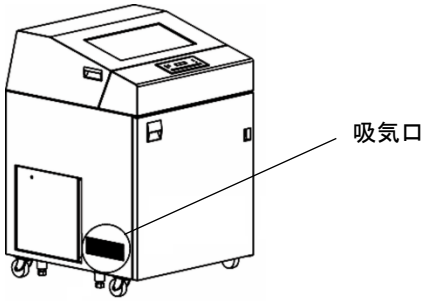
1.3　使用上のお願い

- 一度電源を切ったら、約10秒おいてから電源を投入してください。誤動作の原因となります。
- 印刷中、または操作中に不必要にスイッチを押さないでください。誤動作の原因となります。
- 機構部の調整レバーおよびノブは、回し過ぎると故障の原因となります。必要とされる範囲を超えて調整しないでください。
- ねじを緩めたり、ねじで固定されているカバーを開いたりするなど、操作に直接関連していないことを行わないでください。故障、感電や火災の原因となります。
- 印刷用紙やインクリボンを装着せずに印刷しないでください。
- Windowsアプリケーションからの印刷は、イメージデータとして印刷されます。

  バーコード（イメージデータ）/OCRフォント文字を印刷する場合は、運用を開始する前に十分な読取りテストを実施してください。

⚠ 注意

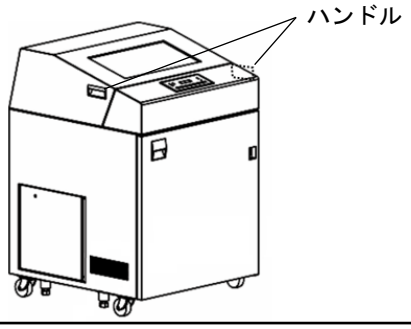
・吸気口をふさがないでください。
　吸気口前に物を置いたり壁につけたりしないでください。
　装置内部が高温となり、故障の原因となります。



・必ず台足をおろしてください。
　装置が動作中に移動、転倒することがあります。

⚠ 注意

・トップカバーの開閉は両手でハンドルを持って行ってください。
　片手で行うと、けがの原因となります。



1.4　仕　様

本プリンターの基本仕様を下表に示します。

基本仕様

項	項　　目		仕　　様	備　　考
1	印刷速度（注1）	高品位モード	360行/分（400行/分）	（）内は用紙厚調整レバーが1.5以下に設定かつ段差紙ではない場合
		通常モード	500行/分（550行/分）	
		高速モード	600行/分（660行/分）	
		高複写モード	各モードの1/2	
		段差媒体モード	各モードの約90%	
2	解像度		180dpi（縦）×180dpi（横）	
3	印刷桁数		漢字90桁、ANK136桁	
4	紙送りスキップ		16インチ／秒	
5	用紙サイズ	横寸法	3～16インチ	
		縦寸法	3～12インチ	折りたたみ7インチ以上
		連量	45～110Kg	
6	複写枚数	感圧紙	最大6枚	
		感圧紙（高複写モード）	最大8枚	
		裏カーボン	最大5枚	
7	分割印刷条件	黒点率	30%	
		同時ファイヤ	42%	
		温度分割	有り	
8	リボン	寿命	74万行（漢字1000万字相当）	印刷率15%
		詰替用サブカセット	有り	
		方式	カセット式	
9	用紙厚調整		手動調整	
10	寿命（注2）		6000万行または5年の早い方	
11	有寿命部品（注2）		印刷ヘッド：10億打／ピン セパレータ：600万行 リボン送りローラ：1000万行 タイミングベルト：1000万行 プラテン：1000万行 フィードローラ：1000万行 トラクタ：2000万行 除電ブラシ：1000万行	
12	インターフェース		LAN（100BASE-TX/10BASE-T）	

（注1）高密度の印刷を行った場合、印刷ヘッドを保護するために印刷速度が低下することがあります。またお客さまの環境などによっては、印刷速度が多少変化することがあります。

（注2）プリンターの設置環境や運用条件により、寿命期間内に交換が必要となる部品があります。これらの部品は有償もしくは保守契約の対象として交換を行います。

1.5　機能面・運用面における注意事項

(1)　保護機能
印刷する内容により、印刷速度が遅くなる場合があります

1) 印刷デューティが高い場合、3分割印刷により、印刷ヘッドおよび電源を保護します。

2) 印刷ヘッドの温度が規定値以上になると、3分割印刷により温度上昇を防止します。

3) 高速の印刷モードで印字中のときシャトルユニットの温度が規定値以上になると、通常の印刷モードにより温度上昇を防止します。

(2)　印刷制限条件
部品寿命の低下をまねく場合がある為、以下の動作は行わないでください。

1) 連続改行は、1分間以上行わないでください。
2) 5桁（パイカピッチ）以下の連続印刷またはスペース動作は、5分間以上行わないでください。
3) 50%デューティ以上のパターンの連続印刷は、1分以上行わないでください。
4) 横罫線等の特定ドットの連続印刷は、1分以上行わないでください。

(3)　通常モード、高速モードの印刷品位について
通常／高速モードは、印刷すべきドットを単純に間引いて、高速性を実現しています。
従って高品位モードと比較して、印刷品質が粗くなりますので注意願います。特に複写伝票に印刷する場合は、印刷濃度が低下しますので注意願います。このモードで印刷したOCR、バーコード（イメージデータ）等の読み取りは出来ません。

(4)　印刷可能領域について

1) 印刷可能領域外への印刷における印刷品質は保証できません。
2) 印刷可能領域外へ印刷を行うと、印刷ヘッドの損傷等プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
3) 下端近くに印刷を行いますと、プリンターが用紙切れを検出し、印刷が失敗することがありますので、印刷可能領域内に印刷してください。余白を設定できないアプリケーションの場合は、以下の操作を行ってください。

プリンターフォルダーを開き、「プリントサーバーのプロパティ」の「用紙」タブで余白を考慮した用紙を作成し、ご使用ください。

*1：お使いの Windows によって、[プリントサーバーのプロパティ]の名称や
開く方法が異なる場合があります。
また、作成手順や表示内容が異なる場合があります。そのときは、表示内容に従って作成してください。

(5)　印刷ヘッド動作方向設定について
印刷ヘッド動作方向の初期値は、両方向印刷になっています。
このため、バーコード（イメージデータ）、図形などを印刷する場合、正逆印刷ずれが発生することがあります。
これらの印刷を行う場合は、セットアップの印刷ヘッド動作方向設定で片方向印刷に設定することを推奨します。ただし、印刷速度は遅くなります。

(6)　省電力モードについて
上位装置から印刷データが送信されてこない、かつ操作パネルのスイッチが押下されない状態が一定時間続くと省電力モードへ移行します。
省電力モードへの移行時間に関する設定はセットアップモードで行ってください。
（「3.4.2 設定の一覧（38ページ）」参照）

1.6 Windows環境で使用するソフトウェア

本プリンターには、Windowsネットワーク環境で使用するための以下の関連ソフトウェアが標準添付されています。インストール方法や使用方法は「ソフトウエアマニュアル」をご覧ください。

(1) プリンタードライバー
Windowsパソコンから印刷を行う場合に必要なプリンタードライバーです。

(2) リモートパネル
本プリンターの操作パネルから行う各種設定をご使用のコンピュータの画面上で実行出来るように作成されたソフトウェアです。

(3) プリンターLAN設定ツール
パソコンからプリンターのIPアドレスなど、LAN設定を行うソフトウェアです。
また、本プリンターのネットワークポートを作成することもできます。

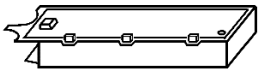
第２章　印刷の準備

2.1　添付品の確認

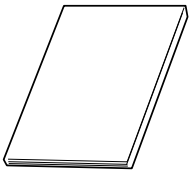
本プリンターの添付品用梱包箱をあけると、以下の添付品が収納されています。すべて
そろっていることを確認してください。（リボンカートリッジはプリンターに実装してあります。）

万一、足りないものや損傷があった場合は、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。

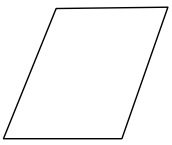
1. リボンカートリッジ



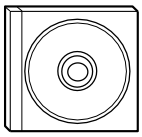
2. ソフトウエアのご使用条件



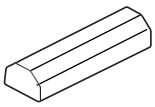
3. 保証書



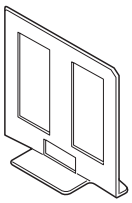
4. CD-ROM(1枚)



5. 用紙ドーム



6. ガイド



7. 台座（4個）

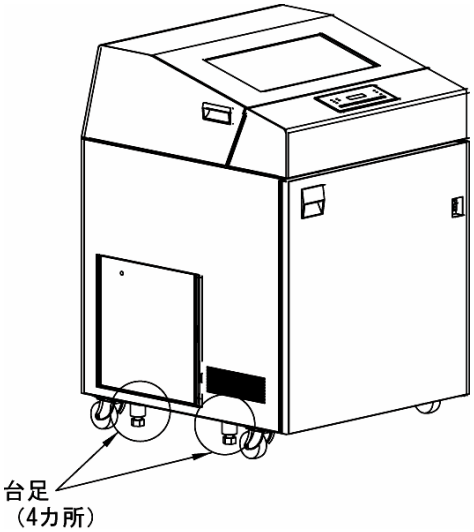
お使いになる前に、次のことを忘れずに行ってください。

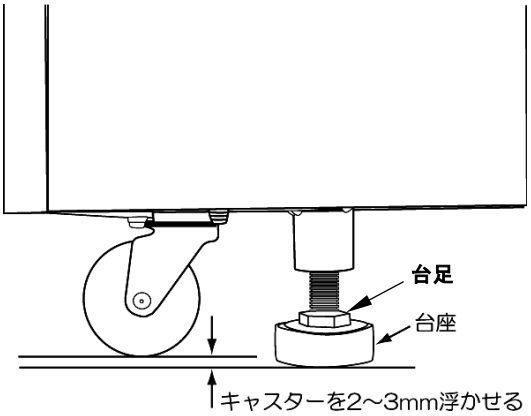
・本プリンターに LAN ケーブルは含まれていませんので、別途用意してください。
　なお、LAN ケーブルの購入方法、その他不明な点については、お買い上げの販売店または
　サポート窓口へお問い合わせください。（市販のCAT5以上をお求めください。）
・保証書は大切に保管してください。

2.2　設置、移設

1 プリンターの設置場所を設定します。
設置条件については 「8.3　設置スペースと設置上の注意事項（94ページ）」を参照してください。

2 添付の台座を下に敷き、台足をおろしてプリンターを固定してください。（4ヶ所）





キャスターが床から約2～3mm浮くようにしてください。

⚠ 注意

台足をおろしてください。
台足をおろさないと装置が動作中に移動することがあります。
設置、移設時にはフォークリフトを使用しないでください。

3 移設時の注意事項

事務所のレイアウト変更など同一フロア内でプリンターを移設するときは、次の点に注意してください。移設によりケーブルの取り外し、接続を行うときは、すべての機器の電源を切断します。

●必ず電源を切断する
プリンターの電源スイッチを切った後に電源コードをコンセントから外します。

●必ずLANケーブルを外す
LANケーブルを接続したままプリンターを移動すると、LANケーブルの断線や他の物の転倒などを引き起こすことがありますので、LANケーブルは外してください。

●移動は、プリンターに衝撃を与えないように行ってください。

- プリンターの前後方向にはキャスターが付いているので、静かに押して移動します。

注）プリンターは、台足で固定されているので、移動する際は台足を上げて行ってください。（スパナ等の工具が必要です）

●移動はプリンターのカバーおよび扉を持って動かさない
カバーおよび扉を持って動かすと、カバーおよび扉が破損するおそれがあります。

●動作させる前に確認する
- 接続を完了した後は、必ず接続の再確認を行います。
- コンセントは、あらかじめ確認されているものを使用してください。

●動作確認
- 本プリンターのみを電源投入して、動作確認を行います。確認結果が正常であれば、他の機器の電源を投入します。
- パソコン等が変更された場合、再度セットアップ作業を行ってください。

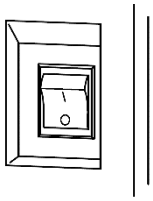
2.3　LANケーブルの接続

⚠ 注意

LANケーブルを抜き差しするときは、必ず本プリンターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いたあとに行ってください。

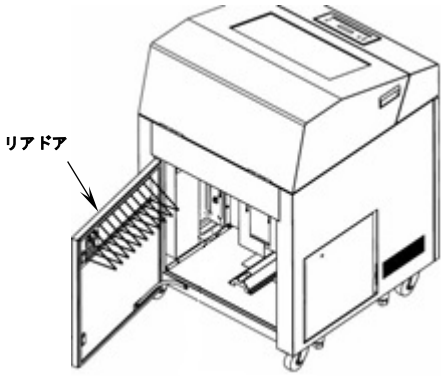
LANケーブルの接続は、次の手順で行います。

1　プリンターの電源が切れていることを確認します。
電源スイッチが（○側）に倒れた状態です。

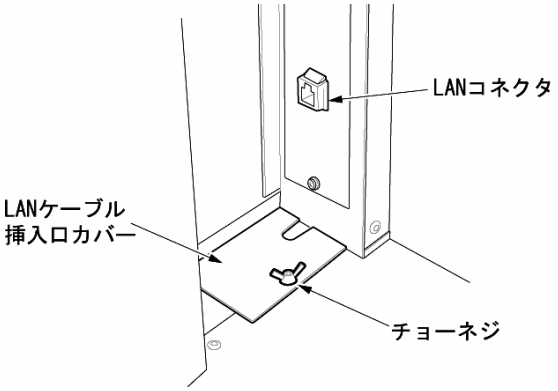


2　電源コードがコンセントから抜けていることを確認します。

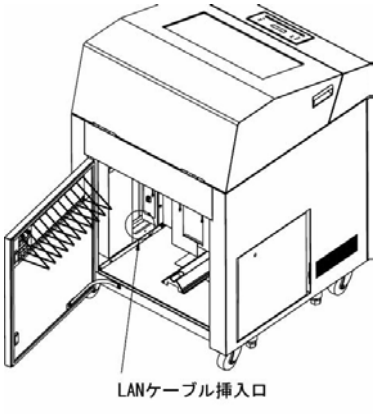
3　リアドアを開きます。

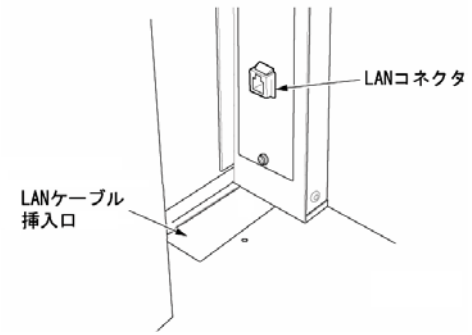


4　キャビネット内のLANケーブル挿入口カバーを取り外します。
（チョーネジ1本）

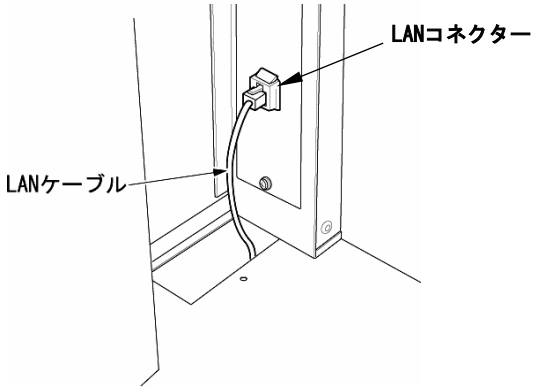


5　LANケーブル挿入口から、LANケーブルをプリンター内へ挿入します。





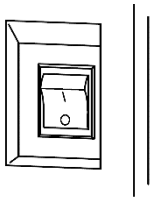
6　LANケーブルをLANコネクターに接続します。



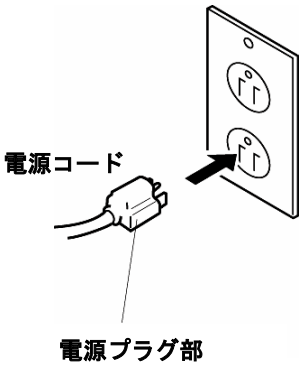
7　LANケーブル挿入口カバーを元の位置に取り付けます。

2.4　電源コードの接続

1　プリンターの電源が切れていることを確認します。
電源スイッチが（○側）に倒れた状態です。



2　電源コードをコンセントに接続します。



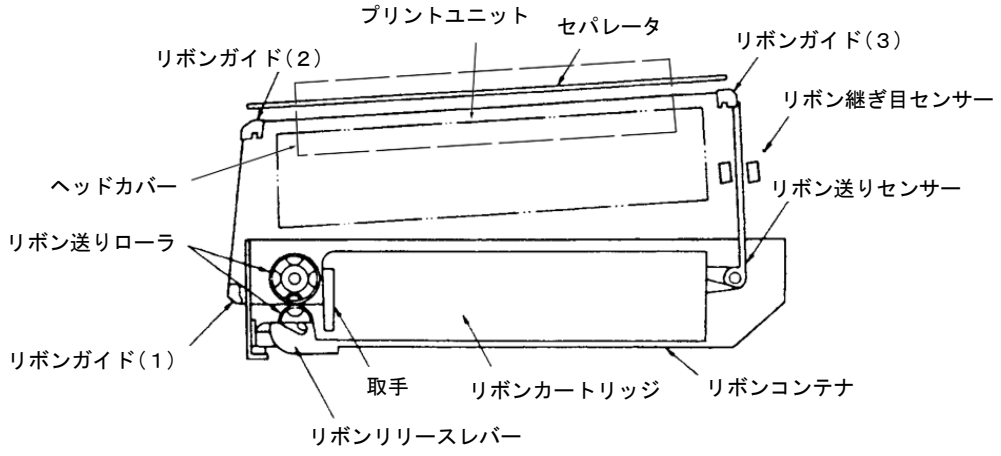
警告

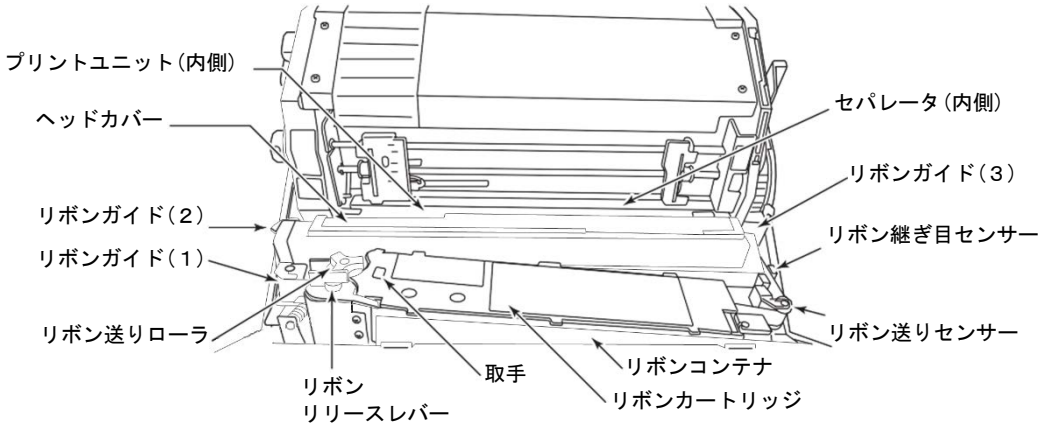
・電源コードの抜き差しは、必ず電源プラグ部を持って行ってください。
・ぬれた手で電源コードをあつかわないでください。感電のおそれがあり、大変危険です。

✔チェック
電源コードはコンセントに直接接続してください。
同じ電源系統に他機器を接続するとＡＣ入力の容量不足により、瞬断の原因となります。

2.5　リボンカートリッジの取り付け

インクリボンの走行ルートが下図のようになるよう、リボンカートリッジを取り付けます。



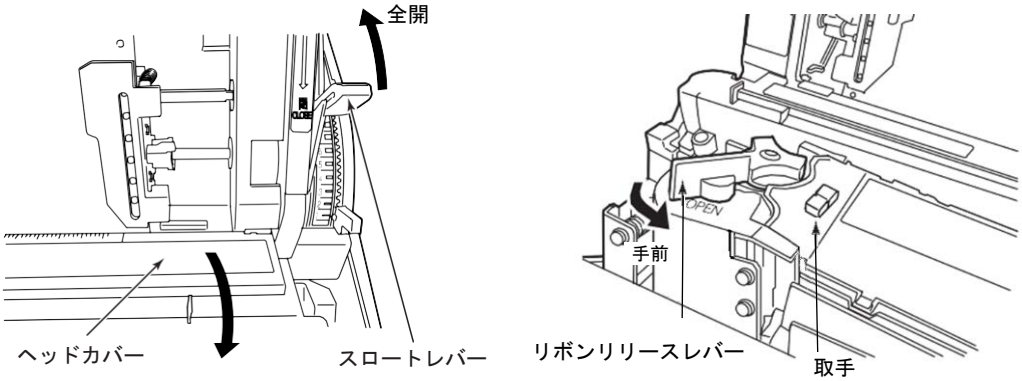


チェック

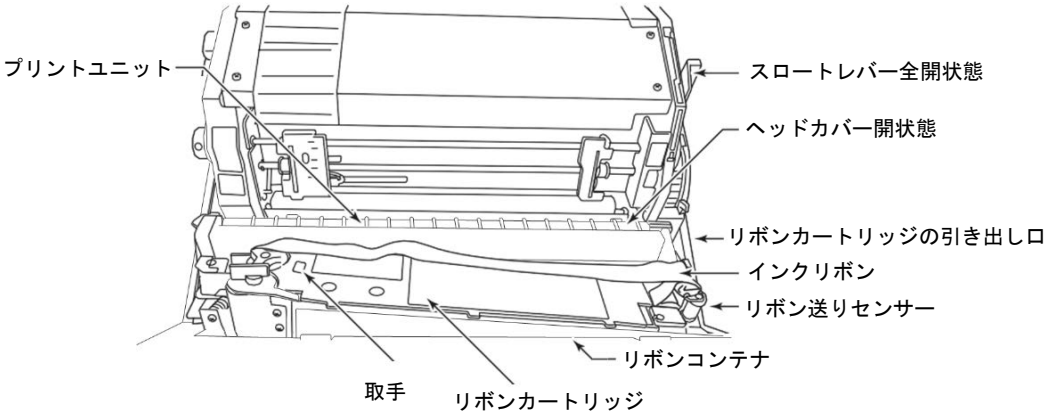
リボンカートリッジを交換するときは、「4.1　リボンカートリッジの交換（55ページ）」の手順でリボンカートリッジを取り外してから、新しいリボンカートリッジを取り付けてください。

インクリボンの取り付けは、以下の手順で行います。

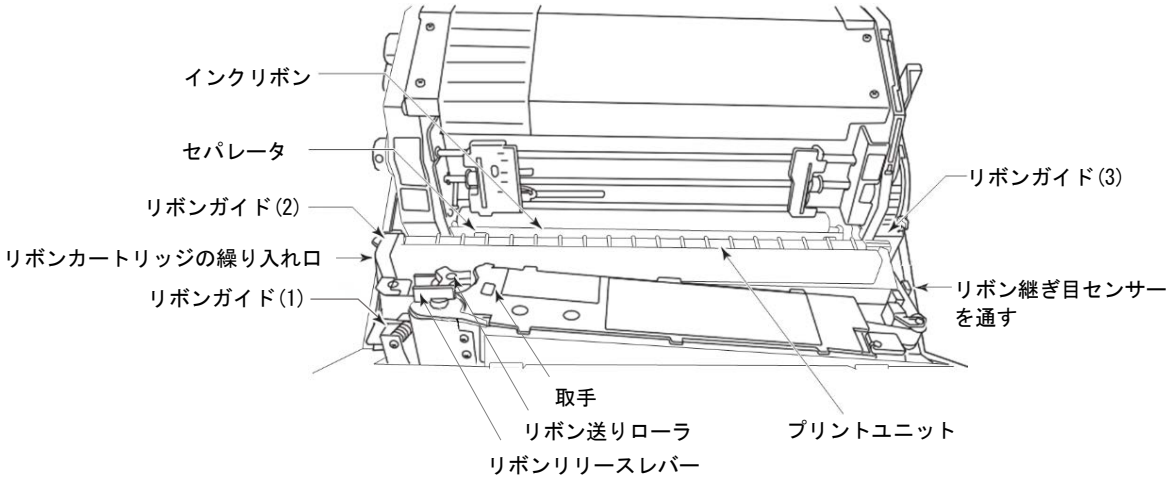
1. トップカバーを開け、スロートレバーを『全開』の位置にします。
2. リボンリリースレバーを手前に引きます。
3. ヘッドカバーを開きます。



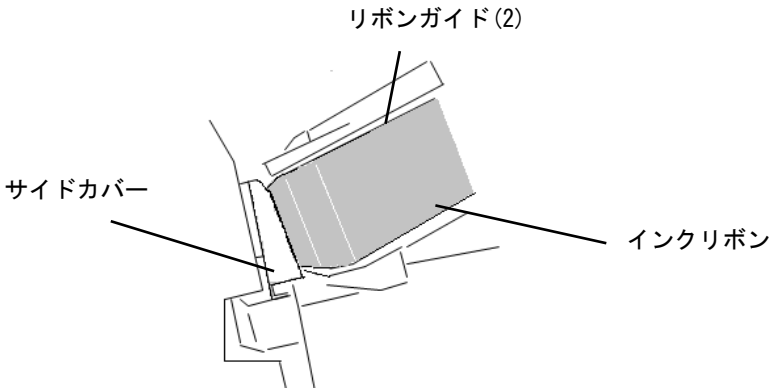
4 リボンカートリッジの引出し口(取手の反対側)からインクリボンを引き出し、リボン送りセンサーに掛けてから、リボンカートリッジをリボンコンテナの右側に押し込みます。



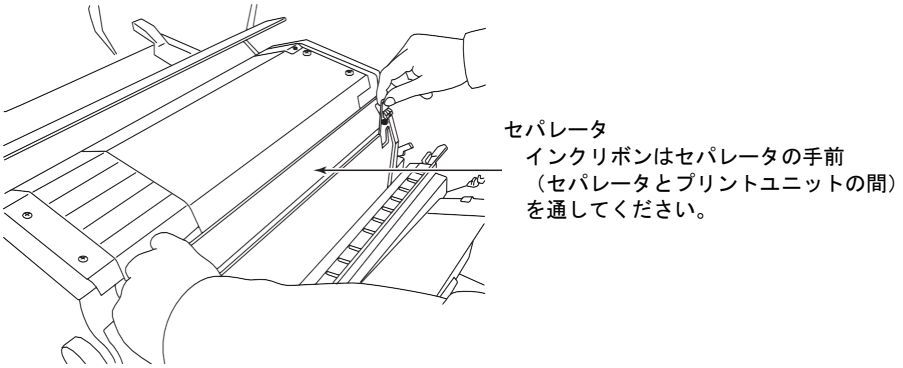
5 リボンカートリッジの繰り入れ口（取手側）からインクリボンを引き出し、リボン送りローラの間を通してリボンガイド(1)と(2)に掛け、セパレータの手前（セパレータとプリントユニットの間）を通してリボンガイド(3)に掛け、リボン継ぎ目センサーに通します。



(注)インクリボンは、リボンガイド(2)とサイドカバーの間を通してください。

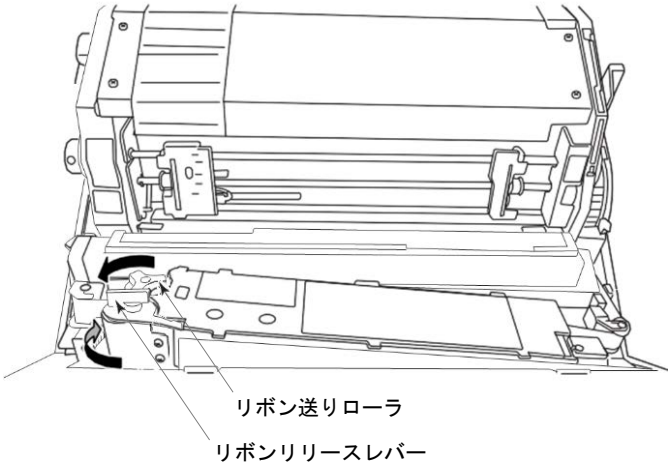


リボンカートリッジ繰り入れ口側から見た図



6 リボンリリースレバーを元に戻し、リボン送りローラを閉じます。

7 リボン送りローラを手で回し、インクリボンをリボンカートリッジの中に押し込んで、インクリボンのたるみを除きます。



8 インクリボンにねじれやたるみがないことを確認します。

9 ヘッドカバーを閉じます。

10 スロートレバーを『閉』位置にします。

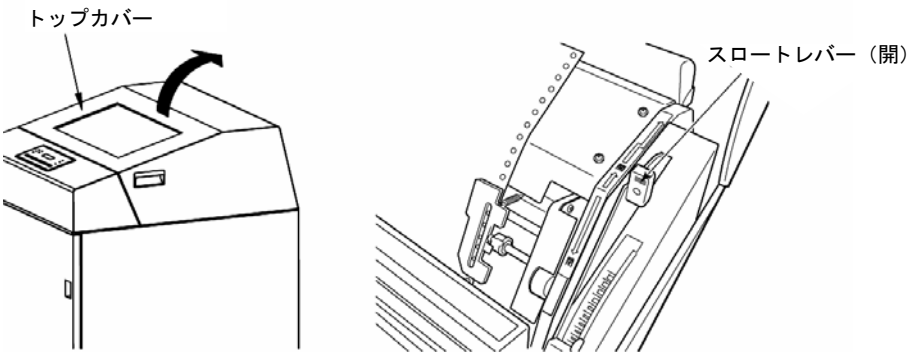
11 トップカバーを閉じます。

2.6　用紙のセット

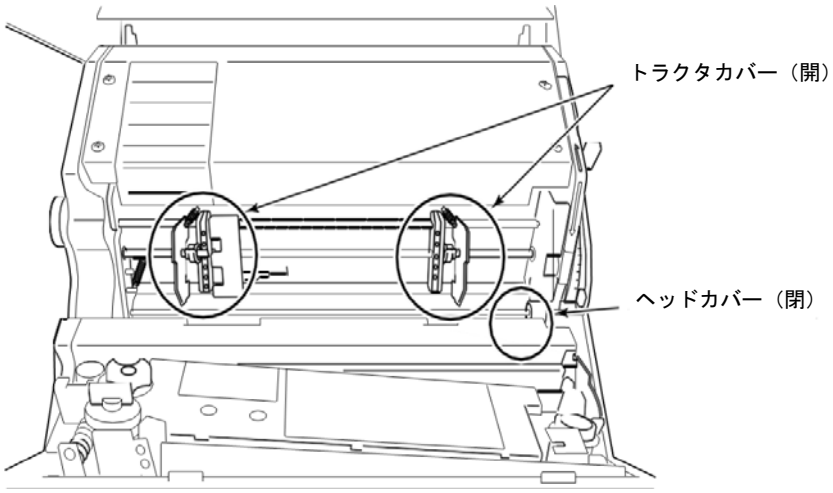
用紙のセットは次の手順で行います。使用可能な用紙については第６章「用紙について」（77ページ）をお読みください。

1 印刷可 スイッチを押して、オンライン状態にします。

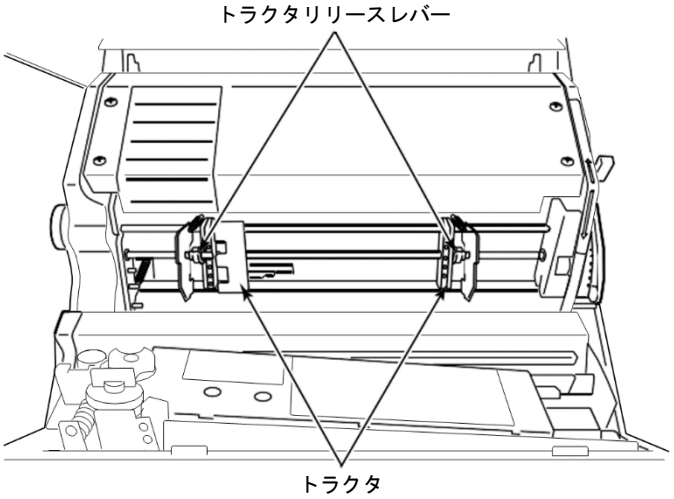
2 トップカバーを開け、スロートレバーを『開』位置にします。



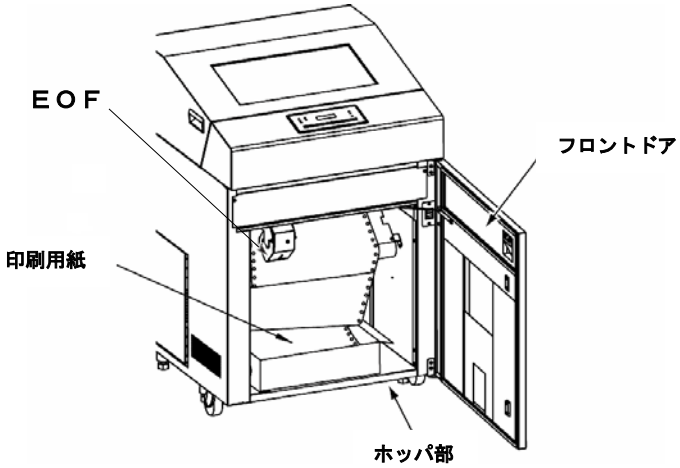
3 左右のトラクタカバーを開きます。（ヘッドカバーが開いている場合は閉じてください）



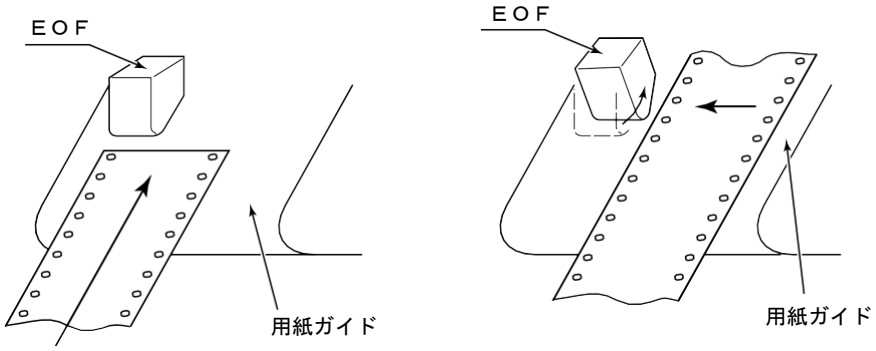
4 左右のトラクタリリースレバーを下方向に倒して、トラクタが自由に動くようになったらトラクタの位置を左右端に移動します。



5　フロントドアを開け、印刷用紙をホッパ部に入れます。



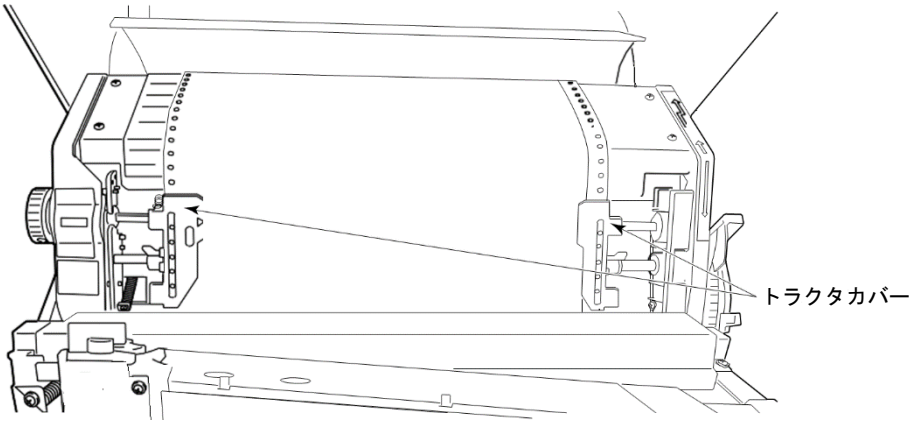
6　印刷用紙を用紙切れ検出部（EOF）と用紙ガイドの間に挿入させて、トラクタ位置まで押し上げます。



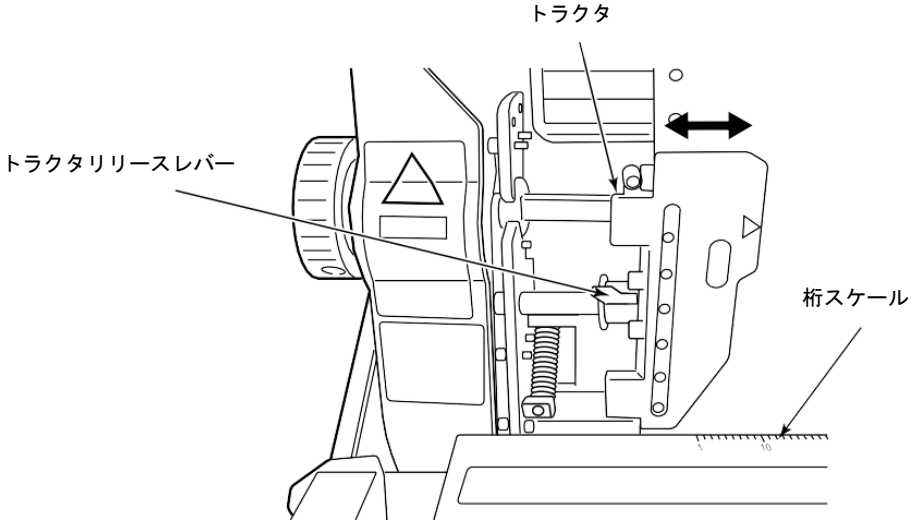
✔チェック

用紙を横から入れるときは、用紙切れ検出部（EOF）を押し上げてください。

7　印刷用紙を左右のトラクタに装着し、トラクタカバーを閉じます。



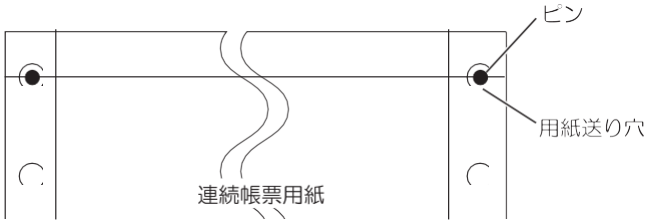
8 桁スケールを目安にして、印刷用紙が最適な位置になるように、用紙ごとトラクタを移動させ、トラクタリリースレバーをロックします。



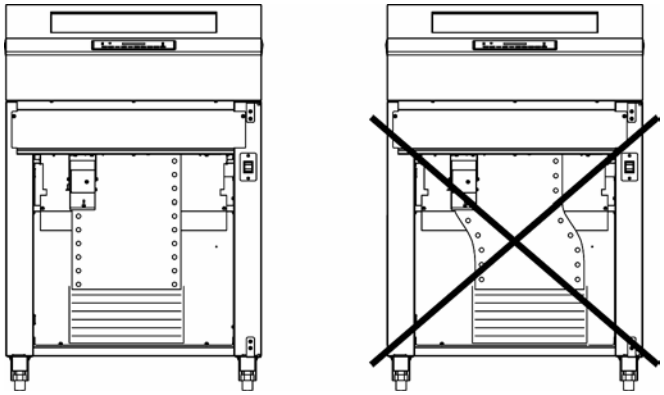
✔チェック

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。

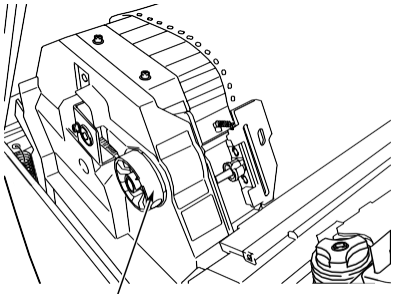
- 用紙をトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクタの幅を調整してください。（トラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。
- 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

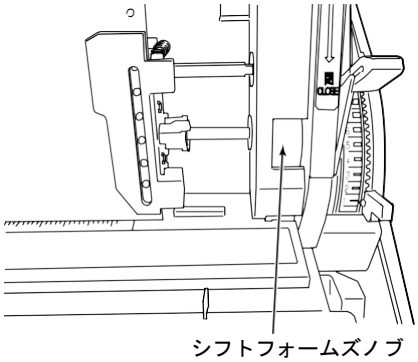


9 印刷用紙がねじれないで真っ直ぐに供給されるように、ホッパ部の印刷用紙収容位置を直し、フロントドアを閉じます。

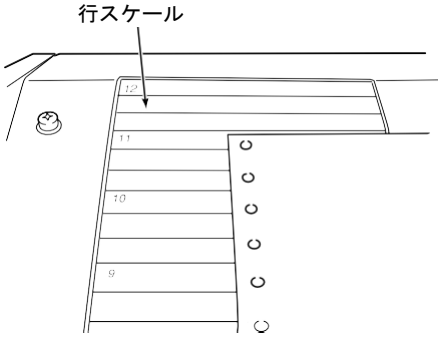


10 用紙送りノブを回して、行スケールを目安に印刷開始位置を合わせます。
印刷用紙の長さに合わせて、用紙先端を行スケールに合わせます。
桁方向の微調整を行う場合は、シフトフォームズノブを回して調整します。

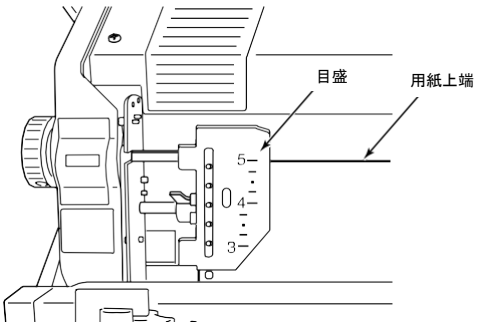




例： 用紙長さが11インチの場合は、行スケールの11のラインに用紙先端を合わせます。

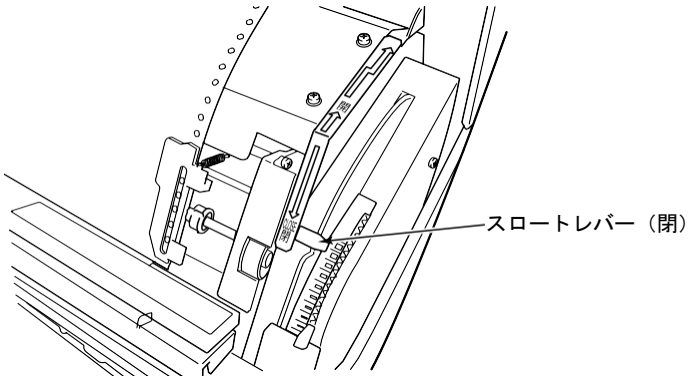


例： 用紙長さが6インチ未満の場合は、左側のトラクタカバーの目盛で合わせてください。

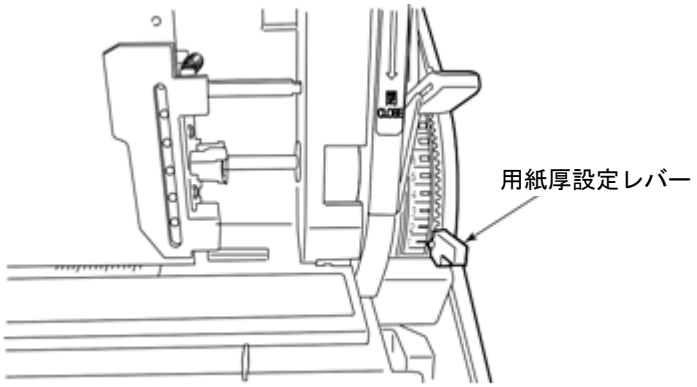


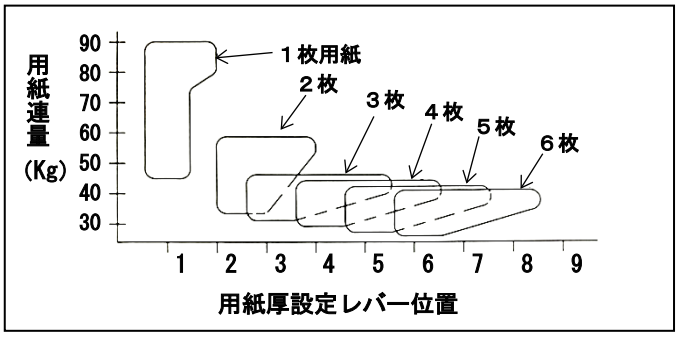
用紙送りに必要なため、先頭ページは印刷することができません。

11 スロートレバーを『閉』の位置にします。



12 用紙厚を調整します。
用紙の厚さ（連量）、枚数に合わせて用紙厚設定レバーを設定します。厚さ（連量）と用紙厚設定レバー設定位置の目安を以下に示します。



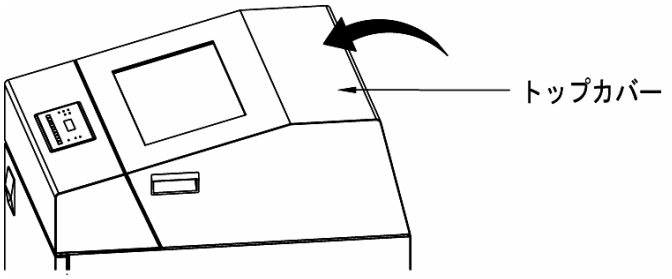


- 設定値の番号は、標準紙の枚数に相当しますので、用紙厚設定レバー位置は、用紙枚数に合わせます。7P/8P用紙も同様です。
- 厚紙やカーボン紙などの複写紙は、紙質により適正位置が異なりますので、印刷結果を確認してください。
用紙厚設定レバーの設定が適正でないと、次の問題が生じますので注意してください。

用紙厚設定レバーの設定が適正位置よりも狭い（番号が小さい）場合
- 印刷用紙の左右送り穴が破損します。
- インクリボンが走行不良となります。
- 印刷汚れ、リボンかすれなどの印刷不良を起こしたり、印刷ヘッドが損傷する可能性があります。

用紙厚設定レバーの設定が適正位置よりも広い（番号が大きい）場合
- 印刷かすれ、印刷抜けなどの印刷不良を起こしたり、印刷ヘッドを損傷する可能性があります。
- バーコード（イメージデータ）等の読み取りを行うデータを印刷する場合は、特に用紙厚設定レバーの調整に注意してください。
  設定値が適正でないと読み取りできない場合があります。

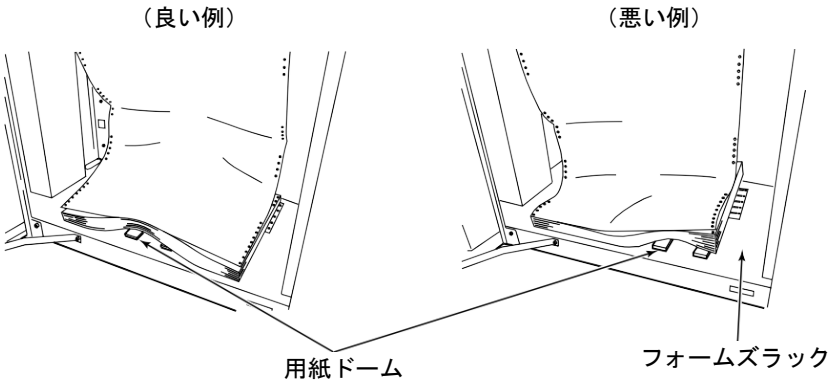
13 トップカバーを閉じます。



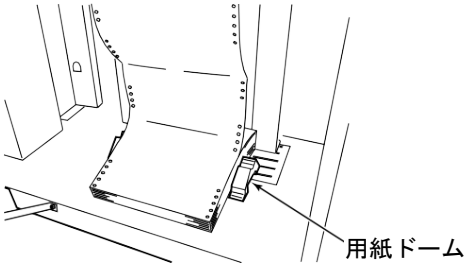
14 リアドアを開け、印刷用紙の種類に応じて、フォームズラック内の用紙ドームと用紙ストッパを最適位置にセットします。

【用紙ドームのセット方法】
用紙ドームは、用紙の取り出しを容易にするために使用します。
用紙ドームのセット位置は、用紙のサイズ、種類によって異なりますので、適切な収容ができるように確認して、セットしてください。
用紙ドームのセット例を以下に示します。

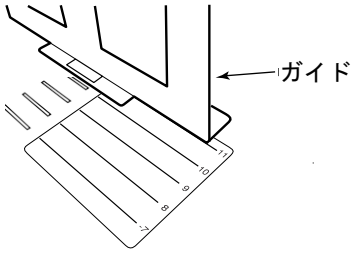
- 用紙幅が用紙長さよりも大きい場合…用紙ドームを用紙の中央にセットします。

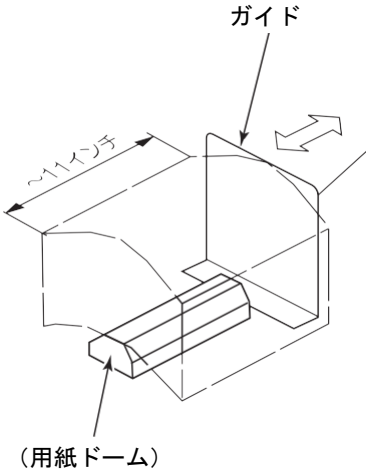


- 用紙幅が用紙長さよりも小さい場合…用紙ドームを横方向にセットします。

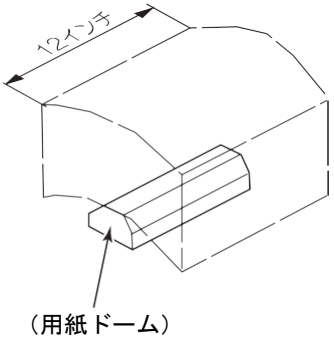


【ガイドのセット方法】
ガイドは、用紙の折り畳み長さに合わせて、セットします。
折り畳み長さ12インチの用紙の場合は、ガイドを外して使用ください。





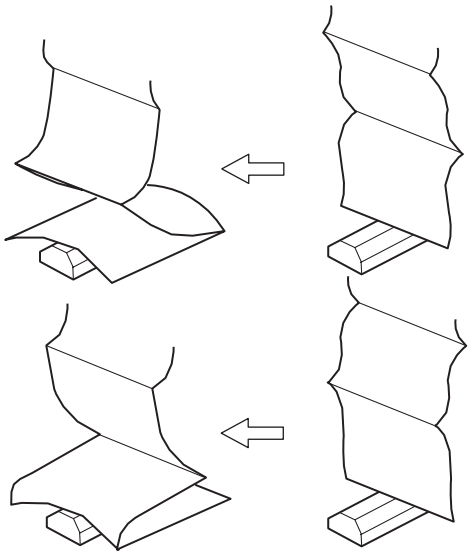
折り畳み用紙長さが１１インチ以下の場合



折り畳み用紙長さが１２インチの場合

15 印刷可 スイッチを押して、オンライン状態にします。

16 印刷の終了した用紙が確実に繰り出され、フォームズラック内で適切に折り畳まれることを確認します。
このとき、印刷用紙の折り目（横ミシン目）が用紙の山谷どおり（印刷前の箱収容時と同じ折り方向）に折り畳まれるようにしてください。



✔チェック

- フォームズラック内に収容された用紙が、下図のようになると折りたたみができなくなるので、手で用紙のふくらみを押しつけて、形を修正してください。

用紙の上面がU字形に曲がる場合

用紙が次第にずれたりねじれたりする場合

- 200～300ページごとに用紙を押しつけると、折りたたみ性が改善されます。
- 用紙はジョブごとに取り去り、用紙をためないようにしてください。
- 折りたたみが悪いまま印刷を続けると、用紙づまりが発生する場合があります。

第３章　操作について

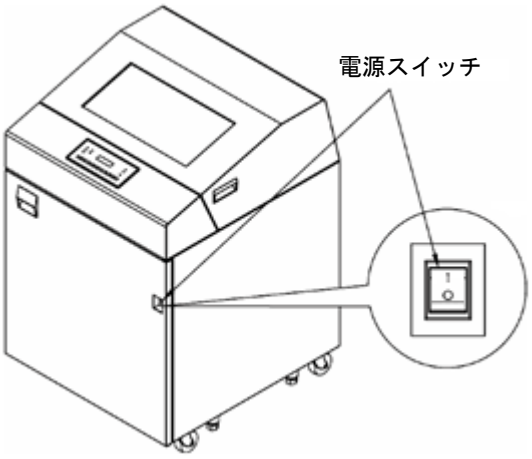
3.1　電源の投入と切断

3.1.1　電源の投入

電源の投入は、以下の手順で行います。

1 インクリボンがセットされていることを確認します。

2 電源スイッチをON（「｜」側）にします。
ハードウェアの自己診断が開始されます。
自己診断中は、操作パネルに『ショキシンダンチュウ』と表示されます。



3 『オンライン』と表示されたら 印刷可 スイッチを押し、オフライン状態にします。

4 『オフライン』と表示されたら、用紙の位置を確認し、印刷可 スイッチを押します。
（用紙の位置の確認は「2.6用紙のセット（18ページ）」を参照してください。）

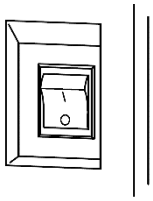
✔チェック

- 自己診断中にエラーが発生した場合は、「アラーム」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーの状態が表示されます。
- オートオンラインが無効の場合は、『オフライン』と表示されます。この場合は、手順３の操作は不要です。（オートオンラインは、セットアップで設定します。セットアップについては、「3.4 セットアップの操作（37ページ）」を参照してください。）

3.1.2　電源の切断

電源の切断は、以下の手順で行います。

1. 印刷動作中および用紙送り動作中でないことを確認します。
2. 電源スイッチをOFF（「○」側）にします。

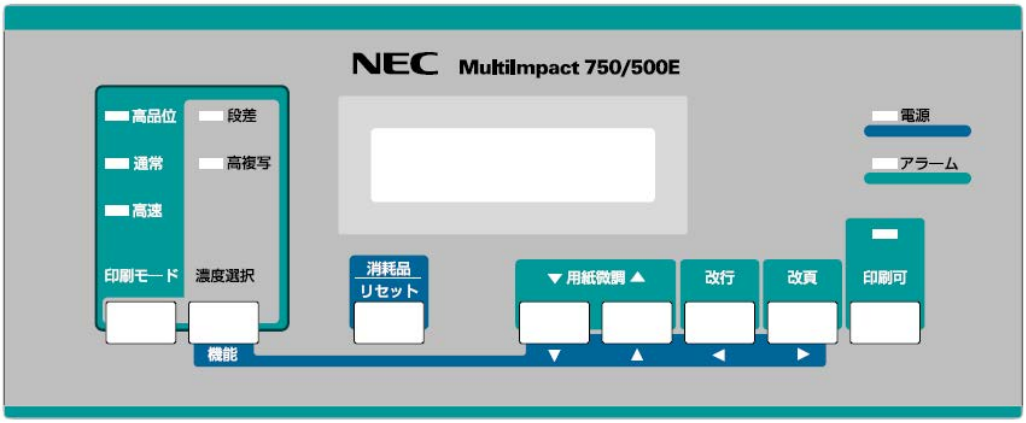


3.2　操作パネルの配置と機能

本プリンターの前面にある操作パネルには、操作に必要なスイッチ、ランプ、および液晶ディスプレイがあります。

3.2.1　操作パネルの配置

本プリンターの操作パネルの配置を下図に示します。



操作パネルの配置図

3.2.2　液晶ディスプレイ

プリンターの設定状態やエラー発生時にその内容を、16桁×2行で表示します。

3.2.3　ランプの機能

ランプ	色	機　能
印刷可	緑	オンライン状態のときに点灯します。 データ受信中（データ処理中）のときに点滅します。
電源	緑	電源が投入されている時に点灯します。
アラーム	黄	エラーが発生した時に点灯します。
高品位	緑	印刷モード スイッチで高品位モードを選択した時に点灯します。
通常	緑	印刷モード スイッチで通常モードを選択した時に点灯します。
高速	緑	印刷モード スイッチで高速モードを選択した時に点灯します。
段差	緑	濃度選択 スイッチ＋ 印刷モード スイッチで段差媒体モードを選択した時に点灯します。
高複写	緑	濃度選択 スイッチ＋ 印刷モード スイッチで高複写モードを選択した時に点灯します。

注）　電源投入時の高品位／通常／高速、段差、高複写ランプは、セットアップの設定内容で点灯します。
高品位／通常／高速ランプは、印刷モード スイッチの設定値（初期値）を意味し、データによる印刷モード指示に影響されません。

3.2.4　スイッチの機能

操作パネルにあるスイッチとその機能は、次のとおりです。

○：有効、×：無効

スイッチ	機能	状態	
		ｵﾝﾗｲﾝ	ｵﾌﾗｲﾝ
印刷可	- オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。 - 次の場合、用紙たるみとり動作（1/2インチ）を行います。 －電源投入直後またはエラー状態解除直後で、用紙たるみとり動作未実施の状態からオンライン状態に移行したとき - 次の場合、オンライン状態に移行しません。 －アラームランプ点灯時 －用紙未セット状態	○	○
改頁	- 用紙をページの先頭まで送ります。 - 次の場合、用紙たるみとり動作（1/2インチ）を行います。 －電源投入直後またはエラー状態解除直後で、用紙たるみとり動作未実施の状態からオンライン状態に移行したとき - 改頁スイッチにおける改ページ動作は、分割スキップの対象となりません。	×	○
改行	- 1行だけ改行動作を行います。 - 改行量は、現改行ピッチで改行動作を行います。 - 押し続けると１改行を連続して行います。 - 次の場合、用紙たるみとり動作（1/2インチ）を行います。 －電源投入直後またはエラー状態解除直後で、用紙たるみとり動作未実施の状態からオンライン状態に移行したとき	×	○
▼／▲ （用紙微調）	- 用紙を1/180インチ単位で微調送りします。 （▲：正方向、▼：逆方向） - 押し続けると1/180インチ改行を連続して行います。 - 逆改行時、用紙たるみとり動作を行います。 - 本スイッチによる用紙送りは、ページ管理に影響を及ぼしません。	×	○
リセット／消耗品	- エラー状態のとき、エラーを解除します。 エラー状態の解除方法については、「5.1.2 液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき（66ページ）」を参照してください。 - エラー状態以外のとき、消耗品交換表示を行います。	×	○
機能／濃度選択	セットアップモードおよびテストモードを選択します。 - セットアップモードについては、「3.4 セットアップの操作（37ページ）」を参照してください。 - テストモードについては、「3.5 テスト印刷をする（46ページ）」を参照してください。	×	○
印刷モード	- 高品位、通常、高速の印刷モードを選択する際に使用します。 - 濃度選択 スイッチを押しながら 印刷モード スイッチを押すと、段差、高複写の印刷モードを選択します。 印刷モードの変更については、次ページを参照してください。	×	○

●印刷モード（印刷品質）を変更する

オフライン状態で 印刷モード スイッチを押すと、次の印刷モードを切り替えることができます。

通常　　：180×120dpiで印刷します。
高速　　：180×90dpiで印刷します。
高品位　：180×180dpiで印刷します。

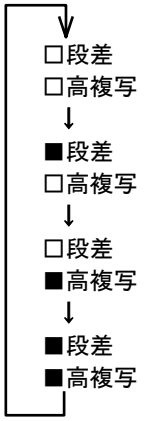
印刷モード スイッチを押すごとに、次の順序で印刷モードが切り替わります。

●印刷モード（複写能力）を変更する

オフライン状態で 濃度選択 スイッチを押しながら 印刷モード スイッチを押すと、次の印刷モードを切り替えることができます。

段差媒体：　印刷速度を約90%に落とし、印刷圧を高くします。
高複写　：印刷速度を半分に落とし、同一ドットを二度打ちします。

濃度選択 スイッチを押しながら 印刷モード スイッチを押すごとに、次の順序で印刷モードが切り替わります。（□：無効、■：有効）



●印刷モードと印刷動作の関係

印刷モード		印刷速度［行/分］	印刷密度［dpi］	備　　考
高品位	1P	400	180×180（縦×横）	1P/複写紙の切替えは、用紙厚設定レバーにより決定される。
	複写紙	360		
	段差媒体	320		
	高複写	各速度の1/2		二度打ち印刷動作
通 常	1P	550	180×120（縦×横）	1P/複写紙の切替えは、用紙厚設定レバーにより決定される。
	複写紙	500		
	段差媒体	450		
	高複写	各速度の1/2		二度打ち印刷動作
高 速	1P	660	180×90（縦×横）	1P/複写紙の切替えは、用紙厚設定レバーにより決定される。
	複写紙	600		
	段差媒体	540		
	高複写	各速度の1/2		二度打ち印刷動作

（注）高密度の印刷を行った場合、印刷ヘッドを保護するために印刷速度が低下することがあります。また、お客様の環境などによっては、印刷速度が多少変化することがあります。

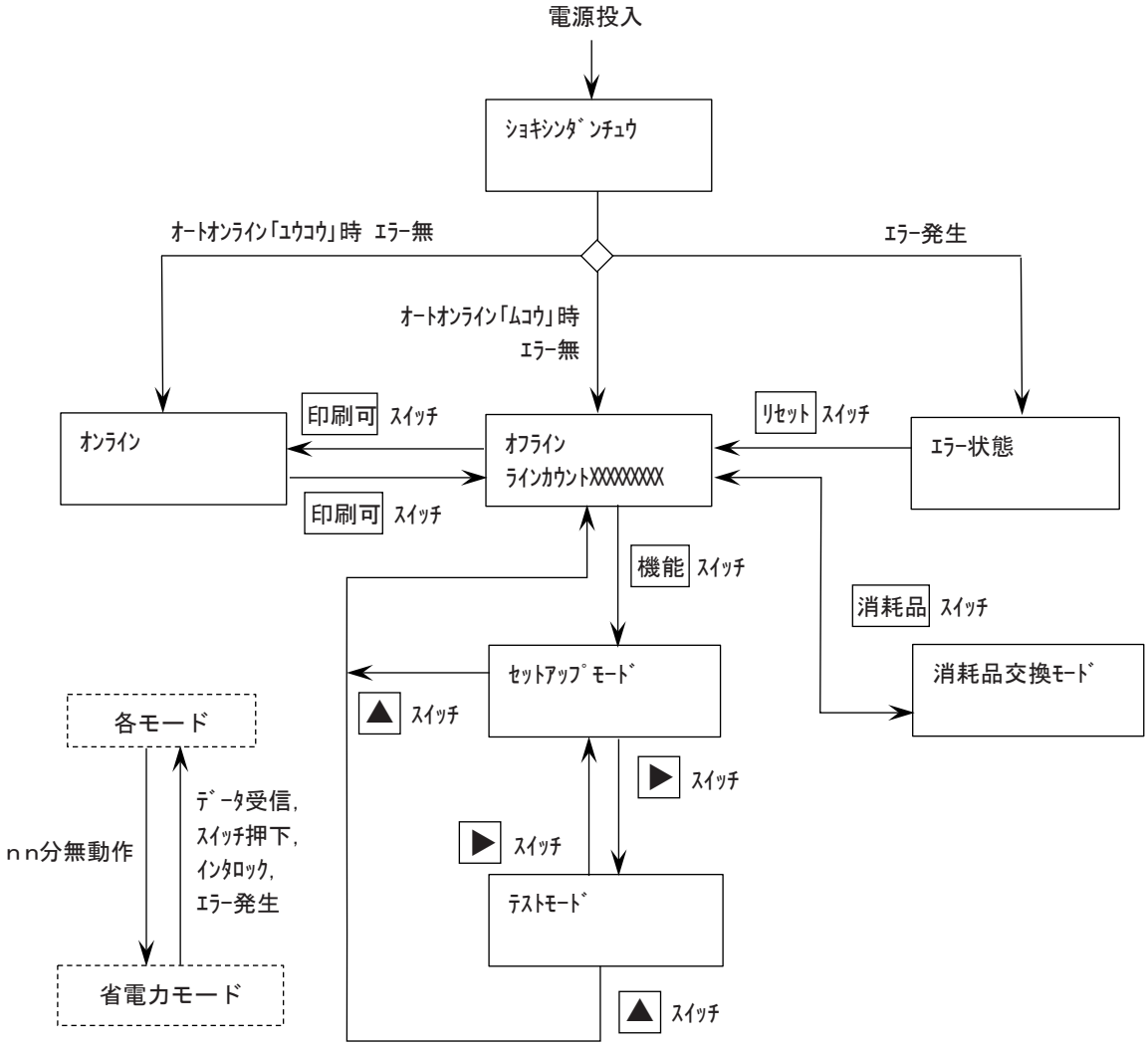
●印刷モードの解説

印刷モード	特長
高品位	最高速度400行/分 文字180×180dpiで印刷します。 速度より印刷品質を優先したモードです。 バーコード（イメージデータ）／OCR印刷の場合は必須となります。
通常	最高速度550行/分 文字180×120dpiで印刷します。 印刷品質／速度の中間モードで、電源をオンした直後（工場出荷時）はこのモードに設定されています。 バーコード（イメージデータ）／OCRには不向きです。
高速	最高速度660行/分 文字180×90dpiで印刷します。 印刷品質より速度を優先したモードです。 複写枚数が多い場合や、印刷品質を重視する印刷には不向きで、バーコード（イメージデータ）／OCRは,読み取ることはできません。
1P	連量55kg紙1P相当印刷時のモードです。用紙厚設定レバーの位置により設定されます。（用紙厚設定レバー1.5以下）
複写紙	複写用紙印刷時のモードです。用紙厚設定レバーの位置により設定されます。（用紙厚設定レバー2以上）
段差媒体	部分的に用紙の厚みが変わる複写用紙印刷時のモードです。
高複写	７枚、８枚の複写用紙などで高濃度の複写が必要なときに使用する二重印刷のモードです。

3.3　プリンターの状態と操作パネルの表示

プリンターの状態（モード）には、次の8つがあります。
・プリンター起動時（イニシャル動作時）
・オンライン状態
・オフライン状態
・消耗品交換モード
・エラー状態
・セットアップモード
・テストモード
・省電力モード

プリンターを起動してからの状態遷移を下図に示します。



ｎｎ：3～239（セットアップ設定による。）

●プリンター起動時（イニシャル動作）

プリンターの電源を入れると、プログラムの読み込みおよびプリンターの初期診断などが行われます。これをイニシャル動作といいます。

イニシャル動作中の状態表示および処理経過表示を次に示します。

状　態

```
ショキ　シンダ゛ン　チュウ
→　＊　＊　＊　＊　＊　＊
```

⇩

```
ショキ　シンダ゛ン　チュウ
→　→　→　→　→　→　→
```

イニシャル動作が進むにつれ、「＊」が「→」に変わります。

イニシャル動作が正常に終了すると、オンライン状態に移行します。（セットアップで「オートオンライン」を「ユウコウ」にしているとき）

●オンライン状態

印刷ができる状態です。オンライン状態のときにパソコンからデータを受信すると印刷動作を行います。

オンライン状態のときは、次の表示になります。

```
オンライン
```

●消耗品交換モード

インクリボン交換やフィルター清掃後のカウンタをクリアするモードです。
オフライン状態のときに リセット／消耗品 スイッチを押すと消耗品交換モードになります。

【「ライフ」表示】
消耗品の交換時期が近づいたとき、および交換時期になったときは、液晶ディスプレイに「ライフ」と表示されます。

「ライフ」は、オンライン／オフライン状態のときに表示されます。その他の状態／モードのときは、「ライフ」は表示されません。

「ライフ」が表示される消耗品と表示形式を下表に示します。

消耗品	ライフ表示
インクリボン	リボ゛ン
フィルター清掃	フィルタ
有寿命部品	ホシュ

「ライフ」表示例を以下に示します。

【オンライン状態のとき】

ライフ表示（リボン、フィルタ）

```
オンライン              ライフ
```

ライフ表示（有寿命交換部品）

```
オンライン                  ＊
```

【オフライン状態のとき】

ライフ表示　（リボン）

```
オフライン              ライフ
ラインカウントＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
```

交互表示 ←→ （3秒）

```
ライフ
リボ゛ン
```

ライフ表示　（フィルタ）

```
オフライン              ライフ
ラインカウントＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
```

交互表示 ←→ （3秒）

```
ライフ
          フィルタ
```

ライフ表示　（有寿命交換部品）

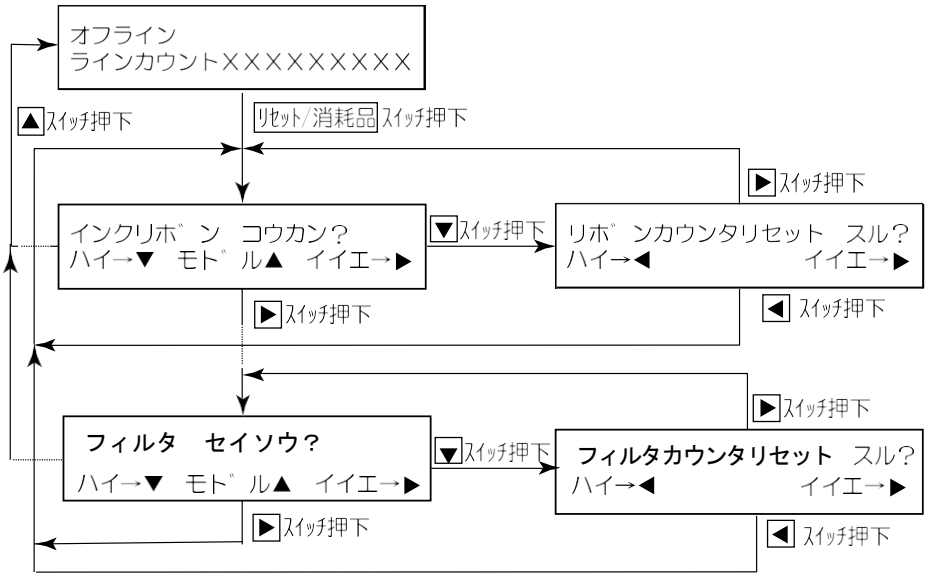
```
オフライン                  ＊
ラインカウントＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
```

交互表示

```
ライフ
                    ホシュ
```

（＊）有寿命部品のライフ表示がでた場合にはお買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。

【消耗品交換モードの表示】
オフライン状態のときに リセット／消耗品 スイッチを押すと消耗品交換モードになります。



●エラー状態

プリンターでエラーが発生すると、アラームランプが点灯するとともに、エラーの内容が液晶ディスプレイに表示されます。また、セットアップでブザーが鳴るように設定している場合は、ブザーが鳴動します。
エラーメッセージが表示されたときの対処方法については、「5.1.2 液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき（66ページ）」を参照してください。

●セットアップモード

オフライン状態のときに 機能 スイッチを押すと、セットアップモードになります。セットアップではプリンターの設定を変えることができます。

セットアップモードの詳細については、「3.4 セットアップの操作（37ページ）」を参照してください。

●テストモード

オフライン状態のときに 機能 スイッチを押し、続けて ▶ スイッチを 押すと、テストモードになります。テストモードでは、4種類のテスト印刷と消耗品カウンタ印刷を行うことができます。

テストモードの詳細については、「3.5 テスト印刷をする（46ページ）」を参照してください。

●省電力モード

パソコンから印刷データを受信しない、または操作パネルを操作しない時間が一定時間続くと、省電力モードとなります。（操作パネルの液晶ディスプレイのバックライトの消灯）

省電力モードになるまでの時間は、セットアップで設定します。（「3.4 セットアップの操作（37ページ）」参照）

省電力モードは、次の場合に解除されます。
- プリンターがパソコンから印刷データを受信したとき
- 操作パネルでスイッチ操作をしたとき
  最初のスイッチ押下は、省電力モードが解除され、スイッチ動作、クリック音はしません。
- スロートレバー、ヘッドカバー開閉時（インターロック状態）
- エラー発生
- インストール／IPアドレス設定／二重IPアドレスエラー検出時

省電力モードが有効な状態／モードとそのときの復帰条件は下表のとおりです。

状態／モード	省電力モード	復帰条件	備 考
オンライン	有効	印刷データ受信、 スイッチ押下、 インターロック(*1)、 エラー発生、インストール、 LANアドレス設定	
オフライン	有効	スイッチ押下、 インターロック(*1)、 エラー発生、インストール、 LANアドレス設定	
エラー状態	有効	スイッチ押下、 インターロック(*1)、 エラー発生	ブザー鳴動のまま
消耗品交換モード	有効	スイッチ押下、 インターロック(*1)、 エラー発生	
セットアップモード	有効	スイッチ押下、 インターロック(*1)、 エラー発生	
テストモード	有効	スイッチ押下、 インターロック(*1)、 エラー発生	
システムエラー（ダウン）状態 二重IPアドレスエラー状態	無効	―	

*1：インターロック
スロートレバー、ヘッドカバー開閉。

3.4　セットアップの操作

セットアップモードでは、プリンターの設定を変えることができます。また、現在設定中の内容を印刷（設定印刷）したり、変更した設定を工場出荷時の値に戻したり（設定初期化）することができます。

3.4.1　操作の流れ（基本的な操作）

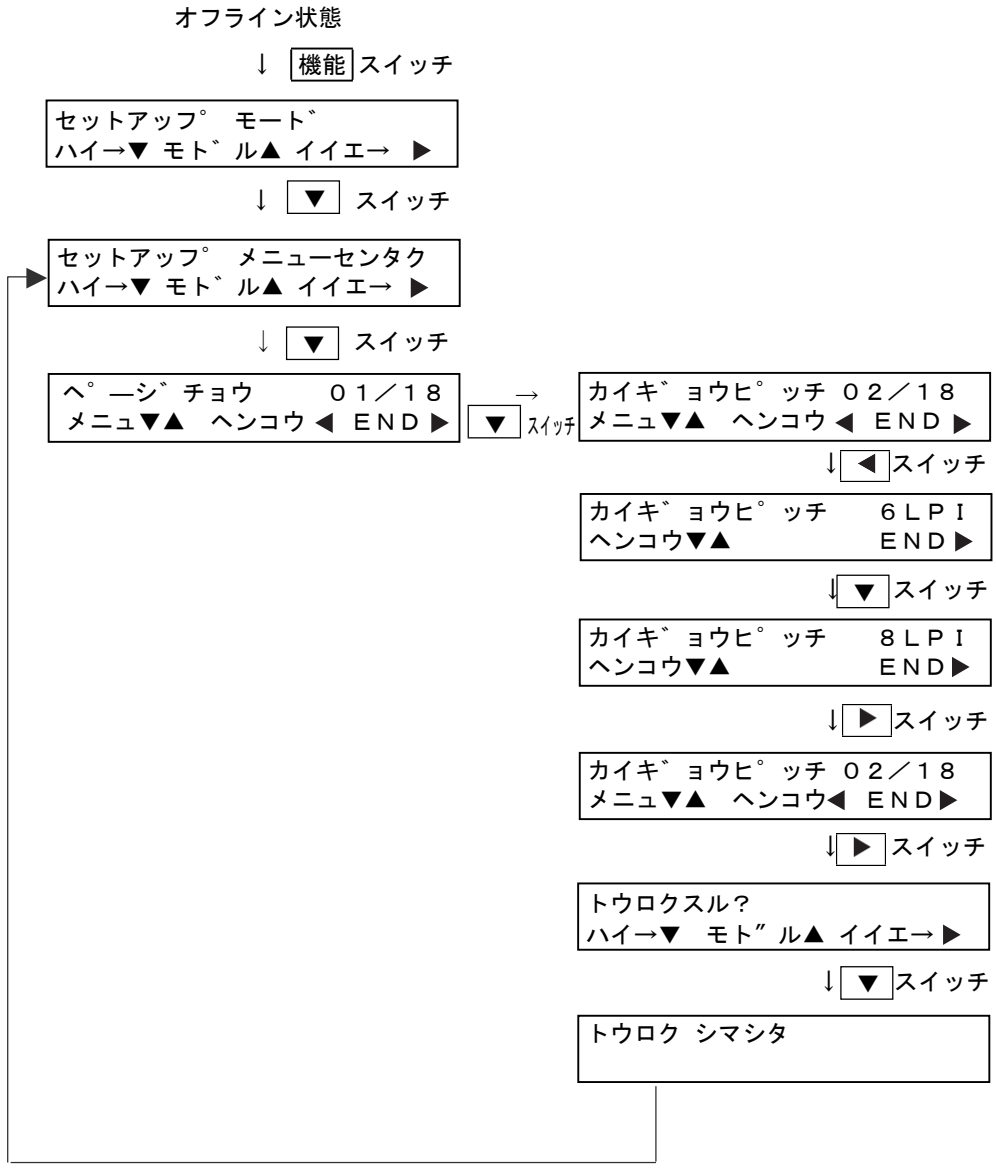
セットアップモードでは、設定項目、設定値の順に選択、表示して設定します。

セットアップモードでは、次のスイッチを使用します。

機能　　プリンターをセットアップモードにします。
このスイッチは、オフライン状態のときに有効です。

▼ ▲ ▶ ◀　設定項目や設定値を選択し、決定します。
スイッチと機能の対応は、液晶ディスプレイに表示されます。

セットアップモードで設定項目および設定値を選択し、設定するときの操作の流れを示します。
（例：改行ピッチを6LPI→8LPIに変更する場合）



3.4.2　設定の一覧

１）セットアップモードのメニュー選択で設定、実行できる機能の一覧を、下表に示します。

項	設定項目／表示形式	設定値	初期値	機能
1	ﾍﾟｰｼﾞﾁｮｳ ０１／１８	2ﾗｲﾝ～127ﾗｲﾝ	66ﾗｲﾝ	用紙のページ長を設定します。 (1ライン=1/6インチ) プリンタードライバからの指定値が優先されます。 設定値を変更すると、現在のインジヘッドの位置がページの先頭となります。
2	カイギﾞｮウピﾟｯﾁ ０２／１８	3LPI,4LPI,6LPI,8LPI	6LPI	改行ピッチの大きさを設定します。
3	ＡＮＫショタイ ０３／１８	NLQ,ﾄﾞﾗﾌﾄ	NLQ	ANK文字の文字品位を設定します。
4	モジﾞﾋﾟｯﾁ ０４／１８	10CPI,12CPI	10CPI	ANK文字の文字ピッチの大きさを設定します。
5	モジﾞｺｰﾄﾞ ０５／１８	ｶﾀｶﾅ,ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ	ｶﾀｶﾅ	ANKコード表を設定します
6	コクサイモジﾞ ０６／１８	ﾆﾎﾝ,ｱﾒﾘｶ	ﾆﾎﾝ	国際文字の出力種類を設定します。
7	ＣＲコードﾞ ０７／１８	CR,CR+LF	CR	CRコードの機能を印刷指令とするか、印刷改行指令とするかを設定します。
8	ミシンメスキップ゜ ０８／１８	ﾕｳｺｳ,ﾑｺｳ	ﾑｺｳ	ミシン目スキップ機能の有効/無効を設定します。 有効にした場合、ミシン目を中心に上下0.5インチ分スキップします。 (ミシン目スキップを有効にしても、ページ長が１インチ以下の場合、ミシン目スキップは動作できません)
9	インサツモードﾞ ０９／１８	ﾂｳｼﾞｮｳ,ｺｳｿｸ,ｺｳﾋﾝｲ, ﾂｳｼﾞｮｳ+ﾀﾞﾝｻ,ｺｳｿｸ+ﾀﾞﾝｻ, ｺｳﾋﾝｲ+ﾀﾞﾝｻ, ﾂｳｼﾞｮｳ+ﾌｸｼｬ, ｺｳｿｸ+ﾌｸｼｬ,ｺｳﾋﾝｲ+ﾌｸｼｬ, ﾂｳｼﾞｮｳ+ﾀﾞﾝｻ+ﾌｸｼｬ, ｺｳｿｸ+ﾀﾞﾝｻ+ﾌｸｼｬ, ｺｳﾋﾝｲ+ﾀﾞﾝｻ+ﾌｸｼｬ, ﾊﾟﾈﾙｽｲｯﾁ	ﾂｳｼﾞｮｳ	電源投入時の印刷モードを設定します。設定値をパネルスイッチとした場合、電源切断直前に設定していた印刷モードで起動します。
10	インサツホウコウ １０／１８	ﾘｮｳﾎｳｺｳ,ﾀﾝﾎｳｺｳ	ﾘｮｳﾎｳｺｳ	電源投入時の印刷方向を両方向または単方向に設定します。 プリンタードライバからの設定が優先されますので、プリンタードライバのプロパティ設定をご確認ください。
11	フﾞﾝカツスキップ゜ １１／１８	ﾑｺｳ,2.0ｲﾝﾁ～5.0ｲﾝﾁ (0.5ｲﾝﾁ単位)	ﾑｺｳ	一度に用紙を送るスキップ量を設定します。 改ページコマンド/改行コマンドでのスキップ動作においてスキップ量が設定した値より大きい場合、設定した値ずつ分割してスキップ動作を行います。 なお、改ページスイッチ/改行スイッチでのスキップ動作は、分割スキップの対象となりません。(スキップ量の設定値が小さいほど印刷速度が低下しますのでご注意ください。)

※次ページに続く

項	設定項目／表示形式	設定値	初期値	機能
12	オートオンライン １２／１８	ﾕｳｺｳ,ﾑｺｳ	ﾕｳｺｳ	オートオンライン機能の有効/無効を設定します。 有効にした場合、電源起動時にオンラインで起動します。
13	ﾌﾞｻﾞｰ １３／１８	ﾑｺｳ,1,2,3 （1:小,2:中,3:大）	2	各種エラー(システムエラーを除く)発生時のブザー音量を設定します。
14	ｼｮｳﾃﾞﾝﾘｮｸ １４／１８	3min～239min （1min 単位）	239min	省電力モードへの移行時間を設定します。
15	ﾘﾎﾞﾝﾗｲﾌ １５／１８	05～99 ﾏﾝｷﾞｮｳ （1 万行単位）	74 ﾏﾝｷﾞｮｳ	リボンの寿命値を設定します。
16	ﾘﾎﾞﾝﾗｲﾌﾃｲｼ １６／１８	ﾕｳｺｳ,ﾑｺｳ	ﾑｺｳ	リボンライフ停止機能の有効/無効を設定します。 有効にすると、印刷中にリボンの使用率が 100%となった際にオフライン状態に移行して消耗品ライフ表示を行います。
17	ﾖｳｼｱﾂｶｸﾆﾝ １７／１８	ﾕｳｺｳ,ﾑｺｳ	ﾑｺｳ	用紙厚確認機能の有効/無効を設定します。 有効とした場合、用紙掛け替え後に用紙厚確認メッセージが LCD に表示されます。
18	ﾖｳｼｷﾞﾚ １８／１８	ﾓｰﾄﾞ 1,ﾓｰﾄﾞ 2	ﾓｰﾄﾞ 2	印刷中の用紙切れ動作を切り替えることができます。 モード 1：用紙 EOF センサーオープン状態で 即　用紙切れ （印刷ページの途中で用紙切れ） モード 2：最終ページを残して用紙切れ （印刷ページは印刷完了後用紙切れ）

注1)“ﾍﾟｰｼﾞﾁｮｳ”、“ｶｲｷﾞｮｳﾋﾟｯﾁ”の設定値を変更したとき、現在の印刷ヘッドの位置がページの先頭となります。

注2)“ﾐｼﾝﾒｽｷｯﾌﾟ”を“ﾕｳｺｳ”に設定しても、ページ長との関係でスキップ動作できない場合、ミシン目スキップ無効で動作します。

注3)インサツモードについて
「パネルスイッチ」設定は、操作パネルで設定した印刷モード（もしくは印刷品質設定コマンド・高複写モード設定コマンド・段差媒体モード設定コマンドで設定した印刷モード）を覚えておくことでプリンター再起動時に前回設定していたパネル設定でプリンターが立ち上がるモードです。（プリンター電源断直前の印刷モードを記憶します。）他のモードの場合は、直前で使用していた設定に関係なく、プリンター再起動時は設定した印刷モードで立ち上がります。

注4)“ﾖｳｼｷﾞﾚ”の設定内容は下記のとおりです。
モード1：　用紙EOFセンサーオープン状態で即用紙切れとする。
モード2：　用紙端より、非印刷領域（約2.5インチ）を除く最終ページ印刷後、用紙切れとする。

２）ＬＡＮ設定のメニュー選択で設定、実行できる機能の一覧を、下表に示します。

項	設定項目／表示形式		設定値	初期値
01	ＩＰアドレス	１／３	XXX.XXX.XXX.XXX	000.000.000.000
02	サブネットマスク	２／３	XXX.XXX.XXX.XXX	000.000.000.000
03	デフォルトルータ	３／３	XXX.XXX.XXX.XXX	000.000.000.000

３）ＳＮＭＰ設定のメニュー選択で設定、実行できる機能の一覧を、下表に示します。

項	設定項目／表示形式		設定値	初期値
01	コミュニティ	１／４	********** （15文字）	NULL
02	トラップ　セッテイ	２／４	ユウコウ，ムコウ	ムコウ
03	ツウチサキアドレス	３／４	XXX.XXX.XXX.XXX	000.000.000.000
04	コミュニティイハン	４／４	ツウチ，ヒツウチ	ヒツウチ

注1）「コミュニティイハン」を「ツウチ」に設定しても、トラップセッテイを「ムコウ」に設定した場合は、コミュニティ違反通知のトラップコマンドは通知しません。

注2）「トラップセッテイ」で「ユウコウ」選択時、トラップ通知先が設定されていない場合（ツウチサキアドレスが000.000.000.000）には、トラップ通知を行いません。

注3）コミュニティの各桁には、空白，“_”，0～9，a～z、A～Z の文字が入力可能です。
入力可能な最大桁数は15桁です。
コミュニティ名の途中に空白文字が指定された場合は、自動的に空白文字以降の文字を無効とします。

3.4.3　設定の印刷

現在の設定内容を印刷するときは、次の操作をします。

オフライン状態

↓[機能]スイッチ

```
セットアップ゜　モート゛
ハイ→▼ モト゛ル▲　イイエ→ ▶
```

↓[▼]スイッチ

```
セットアップ゜　メニューセンタク
ハイ→▼ モト゛ル▲　イイエ→ ▶
```

↓[▶]スイッチ

```
セットアップ゜　セッテイインサツ
ハイ→▼ モト゛ル▲　イイエ→ ▶
```

↓[▼]スイッチ

```
セットアップ゜　セッテイインサツ
インサツチュウ　　　　テイシ ▶
```

設定内容の印刷を開始すると左の表示になります。
（[▶]スイッチで印刷を中断します。）

※用紙がセットされていない場合は、用紙終了エラーとなります。
※設定の印刷印刷を終わると、改ページ動作が行われます。

●印刷の形式

設定内容は、次の形式で印刷されます。

ページ長　：　現ページ長(3インチ以下の場合､ページ長＝3インチとみなします。)
　　ミシン目スキップ有効。
行ピッチ　：　6LPI
文字ピッチ　：　6.67CPI
印刷モード　：[印刷モード]スイッチ、用紙厚設定レバーの設定値

●印刷例

設定印刷の印刷例を以下に示します。

```
***  PR D750/500E 設定印刷  ***

セットアップ設定
ページ長          :  066ライン
改行ピッチ        :  6LPI
ANK書体           :  NLQ
文字ピッチ        :  10CPI
文字コード        :  カタカナ
国際文字          :  日本
CRコード          :  CR
ミシン目スキップ  :  無効
印刷モード        :  通常
印刷方向          :  両方向
分割スキップ      :  無効
オートオンライン  :  有効
ブザー            :  2(中)
省電力モード      :  239分
リボンライフ      :  15万行
リボンライフ停止  :  無効
用紙厚検認        :  無効
用紙切れ          :  モード2

LAN設定
MACアドレス       :  CC:D3:F8:88:00:02
IPアドレス        :  192.168.000.020
サブネットマスク  :  255.255.255.000
デフォルトルータ  :  192.168.000.254

SNMP設定
コミュニティ名    :
トラップ通知設定  :  無効
通知先アドレス    :  000.000.000.000
コミュニティ連反  :  非通知

装置情報
シリアルNo.       :
装置タイプ        :  タイプ1
システム版数      :  E00V00L11
パターン版数      :  E01V01L03
メカファーム版数  :  F02V04L03
ライフカウント    :  000014236
```

3.4.4　設定の初期化

設定を初期化するときの操作の流れを以下に示します。

オフライン状態

↓機能スイッチ

```
セットアップ゜　モート゛
ハイ→▼　モト゛ル▲ イイエ→ ▶
```

↓▼スイッチ

```
セットアップ゜　メニュセンタク
ハイ→▼　モト゛ル▲ イイエ→ ▶
```

↓▶スイッチ（２回）

```
セットアップ゜　セッテイショキカ
ハイ→▼　モト゛ル▲ イイエ→ ▶
```

↓▼スイッチ

```
セッテイショキカ スル？
ハイ→ ◀              イイエ→ ▶
```

↓◀スイッチ

初期化開始

↓

```
ショキカシマシタ
```

初期化が終了すると表示されます。（３秒間）

チェック

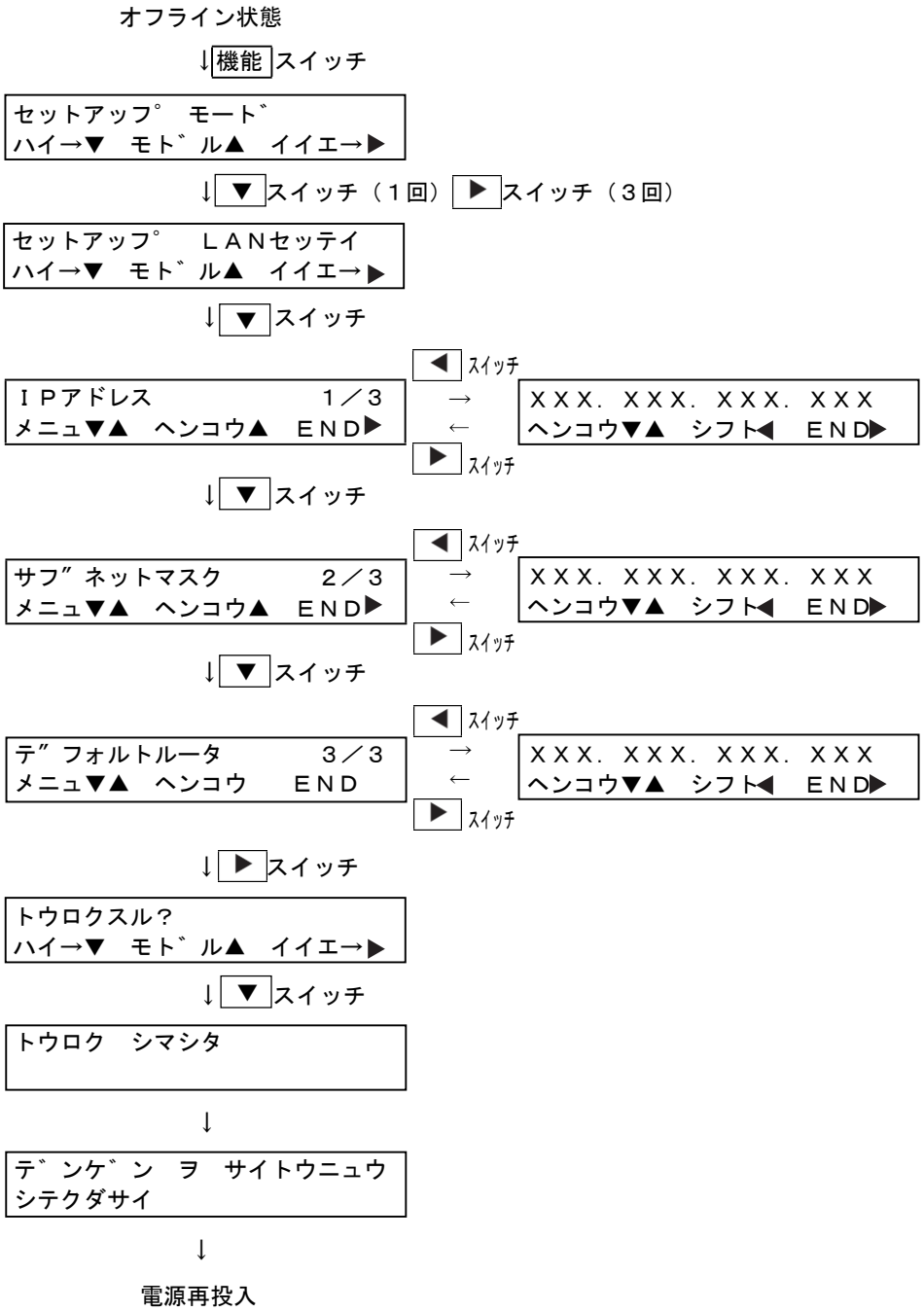
設定初期値は、「3.4.2 設定の一覧」(38ページ)を参照してください。

3.4.5　LAN設定

LANの設定をするときの操作の流れを以下に示します。

アドレス設定時のスイッチの役割は以下のとおりです。

▲／▼スイッチ　：設定値をアップ／ダウン
◀ スイッチ　　：セグメントの移動
▶ スイッチ　　：設定の終了

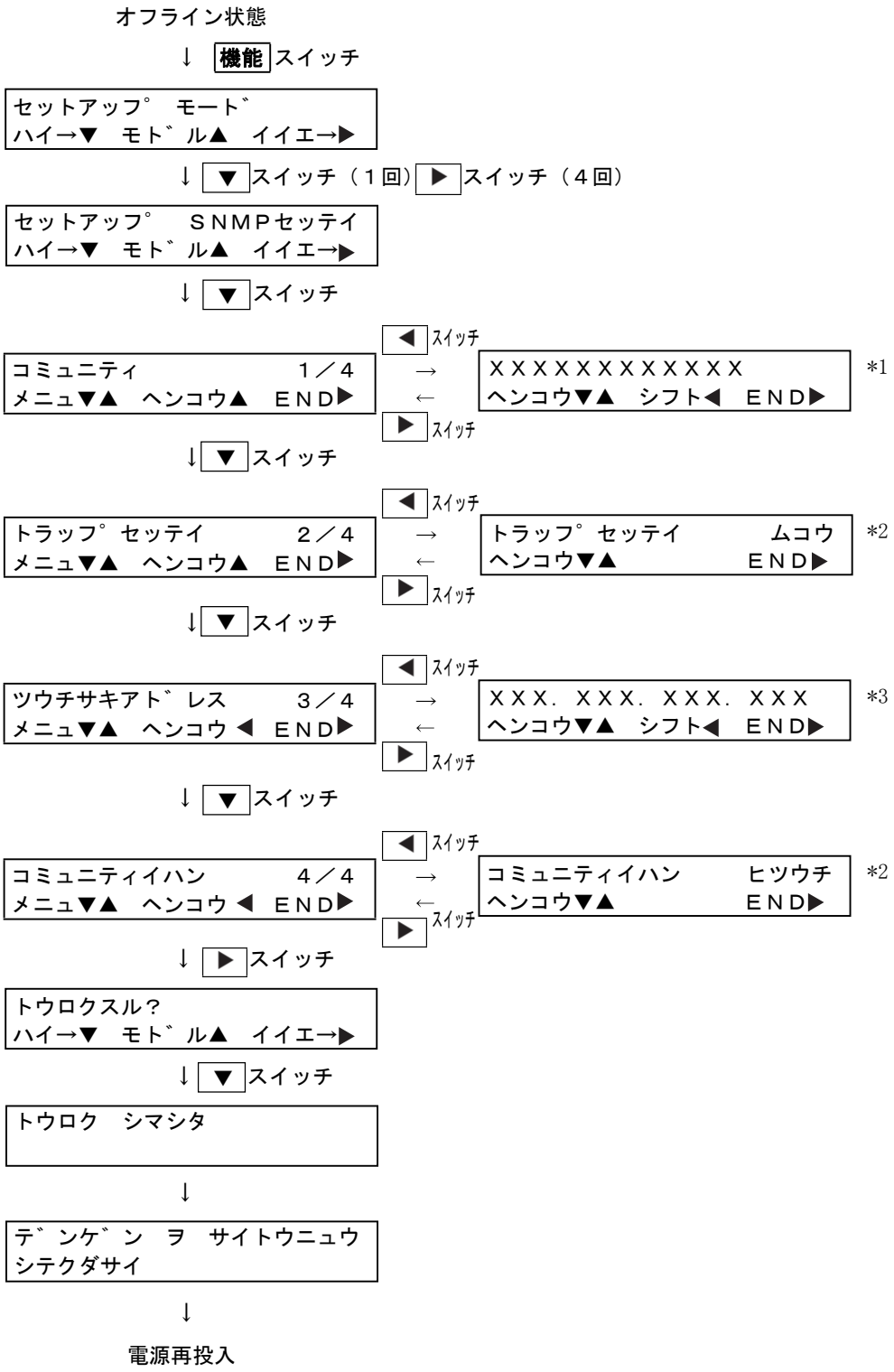


3.4.6　SNMP設定

SNMPの設定をするときの操作の流れを以下に示します。

各項目設定時のスイッチの役割は以下のとおりです。

▲／▼スイッチ　：設定文字を変更（*1）
　　設定値の切り替え（*2）
　　設定値をアップ／ダウン（*3）
◀スイッチ　　：文字の移動（*1）
　　セグメントの移動（*3）
▶スイッチ　　：設定の終了



3.5　テスト印刷をする

オフライン状態のときに 機能 スイッチを押し、続けて ▶ スイッチを押すと
テストモードになります。

本プリンターでは、次のテスト印刷を行うことができます。

・ピンチェック印刷　　・全文字種印刷
・ANKシフト印刷　　・消耗品カウンタ印刷
・漢字シフト印刷　　・HEXダンプ（保守用）

3.5.1　操作手順

テスト印刷は、次の手順で行います。

1　用紙をセットします。
用紙がセットされていない場合は、テスト印刷は実行できず、用紙終了エラーとなります。

2　オフライン状態で 機能 スイッチを押し、続けて ▶ スイッチを押します。

オフライン状態

↓ 機能 スイッチ

```
セットアップ゜　モート゛
ハイ→▼　モト゛ル▲　イイエ→▶
```

↓ ▶ スイッチ

```
テスト　モート゛
ハイ→▼　モト゛ル▲　イイエ→▶
```

3　▼ スイッチを押します。

↓ ▼ スイッチ

```
ヒ゜ンチェック　インサツ
ハイ→▼　モト゛ル▲　イイエ→
```

4　目的のテストが表示されるまで、▶ スイッチを押します。
▶ スイッチを押すごとに、以下の順でテスト印刷種別が切り替わります。
また ◀ スイッチを押すごとに逆の順序でテスト印刷種別が切り替わります。

```
ヒ゜ンチェック インサツ
↓ ▶ スイッチ
ＡＮＫシフト インサツ
↓ ▶ スイッチ
カンシ゛シフト インサツ
↓ ▶ スイッチ
セ゛ンモシ゛シュ インサツ
↓ ▶ スイッチ
ショウモウヒンカウンタ インサツ
↓ ▶ スイッチ
ＨＥＸ ダ゛ンフ゜？
▶ スイッチ
```

5　目的のテストが表示されたら、▼ スイッチを押します。

```
ｾﾞﾝﾓｼﾞｼｭ　ｲﾝｻﾂ
ﾊｲ→▼　ﾓﾄﾞﾙ▲　ｲｲｴ→▶
```

↓▼ スイッチ

印刷が開始されると、「インサツチュウ」と表示されます。
HEXダンプを選択したときは、オンライン状態になります。

```
ｾﾞﾝﾓｼﾞｼｭ　ｲﾝｻﾂﾁｭｳ
ｲﾝｼﾞﾊﾊﾞ ▲▼　　ﾃｲｼ▶
```

テスト印刷を中断するときは ▶ スイッチを押します。

↓

```
ﾃｽﾄ　ﾓｰﾄﾞ
ﾊｲ→▼　ﾓﾄﾞﾙ▲　ｲｲｴ→▶
```

印刷が終了すると、左の画面に戻ります。

6　テスト印刷を終了するときは、「テストモート゛」表示のときに ▲ スイッチを押します。
HEXダンプモードを解除するときは、プリンターの電源を再投入します。

3.5.2　印刷形式と終了条件

テスト印刷の印刷形式と終了条件を、テスト印刷の種別ごとに下表に示します。
（HEXダンプを除く）

テスト印刷の印刷形式と終了条件

テスト印刷種別	ページ長	行ピッチ	幅変更	終了条件
ピンチェック印刷	現ページ長（現ページ長が3インチ以下の場合ページ長＝3インチとする、ミシン目スキップ動作する）	6LPI	可	▶ スイッチ、エラー発生、 印刷終了
ANKシフト印刷		セットアップ値	可	▶ スイッチ、エラー発生
漢字シフト印刷		セットアップ値	可	▶ スイッチ、エラー発生
全文字種印刷		6LPI	可	▶ スイッチ、エラー発生、 印刷終了
消耗品カウンタ印刷		6LPI	不可	▶ スイッチ、エラー発生、印刷終了

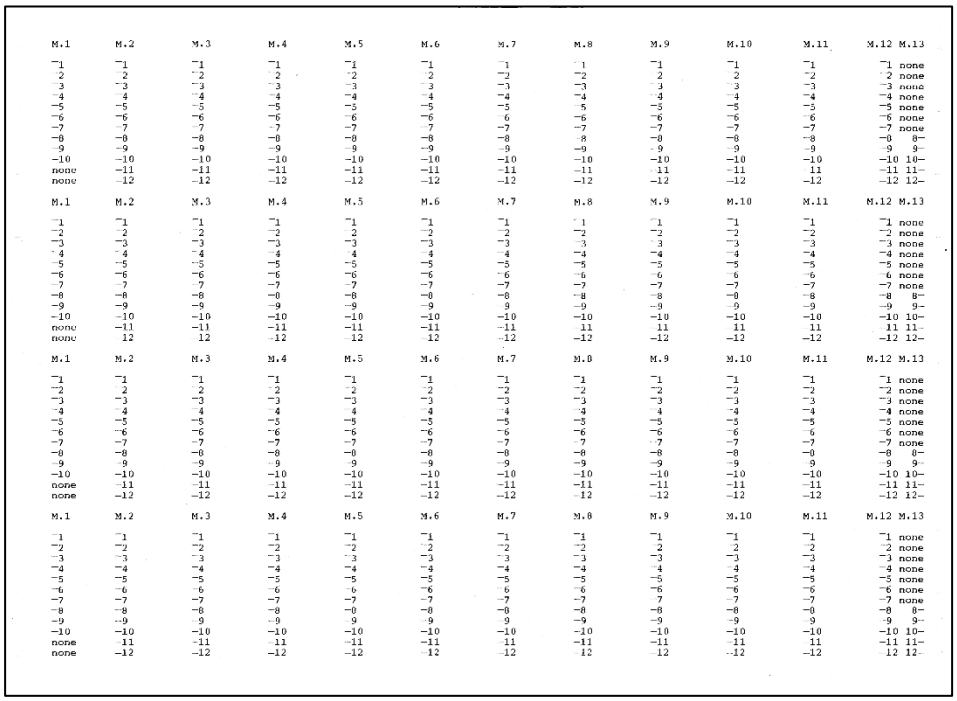
- ピンチェック印刷、ANKシフト印刷、漢字シフト印刷および全文字種印刷は、最初約4.5インチ幅（30桁／6.67CPI）で印刷され、▼ ／ ▲ スイッチにより印刷幅を変更することができます。印刷幅は、約4.5インチ幅～約13.6インチの範囲で変更可能です。
  ▲ スイッチ：印刷幅を約1.5インチ（10桁／6.67CPI）増加します。
  ▼ スイッチ：印刷幅を約1.5インチ（10桁／6.67CPI）減少します。
- 印刷幅は、現在のテスト印刷にのみ適用され、テストモードから抜けると初期値に戻ります。
- ピンチェックは高品位モードで印刷し、その他のテスト印刷の印刷モードおよび濃度選択はランプ点灯している印刷モードおよび濃度選択（オフライン状態で設定されたモード）で印刷します。
- 1Pモード／複写紙モードは、用紙厚設定レバーに従います。
- ページ長（現ページ長）は、セットアップにて変更できます。
- 印刷方向は、両方向固定です。
- ピンチェック印刷、全文字種印刷および消耗品カウンタ印刷は、印刷終了後に自動停止します。
- HEX ダンプモードは、電源を再投入することにより解除されます。

3.5.3　印刷例

テスト印刷の印刷例を、テスト印刷の種別ごとに下表に示します。（HEXダンプを除く）

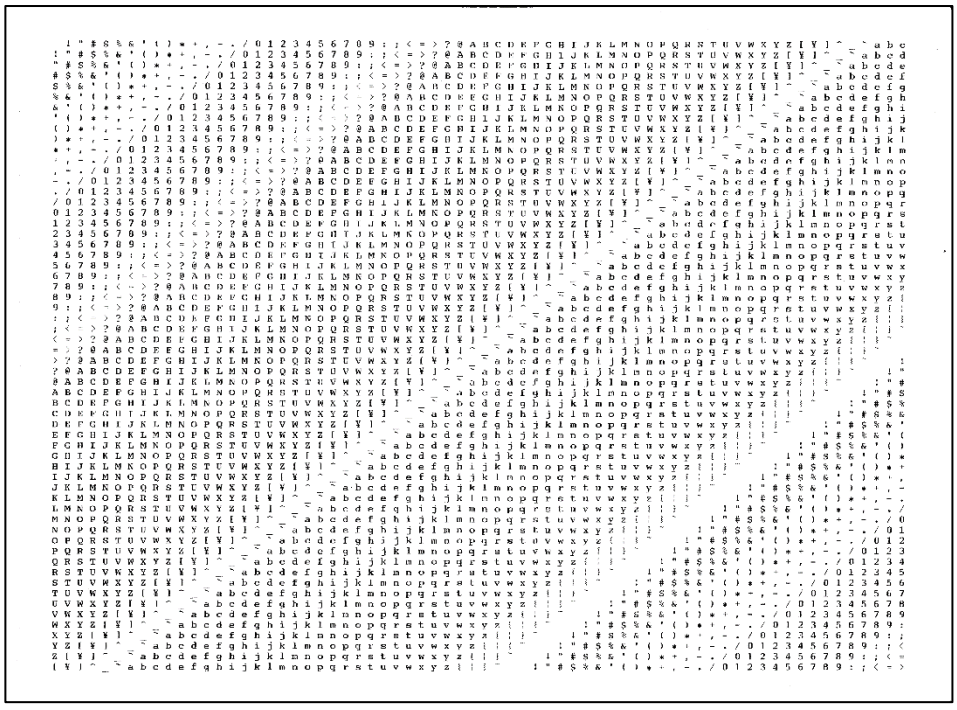
●ピンチェック印刷

ピンチェックパターンを印刷します。印刷終了後は、改ページ動作を行い、終了します。
正しく印刷されないピンがある場合は、お買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせください。



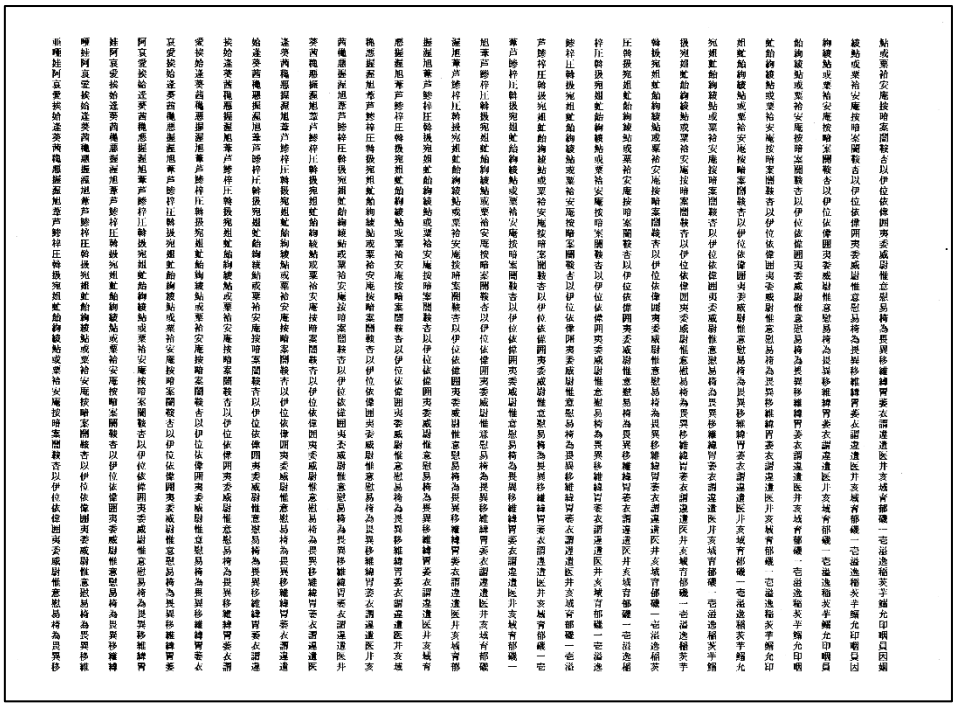
●ANKシフト印刷

ANKシフト文字を連続印刷します。



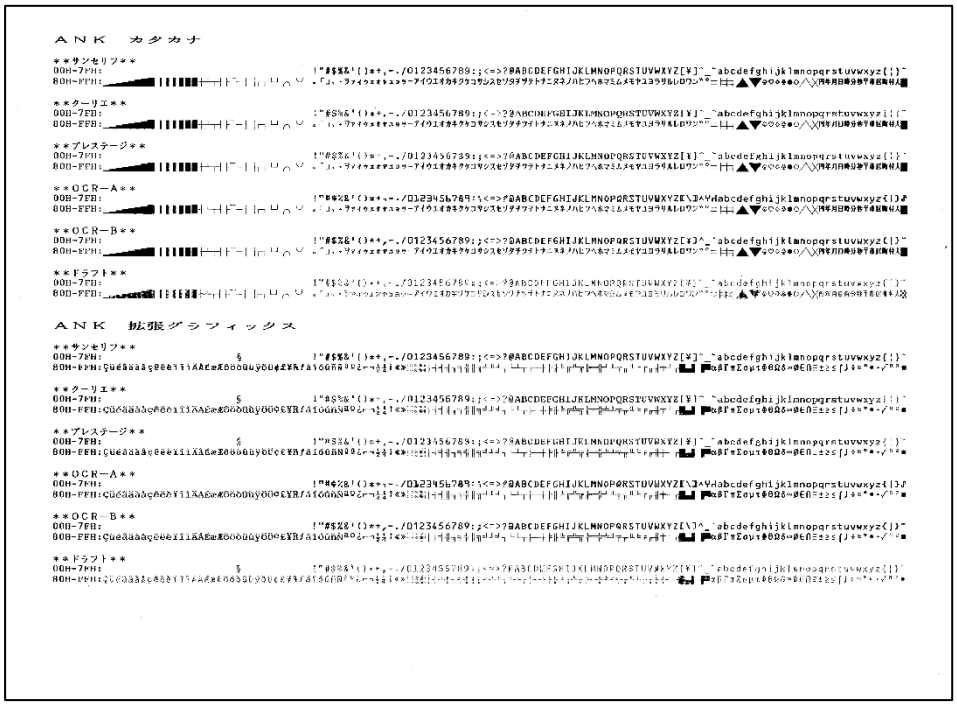
●漢字シフト印刷

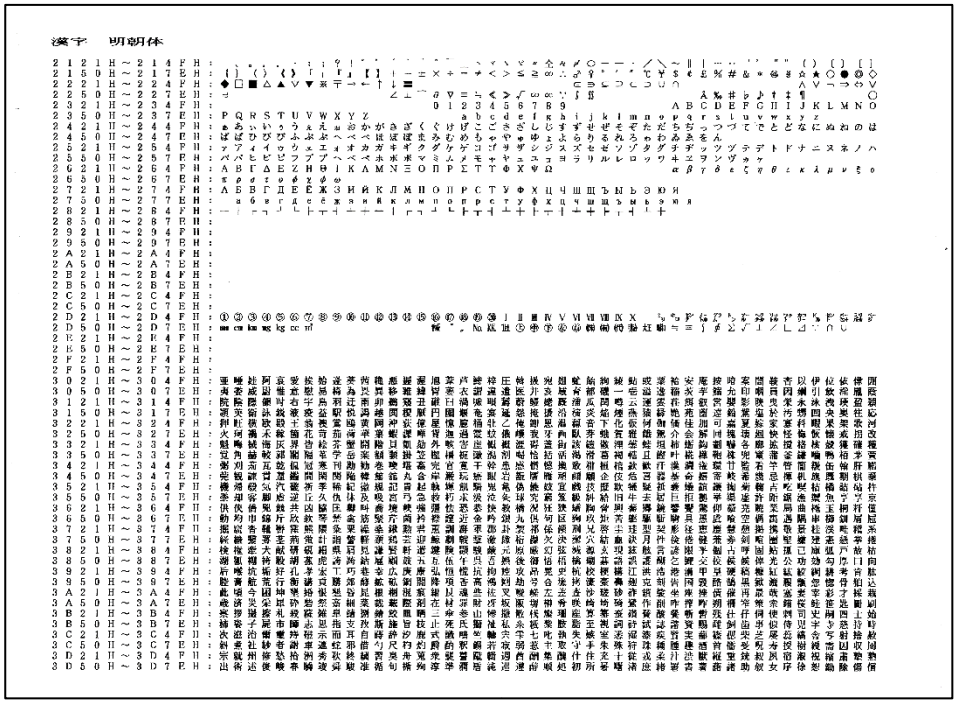
漢字シフト文字を連続印刷します。

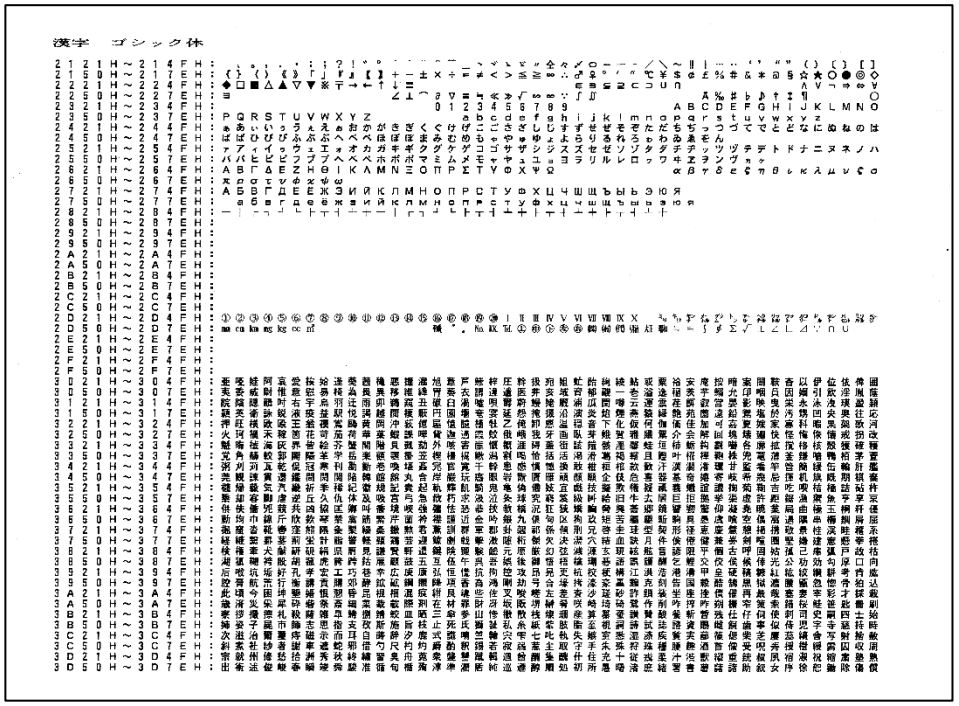


●全文字種印刷

漢字全文字種を印刷します。以下の形式に従って、ANK／漢字パターンを印刷します。




漢字　明朝体


漢字　ゴシック体

●消耗品カウンタ印刷

ラインカウント値および定期交換部品のカウント値を印刷します。

```
＊＊＊　ＰＲ－Ｄ７５０／５００Ｅ　カウンタ印刷（現在値／寿命値　使用率）＊＊＊

ラインカウント　　：０００００１４２３８
改行カウント　　：０００００２３０９９

インクリボン　　：０００００１４２３８／０００１５００００　００９％
フィルタ清掃　　：０００００１３８５９／００６０００００００　００１％
印字ヘッドユニット：０００００１４２３８／０２０００００００００　００１％
トラクタ　　：０００００２３０９９／０２０００００００００　００１％
タイミングベルト　：０００００２３０９９／０１０００００００００　００１％
フィードローラ　　：０００００２３０９９／０１０００００００００　００１％
プラテンカンセイ　：０００００１４２３８／０１０００００００００　００１％
リボン送りローラ　：０００００１４２３８／０１００００００００　００１％
セパレータ　　：０００００１４２３８／００６０００００００　００１％
除電ブラシ　　：０００００２３０９９／０１０００００００００　００１％
装置寿命　　：０００００１４２３８／０６０００００００００　００１％

注意）上記寿命値は、保証値ではありません。ご使用の環境、印刷文字、
　　印刷量等により変動しますので目安として下さい。
```

3.6　用紙の交換

●用紙切れ発生時の場合

1 トップカバーを開けます。

2 改ページ スイッチを押して、印刷用紙を排出させます。

3 新しい用紙をセットします。
「2.6用紙のセット（18ページ）」に従って、用紙をセットします。

4 リアドアまたはサイドカバーを開けて、印刷済み用紙を取り出します。

●印刷用紙途中で交換する場合（用紙切れではない場合）

1 印刷可 スイッチを押してオフライン状態にします。

2 トップカバーを開けます。

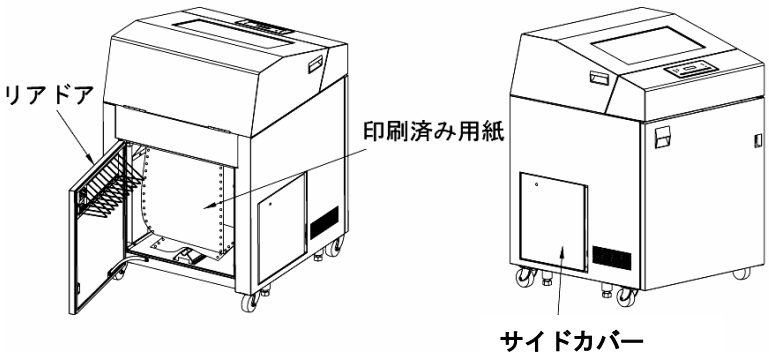
3 印刷用紙をミシン目で切ります。

4 スロートレバーを『開』位置にします。

5 ヘッドカバーを開けた後、トラクタカバーを開け、用紙を取り除きます。

6 新しい用紙をセットします。
「2.6用紙のセット（18ページ）」に従って、用紙をセットします。

7 リアドアまたはサイドカバーを開けて、印刷済み用紙を取り出します。



第４章　消耗品の交換および点検

インクリボンの交換時期が近づいたとき、液晶ディスプレイに“リボン”と表示されます。
消耗品交換モードにてリボンカウントリセットを行うまで、“リボン”は表示され続けます。

【オンライン状態のとき】

リボン寿命（目安）/フィルタ清掃要求時

```
オンライン                ライフ
```

有寿命部品交換（目安）

```
オンライン                ライフ＊
```

【オフライン状態のとき】

リボン表示

```
オフライン                ライフ
ラインカウントＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
```

交互表示 ←→ (3秒)

```
ライフ
リボン
```

フィルタ表示

```
オフライン                ライフ
ラインカウントＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
```

交互表示 ←→ (3秒)

```
ライフ
フィルタ
```

印刷結果に問題がある場合は、すみやかにインクリボンを交換してください。

4.1　リボンカートリッジの交換

本プリンターのリボンカートリッジは、インクリボンのみを交換する詰め替え式です。
リボンの走行性を確保するため、インクリボンの交換5回につき、カートリッジ本体を1回交換します。

本プリンターには以下のリボンカートリッジを使用してください。
リボンカートリッジは使用状況をみながら常時補充してください。

名称 （型番）	備考
リボンカートリッジ （PR-D750/500-01）	本商品は、カートリッジ1本です。交換用インクリボンを5回まで交換可能です。
サブリボンカセット （PR-D750/500-02）	本商品は、交換用のインクリボン1本です。1本あたり漢字で約1000万字印刷できます。

重要

・本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンター本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので NEC純正消耗品のご使用をお勧めします。

・非純正のインクリボン／インクリボンカートリッジを使用した場合、エラーを表示します。NEC純正品をご使用ください。

・非純正のインクリボン／リボンカートリッジの使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理（特別料金）となりますのでご注意ください。

・非純正のインクリボン／リボンカートリッジの使用による印刷品質や、プリンター性能の保証はいたしません。また、プリンターの印刷品質／動作保証／寿命／印刷ヘッドの保証もいたしません。

・印刷品位を保つために、インクリボン／インクカートリッジは購入から１年以内にお使いください。

⚠ 注意

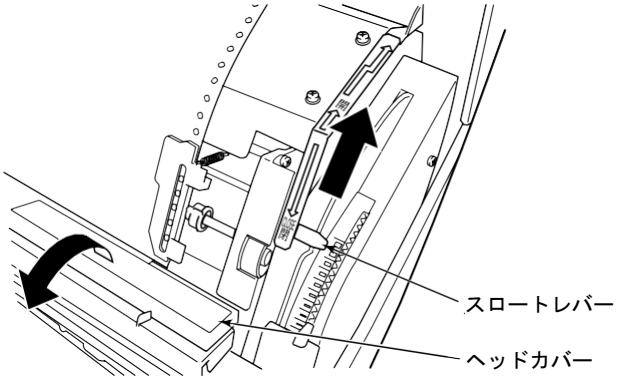
長時間印刷を続けた後は、印刷ヘッドが高温になっているため、すぐに手を触れると火傷のおそれがあります。十分に温度が下がってから作業するようにしてください。

インクリボンの取り外しは、以下の手順で行います。

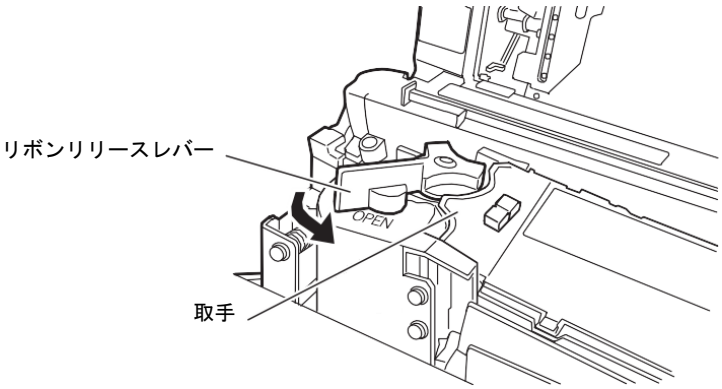
1 印刷可 スイッチを押してオフライン状態にします。

2 トップカバーを開けます。

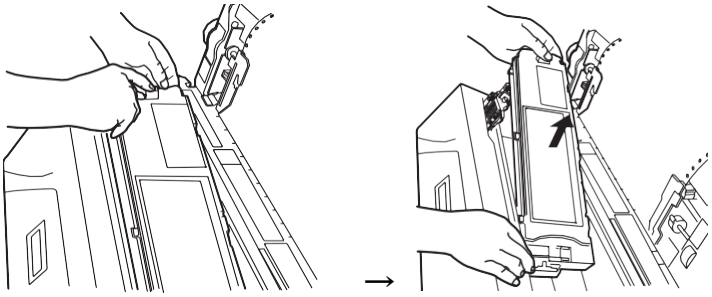
3 スロートレバーを『全開』位置にして、用紙送りユニットのロックを外します。



4 リボンリリースレバーを手前に引き、リボン送りローラの間隔を拡げます。



5 ヘッドカバーを開け、リボンカートリッジの左側にある取手をつかんで引き上げ、リボンカートリッジの中からインクリボンが出てこないようにリボンストッパで出入口の所を押さえながら、リボンカートリッジを左上方に引き抜きます。



6 「2.5 リボンカートリッジの取り付け（15ページ）」を参照し、リボンカートリッジを取り付けます。

7 リセット／消耗品 スイッチを押し、リボンカウンタをリセットします。
以下の手順で操作し、リボンカウンタをリセットします。

オフライン状態
↓ リセット／消耗品 スイッチ

```
インクリボ゛ン　コウカン
ハイ→▼　モト゛ル▲　イイエ→▶
```

↓ ▼ スイッチ

```
リボ゛ンカウンタリセット　スル？
ハイ→◀　　イイエ→▶
```

↓ ◀ スイッチ

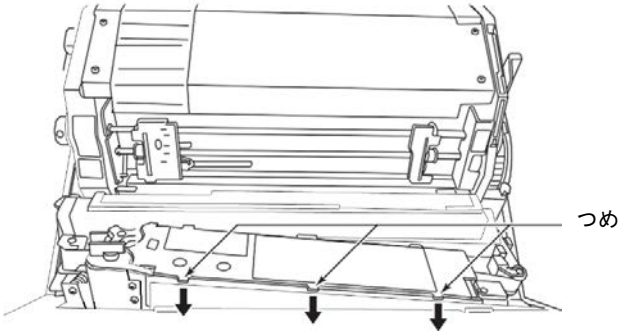
```
インクリボ゛ン　コウカン
ハイ→▼ モト゛ル▲　イイエ→▶
```

↓ ▲ スイッチ

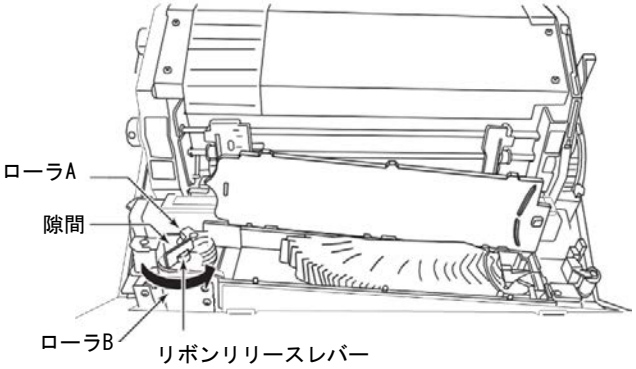
オフライン状態

4.2　インクリボン（サブカセット）の交換

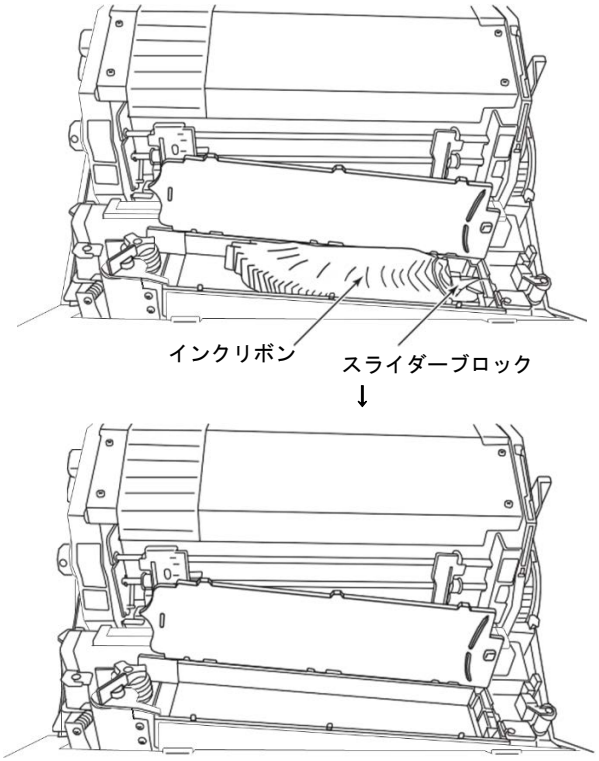
1　リボンカートリッジのつめ（3ヶ所）を矢印方向に押しながら、カセットのふたを上に開きます



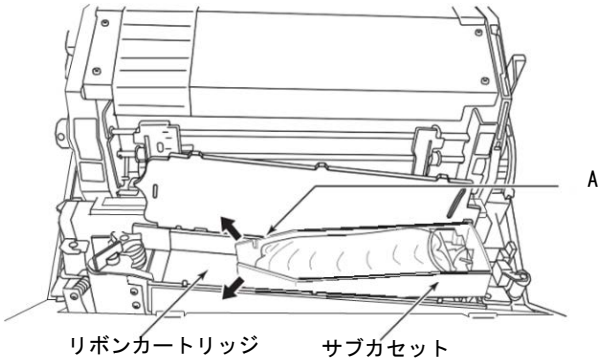
2　リボンリリースレバーを矢印方向に移動し、ローラAとローラBに隙間をつくります。



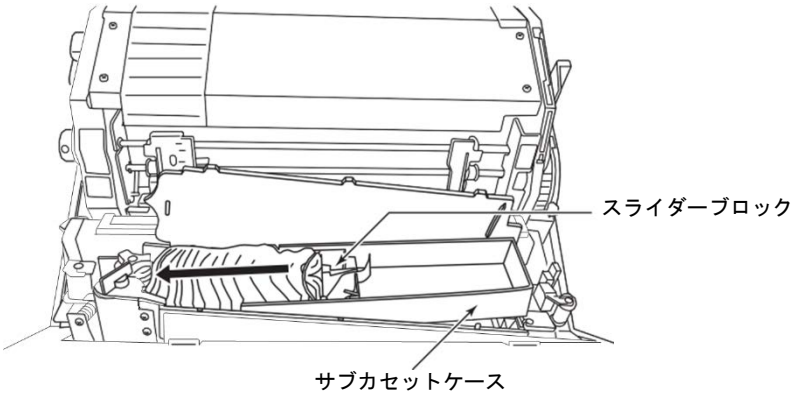
3　使用済のインクリボンとスライダーブロックを取り出します。



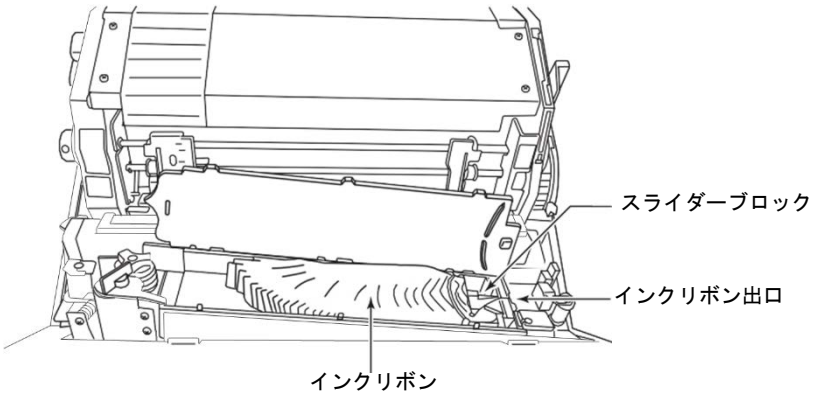
4 新しいインクリボン（サブカセット)のA部をリボンカートリッジ内に置き、A部を矢印方向に開きます。



5 スライダーブロックを矢印方向に滑らせ、インクリボンとスライダーブロックをリボンカートリッジ内に挿入し、サブカセットケースを取り除きます。



6 図のように、カセット内のインクリボンは斜めにセットし、スライダーブロックはインクリボン出口側に置きます。

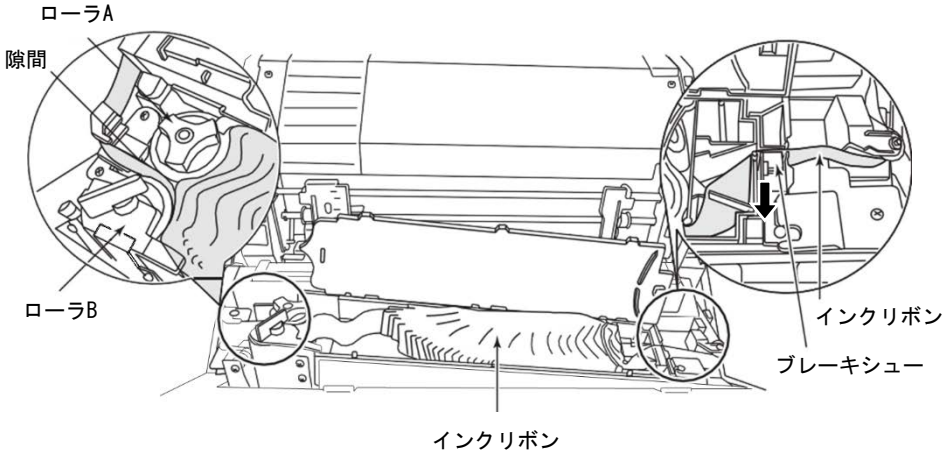


✔チェック

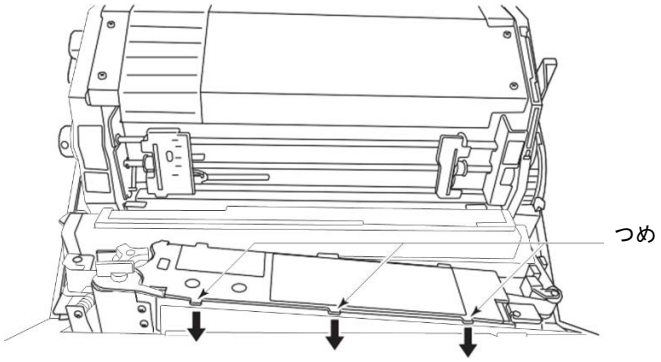
スライダーブロックのピンが、リボンカートリッジのふたにあいている穴に入りますので必ずインクリボン出口側に移動させてください。

7 ブレーキシューを矢印方向に押しながら、インクリボンを通します。

ローラAとローラBの隙間に、インクリボンを通します。



8 リボンカートリッジのふたをします。



9 リボンカートリッジの「リボンルート図」に従い、インクリボンを通します。

10 リボン交換を終了した後、次回の交換の目安とするためリボンカートリッジのふたに、交換日、カウンタ値を記入してください。

11 リセット／消耗品 スイッチを押し、リボンカウンタをリセットします。
以下の手順で操作し、リボンカウンタをリセットします。

オフライン状態
↓ リセット／消耗品 スイッチ

```
インクリボ゛ン　コウカン
ハイ→▼　モト゛ル▲　イイエ→▶
```

↓ ▼ スイッチ

```
リボ゛ンカウンタリセット　スル？
ハイ→◀　　イイエ→▶
```

↓ ◀ スイッチ

```
インクリボ゛ン　コウカン
ハイ→▼ モト゛ル▲　イイエ→▶
```

↓ ▲ スイッチ

オフライン状態

4.3　インクリボンの注意事項

●インクリボンの寿命

- インクリボンの寿命は、印刷密度や環境によって異なります。
- インクリボンは、印刷が薄くなったり、リボン布に破れやほつれが生じた場合に交換してください。
- 操作パネルに表示される「リボン」は、インクリボン交換時期の目安です。インクリボンの状態を見て、交換するかどうかを判断してください。
- インクリボンのライフ（寿命）初期値は、74万行（印刷率15%、全角文字印刷で約1000万文字相当）に設定されています。
  ライフ（寿命）値はセットアップモードで変更することができます。

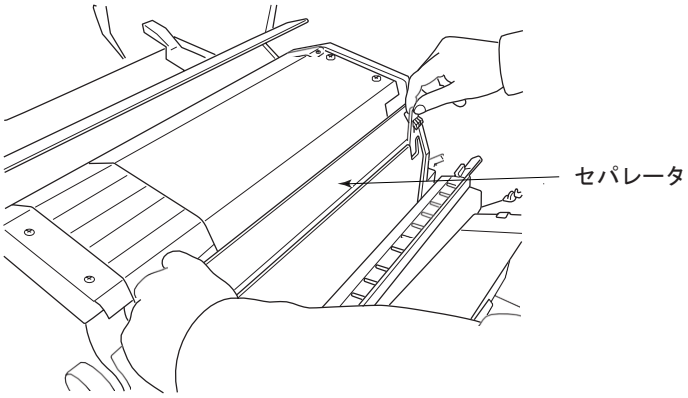
●リボンカートリッジ、インクリボンの処理について

使用済みのリボンカートリッジ、インクリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってお客様が処理してください。
使用済みのリボンカートリッジ、インクリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。

4.4　セパレータの清掃および交換

重要

セパレータは破損/変形しやすいため取り扱いに注意してください。
破損/変形した場合は、お買い上げの販売店またはサポート窓口へ部品の交換を依頼してください。そのまま使用すると故障の原因となります。

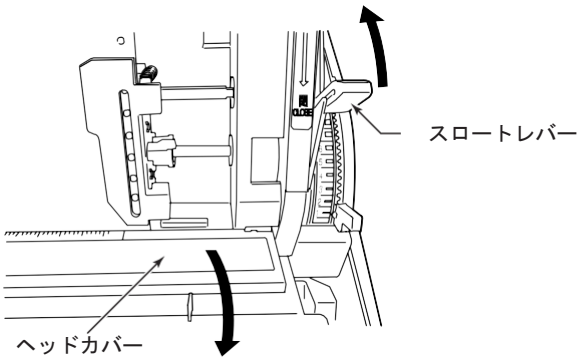


1 プリンター電源のスイッチを切り、電源コードをコンセントから抜きます。

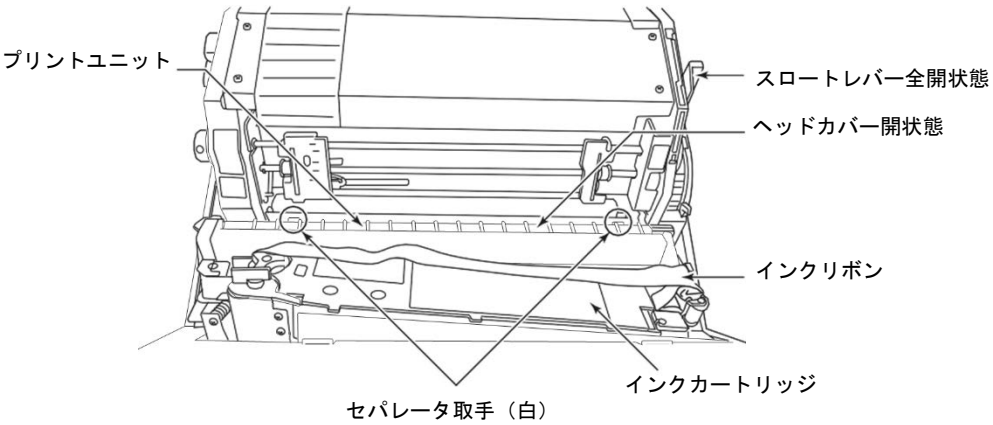
2 トップカバーを開きます。

3 スロートレバーを『全開』位置にして用紙送りユニットのロックを外します。

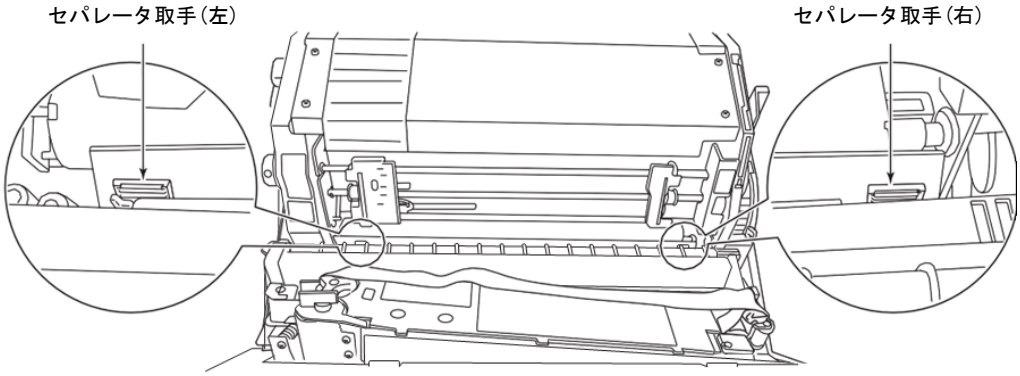
4 ヘッドカバーを開きます。

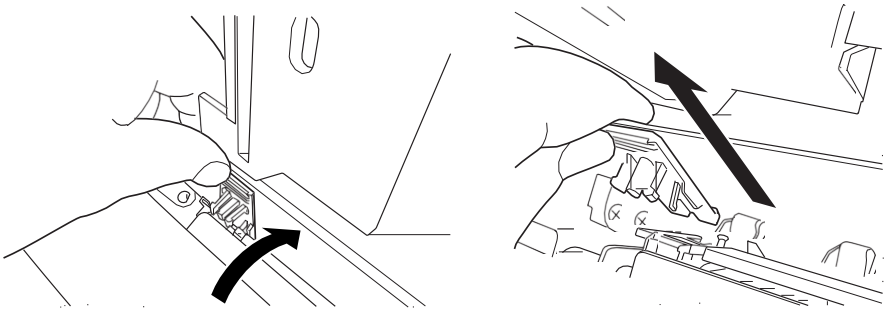


5 インクリボンをセパレータ部より外します。



6 セパレータを取り外します。
左右両側のセパレータ取手（白）を持って奥側にたおして（①）、上方向へ引き抜きます。（②）





①　奥側にたおしてください　　②　上方向へ引き抜きます

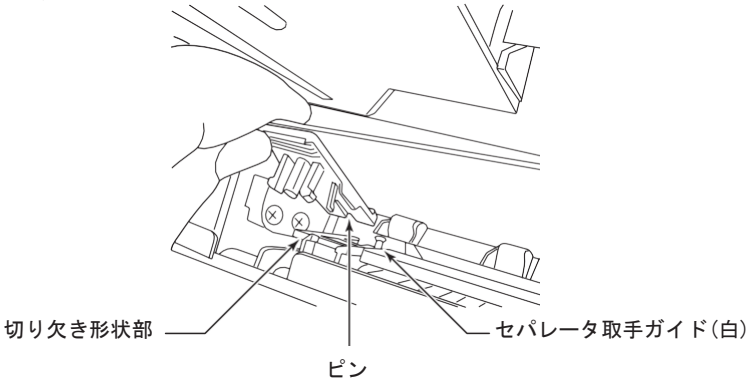
⚠ 注意

印刷直後は、プリントユニット部が高温になっており、やけどをすることがあります。必ず、冷えていることを確認してください。

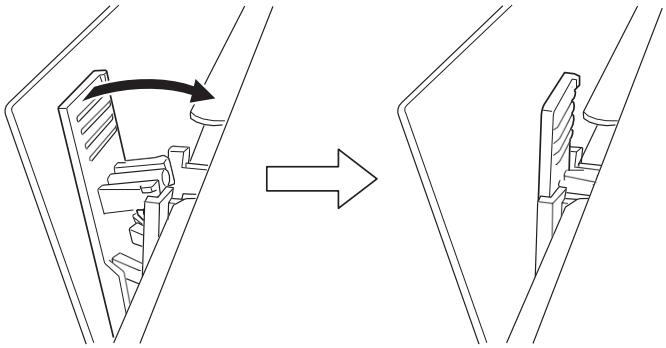
✔チェック

清掃の際はセパレータに付着しているリボンくずやインクも、やわらかい布で拭き取ってください。一ヶ月に一回程度の清掃を推奨いたします。

7 セパレータを取り付けます。
取り付けは、セパレータ取手ガイド（白）に添わせてセパレータ取手を差し込んでください。



セパレータ取手の下の部分（切り欠き形状部分）にプリントユニットのピンが確実に差しこまれていることを確認して、セパレータ取手をプリンターの手前に倒し装着してください。



✔チェック

セパレータは、セパレータ取手の下の部分とプリントユニットのピンにより位置決めがされています。ピンに取手が確実にはまっていないと、印刷抜け等の印刷不良が発生します。

8 インクリボンを装着します。
（「4.1 リボンカートリッジの交換（55ページ）」参照）

9 ヘッドカバーを閉じます。

10 スロートレバーを『閉』位置にして用紙送りユニットのロックをします。

11 トップカバーを閉じます。

12 プリンターの電源コードをコンセントに差し、電源スイッチをON（「｜」側）にします。

第５章　故障かな？と思ったら

5.1　プリンターがうまく動かないとき

5.1.1　プリンターの状態と対処方法

プリンターがうまく動かないときは、下表に従って対処してください。

プリンターの状態と対処方法

こんなとき	よくある原因	対処方法
電源が入らない	電源コードがコンセントから抜けている。	・電源コード、電源スイッチを確認してください。 ・電源スイッチを切って10秒以上待ってから入れ直してください。
・液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示される	エラーなどが発生した。	本章を参照してください。
・印刷がうすい ・用紙が汚れる	・インクリボンが寿命である。 ・用紙厚設定が正しくない。 ・インクリボンがセパレータとプラテンの間にある。 ・用紙をセットする際、2枚重ねにした。 ・規格外の用紙を使用した。	・インクリボンを交換してください。 ・インクリボンをセパレータとプリントユニットの間にセットし直してください。 ・用紙厚設定レバーを確認してください。
異常音がする	プリンター内部に紙くず、クリップなどの異物が混入している。	電源スイッチを切ってから、プリンター内部を点検してください。
・電源スイッチ「ON」時にリボン送りローラから異常音がする ・液晶ディスプレイに「14 リボンエラー」が表示される	・セパレータ、リボンガイド、リボン送りローラにインク、リボンくずが付着し汚れている。 ・セパレータが寿命である。	・本章をおよび「7.2 日常の点検清掃（90ページ）」を参照してください。
・用紙送りが不安定である ・用紙送りができない ・用紙が外れる ・斜めに印刷する	・用紙がトラクタに正しくセットされていない。 ・トラクタロックレバーがロックされていない。 ・用紙が正しい位置にない。	・トラクタを確認してください。 ・用紙の置き方を確認してください。 「2.6用紙のセット(18ページ)参照。」

上記の処理を行っても復旧しない場合は、お買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせください。

警告

・ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。
・電源コード、LANケーブルを傷つけたり、加工しないでください。
感電や火災のおそれがあります。
・装置を分解したり、改造したりしないでください。
感電や火災のおそれがあります。

5.1.2　液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき

（１）プリンターでエラーが発生すると、アラームランプが点灯するとともに、エラーの内容が液晶ディスプレイに表示されます。また、セットアップでブザーが鳴るように設定している場合は、ブザーが鳴動します。

ブザーを停止させるときは、▲ スイッチを押します。

エラー状態を解除するときは、リセット スイッチを押します。
リセット スイッチを押してもエラーが解除されないときは、お買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせください。

（エラー内容表示）

交互表示
←→
(3秒)

ﾌﾞｻﾞｰﾃｲｼ▲

注：相互表示しないエラーもあります。
ブザー鳴動時のみ表示します。

↓ リセット スイッチ

ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

↓（約8秒）

オフライン
ラインカウントＸＸＸＸＸＸＸＸＸ

オンライン状態のときに発生したエラーを解除すると、オフライン状態に復帰します。セットアップ／テスト／消耗品交換モードのときに発生したエラーを解除すると、エラー発生前の表示に戻ります。

（２）分割（サーマル分割）印刷(*1)しているときは、次の表示になります。

オンライン
ﾍｯﾄﾞ　ﾚｲｷｬｸﾁｭｳ

- 上の表示は、「ヘッド レイキャクチュウ」を表示中に、ヘッドの温度が一定温度より下がって印刷動作が停止した場合は、約3秒後にヘッド冷却中表示を消去します。
  また、オフラインに移行する際も消去します。
- セットアップにおいて「リボンライフテイシ：ユウコウ」に設定している場合、オンライン印刷中にインクリボンライフを初期（インクリボンカウント値＝インクリボンライフ値）検出した場合、オフライン状態に移行して消耗品ライフ表示を行います。
- インクリボンライフ検出は、1回のみであり、インクリボンカウント値がインクリボンライフ値より小さい場合はオフライン状態には移行しません。
- オフライン（セットアップ／テストモード）での印刷動作は、インクリボンライフ検出を行いません。

*1：分割（サーマル分割）印刷
印刷ヘッドが高温になるのを防ぐため、同一行を複数回に分けて印刷する機能です。

（３）オフライン状態

印刷ができない状態です。パソコンから受信済みのデータは、受信バッファに保持されます。

オフライン状態のときは、次の表示になります。

オフライン
ラインカウントＸＸＸＸＸＸＸＸＸ

ＸＸＸＸＸＸＸＸＸ：ラインカウント値（印刷行ラインカウント、9桁）

●エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ一覧を下表に示します。

エラーメッセージ一覧

項	エラー内容	表示メッセージ	対処方法
1	インターロックオープン	１１　インターロックオープ゜ン →スロートレバ゛―ヲ　トシ゛ル →ヘッドカバー　ヲ　トジル （交互に表示）	スロートレバーを「閉」位置にしてください。 ヘッドカバーを閉めてください。 エラーを解除すると、用紙厚設定確認メッセージが表示されます。
2	用紙終了 （ペーパーエンド検出）	１２　ヨウシ　キ゛レ →ヨウシ　ヲ　セットスル	用紙をセットしてください。 エラーを解除すると、用紙厚設定確認メッセージが表示されます。
3	用紙づまり （用紙ジャム）	１３　ヨウシ　ツ゛マリ →ヨウシ　ヲ　セットシナオス	つまった用紙を取り除いた後、 リセット／消耗品 スイッチを押してください。 エラーを解除すると、オフライン状態またはエラー発生前の状態（セットアップ／テスト）に戻ります。
4	リボンジャム （リボン送りスリップを含む）	１４　リボンエラー →リホ゛ン／ヨウシアツ　カクニン	インクリボンの状態および用紙厚設定レバー確認後、リセット／消耗品 スイッチを押してください。 エラーを解除すると、オフライン状態またはエラー発生前の状態（セットアップ／テスト）に戻ります。 リボンエラーが再発する場合は、セパレータ清掃、リボンガイド清掃、リボン送りローラと周辺の清掃を行った後、リセット／消耗品 スイッチを押してください。 エラーを解除すると、オフライン状態またはエラー発生前の状態（セットアップ／テスト）に戻ります。
5	インターロックエラー	１５　インターロックエラー →スロートレバ゛―　ヲ　トシ゛ル →ヘッドカバー　ヲ　トジル （交互に表示）	スロートレバーを「閉」にし、ヘッドカバーを閉めてから リセット／消耗品 スイッチを押してください。 エラーを解除すると、オフライン状態またはエラー発生前の状態（セットアップ／テスト）に戻ります。
6	リボン継ぎ目エラー	１６　リホ゛ンツキ゛メ　エラー →リホ゛ン　ヲ　カクニン	正規品のリボンに交換してください。その後、リセット／消耗品 スイッチを押してください。 エラーを解除すると、オフライン状態またはエラー発生前の状態（セットアップ／テスト）に戻ります。
7	シャトル動作異常	２Ｘ　シャトル　エラーＸ →ヨウシアツ　ヲ　カクニン	用紙厚設定レバーの位置が不適切です。適切な位置にして、リセット／消耗品 スイッチを押してください。エラーを解除すると、オフライン状態またはエラー発生前の状態（セットアップ／テスト）に戻ります。

エラーメッセージ一覧（続き）

項	エラー内容	表示メッセージ	対処方法
8	ヘッドコイルオープン	３１　コイルオープ゜ン　ｍｍｐｐ フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
9	ヘッドコイルショート1	３２ ヘッド゛ショート１ フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
10	ヘッドコイルショート2	３３ ヘッド゛ショート２ ＸＸ フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
11	サーマル分割異常	３４ ヘッド゛サーマル エラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
12	紙送りモーターヒューズ断	４１ カミオクリモータ エラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
13	リボンモーターヒューズ断	４２ リホ゛ンモータ エラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
14	シャトル定速コイルヒューズ断	４３ テイソク コイル エラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
15	シャトル押し付けコイルヒューズ断	４４ ハンテン コイル エラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
16	ファンアラーム1	５１ ハイキファン エラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
17	ファンアラーム2	５２ デ゛ンケ゛ンファンエラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
18	ファンアラーム3	５３ キュウシファン エラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
19	ファンアラーム4	５４ シャトルファン エラー フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
20	初期診断 MCDONEタイムアウト	７１　メカ　シンタ゛ン　エラー１ フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
21	初 期 診 断　MDREQ タイムアウト	７２　メカ　シンタ゛ン　エラー２ フ゛サ゛―テイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
22	印刷 異 常　MDREQ タイムアウト	７３ シーケンス エラー１ フ゛サ゛ーテイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
23	印刷異常 MDREQ異常	７４ シーケンス エラー２ フ゛サ゛ーテイシ▲	リセット／消耗品 スイッチを押してください。（※）
24	二重IPアドレスエラー	７７ ニシ゛ュウＩＰアド゛レス →ＩＰアド゛レスカクニン	電源再投入してください。IPアドレスを確認してください。
25	システムエラー	システムエラー ８Ｘ－ＸＸ ＸＸＸＸＸＸＸＸ	電源再投入してください。(※)

※エラーメッセージを記録したのち、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご相談ください。

5.2　印刷不良の対応について

印刷を行っているときに、印刷不良が発生したら次の操作を行ってください。

●印刷汚れ

印刷汚れ

処置

1. 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2. セパレータが確実にはまっているか確認します。
（「4.4 セパレータの清掃および交換（62ページ）」参照）

3. リボン送りローラとその周辺を清掃します。
（「7.2 日常の点検清掃（90ページ）」参照）

4. プリントユニットに紙片等がはさまってないか確認します。
異物等があれば、ガーゼ、綿棒等で清掃し取り除いてください。

●印刷欠け

印刷が欠ける

処置

1. 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2. セパレータが確実にはまっているか確認します。
（「4.4 セパレータの清掃および交換（62ページ）」参照）

3. リボン送りローラとその周辺を清掃します。
（「7.2 日常の点検清掃（90ページ）」参照）

4. リボンが折れてないか確認します。
（「4.1 リボンカートリッジの交換（55ージ）」参照）

5. リボンを交換します。
（「4.1 リボンカートリッジの交換（55ージ）」参照）

6. プリントユニットに紙片等がはさまってないか確認します。
異物等があれば、ガーゼ、綿棒等で清掃し取り除いてください。

●印刷斜行（印刷が傾く）

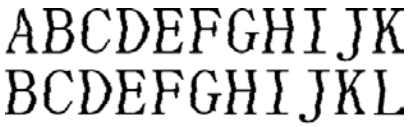
処置

1 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・ねじれに注意してください。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」参照）

2 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

3 用紙のプレプリントが斜行ズレしていないか確認します。
（「第6章 用紙について（77ページ）」参照）

●印刷乱れ／ゆれ



処置

1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・ねじれに注意してください。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」参照）

●白すじ

白すじ

処置

1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・ねじれに注意してください。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」参照）

●ドット抜け

ドット抜け

処置

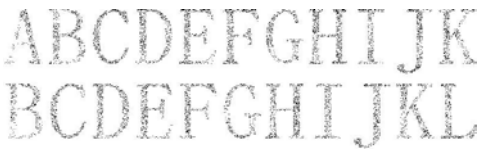
1 用紙厚設定レバーの値を小さくします。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2 セパレータが確実にはまっているか確認します。
（「4.4 セパレータの清掃および交換（62ページ）」参照）

3 リボン送りローラとその周辺を清掃します。
（「7.2 日常の点検清掃（90ページ）」参照）

4 リボンを交換します。
（「4.1 リボンカートリッジの交換（55ページ）」参照）

●印刷が薄い（全桁が薄い）



処置

1 用紙厚設定レバーの値を小さくします。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2 セパレータが確実にはまっているか確認します。
（「4.4 セパレータの清掃および交換（62ページ）」参照）

3 リボン送りローラとその周辺を清掃します。
（「7.2 日常の点検清掃（90ページ）」参照）

4 リボンを交換します。
（「4.1 リボンカートリッジの交換（55ページ）」参照）

●印刷が薄い（特定の桁が薄いまたは一部分薄い）

処置

1 セパレータが確実にはまっているか確認します。
（「4.4 セパレータの清掃および交換（62ページ）」参照）

2 リボン送りローラとその周辺を清掃します。
（「7.2 日常の点検清掃（90ページ）」参照）

3 プリントユニットに紙片等がはさまってないか確認します。
異物等があれば、ガーゼ、綿棒等で清掃し、取り除きます。

●印刷抜け（特定位置が抜けている）

処置

1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2 セパレータが確実にはまっているか確認します。
（「4.4 セパレータの清掃および交換（62ページ）」参照）

3 プリントユニットに紙片等がはさまってないか確認します。
異物等があれば、ガーゼ、綿棒等で清掃し取り除きます。

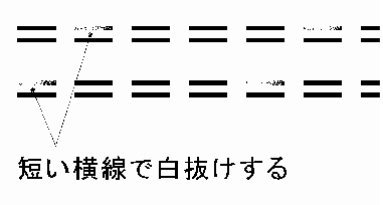
●印刷詰まり

処置

1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・用紙ねじれに注意してください。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」参照）

●印刷カスレ（等間隔にカスレる）

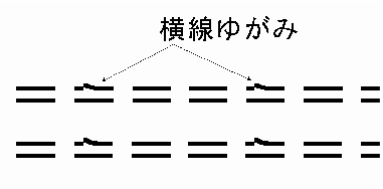


処置

1 用紙厚設定レバーの値を小さくします。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」参照）

2 セパレータが確実にはまっているか確認します。
（「4.4 セパレータの清掃および交換（62ページ）」参照）

●横線ゆがみ



処置

1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」の手順12参照）

2 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・ねじれに注意してください。
（「2.6 用紙のセット（18ページ）」参照）

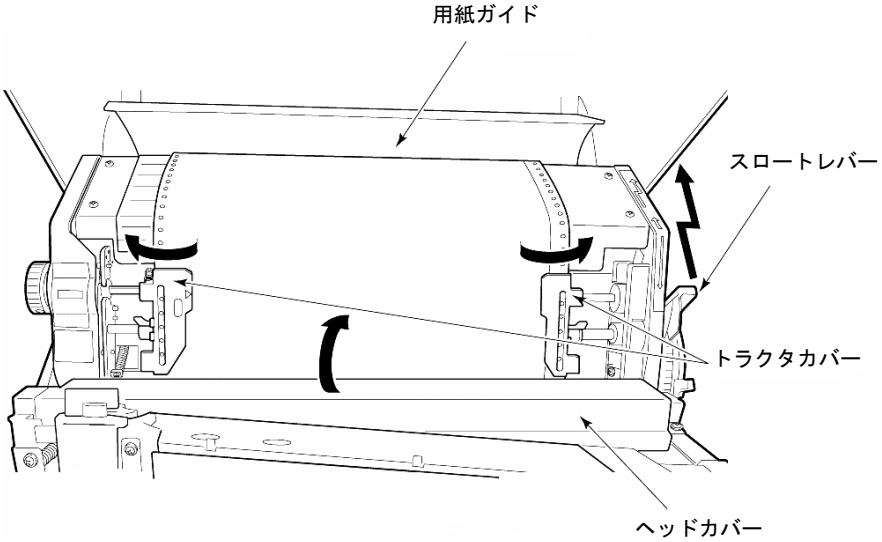
お願い

記載された処置を行ってもプリンターが回復しない場合は、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご相談ください。

5.3　リボンづまりのときの対処

リボンづまりのエラーメッセージが表示されたときは、以下の手順で対処してください。

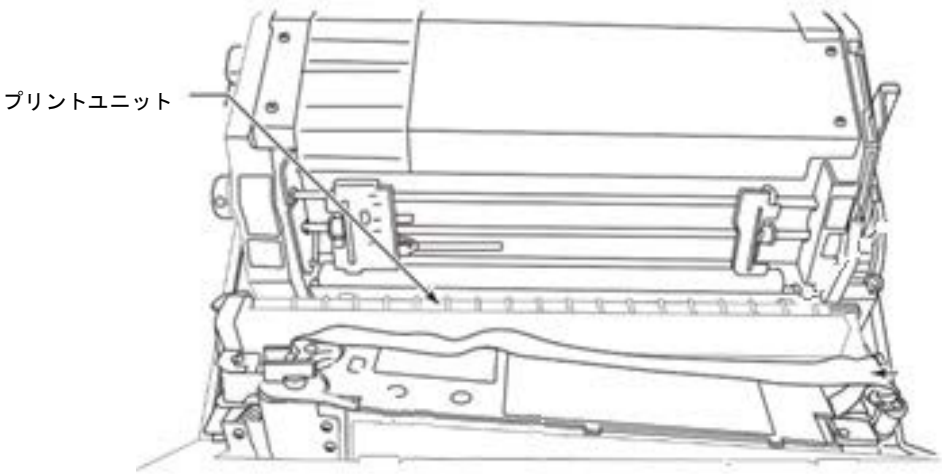
1. トップカバーを開けます。
2. スロートレバーを『全開』位置にしてから、トラクタカバーおよびヘッドカバーを開けます。



3. プリンター内につまったリボンを正しくセットし直します。
4. リセット／消耗品 スイッチを押します。
5. スロートレバーを元の位置に戻し、トラクタカバーおよびヘッドカバーを閉じます。
6. トップカバーを閉じます。

⚠ 注意

印刷直後は、プリントユニット部が高温になっており、やけどをすることがあります。必ず、冷えていることを確認してください。

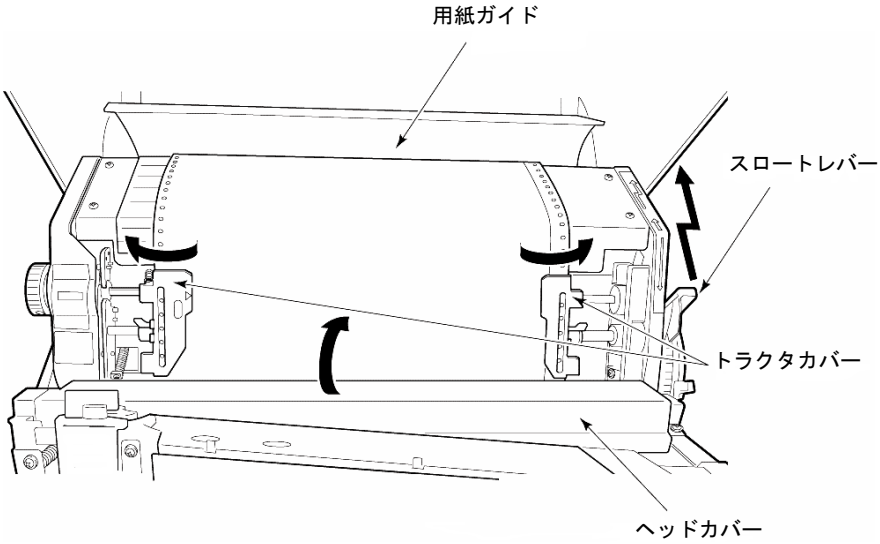


5.4　用紙づまりのときの対処

用紙づまりのエラーメッセージが表示されたときは、以下の手順で対処してください。

1 トップカバーを開けます。

2 スロートレバーを『全開』位置にしてから、トラクタカバーおよびヘッドカバーを開けます。



3 プリンター内につまった用紙を取り除きます。

4 リセット／消耗品 スイッチを押します。

5 「2.6 用紙のセット（18ページ）」を参照して、用紙をセットします。

⚠ 注意

印刷直後は、プリントユニット部が高温になっており、やけどをすることがあります。必ず、冷えていることを確認してください。

用紙終了および非動作中のインターロックオープン(*1)は、受信データ（印刷バッファ、インターフェースバッファ等）は保持されます。ただし、ページ出力保証されていない用紙終了は、受信データ（印刷バッファ、インターフェースバッファ等）をクリアします。

用紙終了または用紙掛け替え（非動作中のインターロックオープン(*1)）は、用紙厚設定確認メッセージを表示します。（用紙厚確認無効（セットアップ設定）に設定されている場合、用紙厚設定確認メッセージは表示されません。）

状態

（用紙終了／インターロックオープン）

↓ｽﾛｰﾄﾚﾊﾞｰ/ﾍｯﾄﾞｶﾊﾞｰｸﾛｰｽﾞ

ヨウシアツ　カクニン
ＯＫ→リセット

↓リセットスイッチ

オフライン
ラインカウントＸＸＸＸＸＸＸＸＸ

交互表示
←→
(3秒)

ﾌﾞｻﾞｰﾃｲｼ▲

注：ブザー鳴動時のみ表示します。

*1： インターロックオープン：スロートレバー、ヘッドカバーが開いた状態を指します。

第６章　用紙について

6.1　印刷用紙

本プリンターで使用する印刷用紙は、送り孔付きの連続折り畳み用紙であり、JIS X 6195（情報処理用連続伝票）で規定されている用紙に準ずるものですが、プリンターの構造および特性により以下に示す制限事項があります。

本プリンターに使用する印刷用紙は、下記仕様を充分確認のうえ、使用してください。

なお、特殊用紙の使用を計画されるときは、事前にテスト用紙を作成して充分テストを行い、問題がないことを確認のうえで使用してください。

6.1.1　用紙の基本仕様

用紙の基本仕様

項	項 目	仕　様		備 考
1	紙質	上質紙、再生紙		
2	形態	紙送り穴付き折り畳み連続用紙		JIS X 6195
3	用紙サイズ (*1)	横	76.2～406.4mm（3～16インチ）	
		縦	76.2～304.8 mm（3～12インチ）	
4	連量(*2)	6.1.2の表「用紙の連量」による		
5	複写用紙	感圧紙、裏カーボン紙		
6	用紙厚み	0.6mm以下 ただし、バラツキは左右両端の耳部分を含め、0.1mm以下		

*1：　用紙サイズ（横／縦寸法）は、極端に小さくすると、用紙の折り畳み性が悪くなりますので、177.8mm（7インチ）以上を推奨します。

*2：　連量は、四六版（788×1,091mm）の用紙を1,000枚重ねたときの重さを表します。

6.1.2　用紙の連量

用紙連量を下表に示します。（単位：kg）

用紙の連量

<table>
<tr><th colspan="2">種　類</th><th>推奨値</th><th>最小値</th><th>最大値</th></tr>
<tr><td colspan="2">1Ｐ用紙</td><td>55</td><td>45</td><td>110</td></tr>
<tr><td rowspan="4">裏カーボン
重ね合わせ用紙</td><td>2P</td><td rowspan="2">45</td><td rowspan="4">34</td><td>45
70（最下層のとき）</td></tr>
<tr><td>3P</td><td rowspan="2">45</td></tr>
<tr><td>4P</td><td rowspan="2">34</td></tr>
<tr><td>5P</td><td>34</td></tr>
<tr><td rowspan="5">感圧紙
重ね合わせ用紙</td><td>2P</td><td rowspan="2">43</td><td rowspan="5">34</td><td>45
70（最下層のとき）</td></tr>
<tr><td>3P</td><td rowspan="2">45</td></tr>
<tr><td>4P</td><td rowspan="3">34</td></tr>
<tr><td>5P</td><td rowspan="2">34</td></tr>
<tr><td>6P～8P</td></tr>
</table>

- 給与明細書等、用紙の連量や厚さが規定値を超える重ね合わせ用紙の場合は、印刷品質や複写性の低下、紙送りへの負荷増による障害を起こす可能性がありますので、用紙のとじ方に注意してください。（「6.2.2 複写用紙のとじ方（82ページ）」参照）
- １ページ内の用紙の厚さが異なる用紙（段差媒体）に印刷する場合は、「段差媒体モード」を選択してください。
- 6Pを超える用紙に印刷する場合は、「高複写モード」を選択してください。

6.1.3　用紙の一般的注意事項

●用紙の品質

用紙は、通常上質紙と呼ばれるもので、均一かつ不透明で伸縮が少なく、印刷に適するものでなければなりません。また、印刷および使用上支障をきたすような汚れ、しわ、傷、折れ、カールなどがなく、十分な強さを有するものでなければなりません。

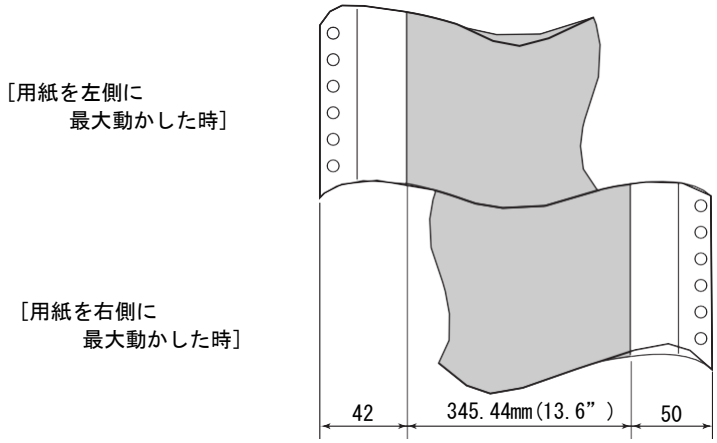
●用紙の環境条件

用紙の保管および使用時の環境条件は以下のとおりです。
ラベル紙の保管条件は87ページを参照ください。

- 保管時
  温度-10℃～35℃、相対湿度8%～95%RＨとすることを推奨します。
- 使用時
  温度10℃～35℃、相対湿度20%～80%RＨとすることを推奨します。
  ただし、保管場所と使用場所との間に環境条件の差があるときは、48時間以上露出させて使用場所の環境になじませることをお薦めします。
- 感圧紙保管時の注意
  感圧紙は、長時間保存すると不用意な荷物（積み重ねられた用紙の重さなど）により発色したり、湿気や直射日光などにより変色する場合があるため、保管には十分注意する必要があります。

6.1.4　印刷領域

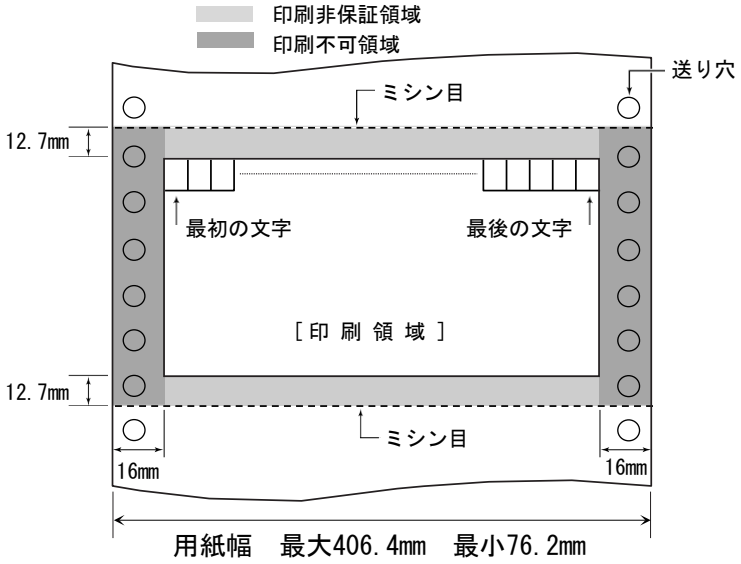
●用紙の左右移動量



用紙の左右移動量

●印刷保証領域

印刷領域は、下図に示す範囲とします。印刷領域を超えて印刷したときは、印刷品質を損ねたり、プリンターに悪影響をおよぼすことがありますので注意してください。



印刷保証領域

6.2　用紙加工仕様

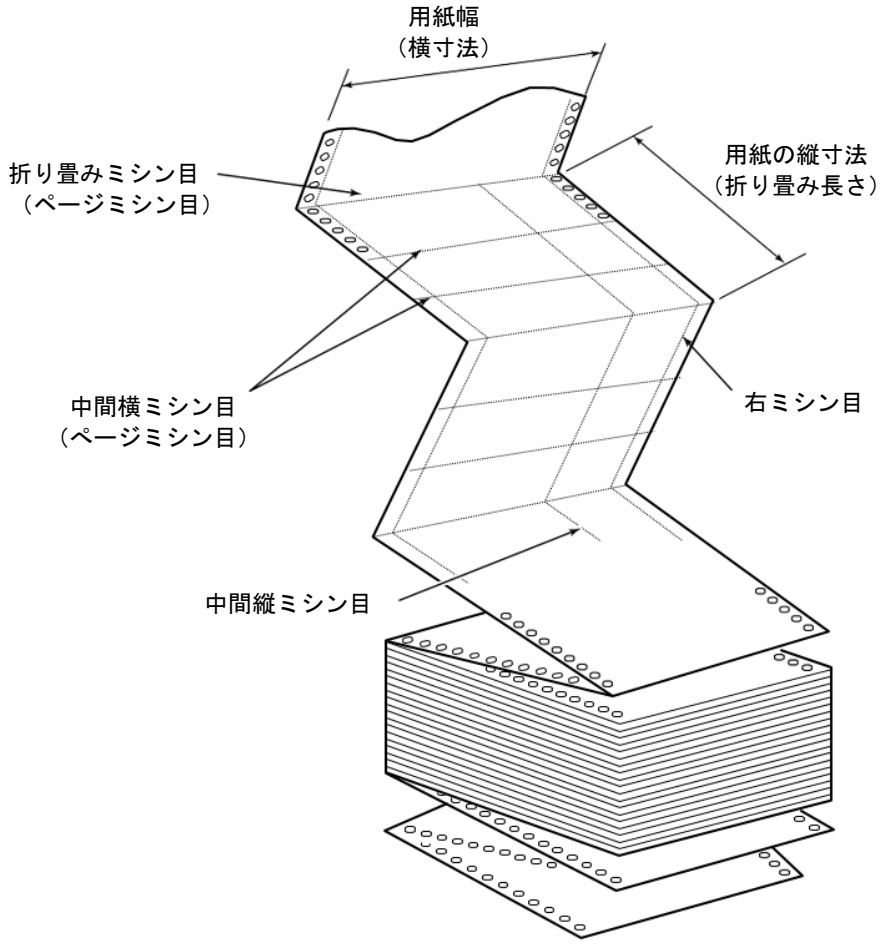
6.2.1　ミシン目加工・送り孔加工

連続帳票には、用紙の折り畳みや後処理のためのミシン目と、用紙を正確に搬送するための送り孔が設けられています。

ミシン目には用紙の横方向に設けられて用紙の折り畳みに用いる折り畳みミシン目、折り畳みミシン目の間に設けられる中間横ミシン目、用紙の縦方向（搬送方向）に設けられる縦ミシン目があります。

本プリンターに使用される連続帳票には、ミシン目の加工基準推奨値ならびに送り孔加工精度が規定されています。ミシン目のタイ ・ カット比が適切でない場合やミシン目の膨らみが大きい場合、送り孔加工精度が適性でない場合には、紙切れや印刷プリンターの紙送り性能、用紙の折り畳みに影響し、性能が著しく損なわれる場合があります。

●ミシン目の名称

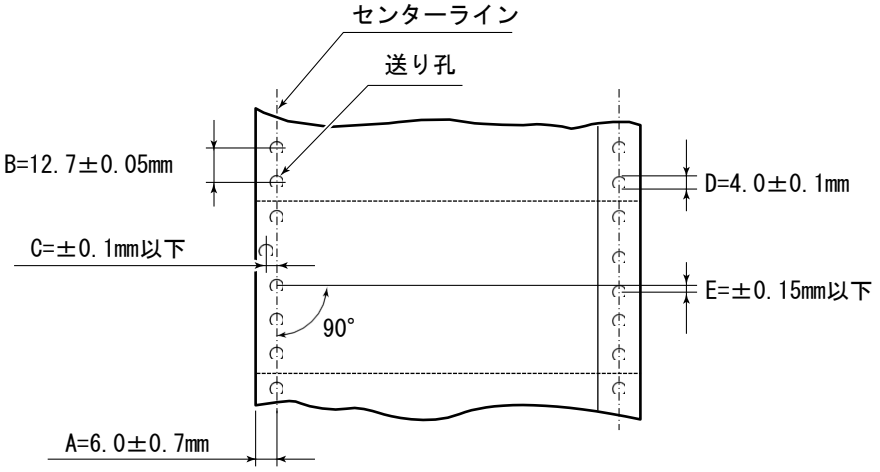


ミシン目の名称

●送り孔、ミシン目の精度

送り孔は用紙の両端に設けます。半抜け状態の孔、もしくは抜きかすが用紙の間に挟まって残っている用紙は、用紙搬送不良や抜きかすによる脱字現象が発生する可能性がありますので、使用できません。

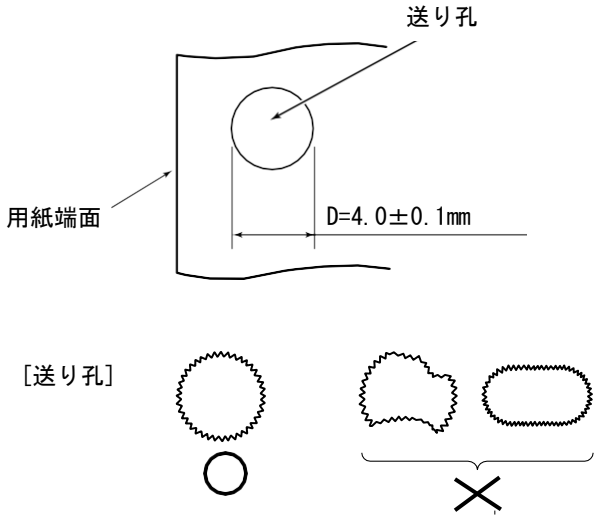
【送り孔加工精度】
送り孔加工精度は、下図によります。



A：送り孔のセンターと対応する端辺との距離
B：連続する2つの孔の中心間の距離
　※ センターラインに沿って存在する中心距離254mm（10インチ）を超えない任意の2つの送り孔の中心距離の累積誤差は±0.3mm以下のこと。
C：孔の中心のセンターに対するずれの量
D：送り孔の直径
E：左右の対応する孔の中心のずれ量

送り孔加工精度

【送り孔の直径】
送り孔の直径は下図によります。



送り孔の直径

孔の縁が菊形状になっている送り孔は、最小径が上記のD寸法とし、最大径は4.5mmを超えないようにしてください。

●ミシン目デザイン上の注意事項

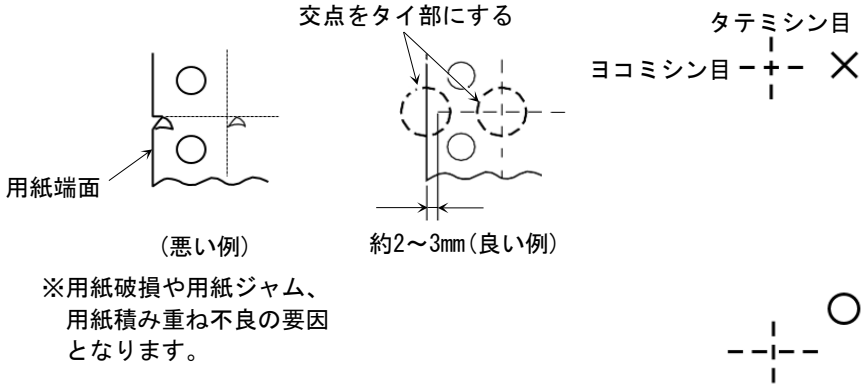
【送り孔加工精度】
折り畳みミシン目、中間縦ミシン目、中間横ミシン目の加工基準推奨値を以下に示します。ミシン目加工寸法が同一であっても、用紙の銘柄や加工条件の違いによって折り畳み特性、切り離し特性が変わる場合はあるため、この基準を目安に事前確認してください。

折り畳みミシン目、中間縦ミシン目加工寸法

タイ／カット比率、寸法	重ね合わせ枚数	横ミシン目寸法	縦ミシン目寸法
タイ／カット比率	1P	1：4以下	1：5以下
	2P～8P	1：4以下	1：5以下
カット寸法	1P～8P	1.0～4.0mm	1.0～5.0mm
タイ寸法	1P～8P	0.7mm以上	

（タイ：非切断部　　カット：切断部）

【タイ部】
折り畳みミシン目および中間横ミシン目と用紙の両端面との交点には、必ず2～5mmのタイ部を設けてください。また、折り畳みミシン目および中間横ミシン目と縦ミシン目との交点にも、可能な限りタイ部を設けてください。



ミシン目の交点

6.2.2　複写用紙のとじ方

裏カーボン紙、および感圧紙の重ね合わせ用紙が使用できます。

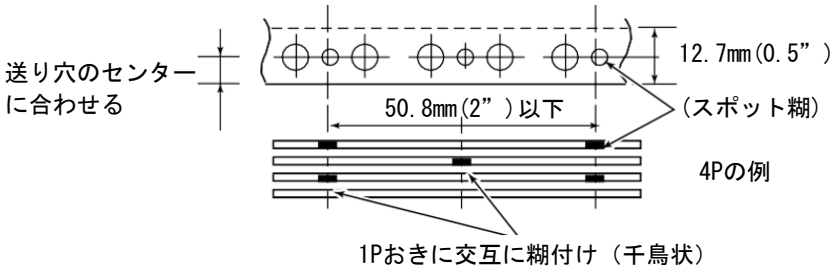
●用紙のとじ方

複写用紙は、両側の耳の部分（送り孔の部分）で点糊付け、または紙ホチキス止めにより固定されたものを使用してください。

片側のみの固定にしないでください。用紙のとじ方が不十分であると、最上層と最下層の用紙間で印刷ずれが発生します。

【糊付けの場合の注意点】
複写枚数が多いときは、糊付け部が厚くならないように千鳥状に糊付けしてください。
（糊付け部を含めた用紙全体の厚さのばらつきは、0.1mm以下にします）

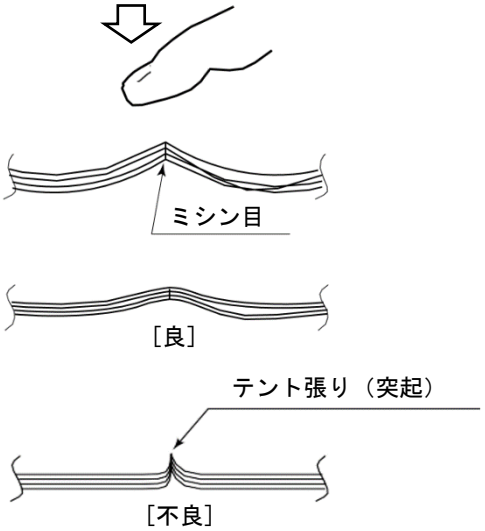
また、糊付け部の位置は、用紙送り穴のセンターに合わせてください。糊付けの方法を下図に示します。



千鳥状点糊付けの方法

✔チェック

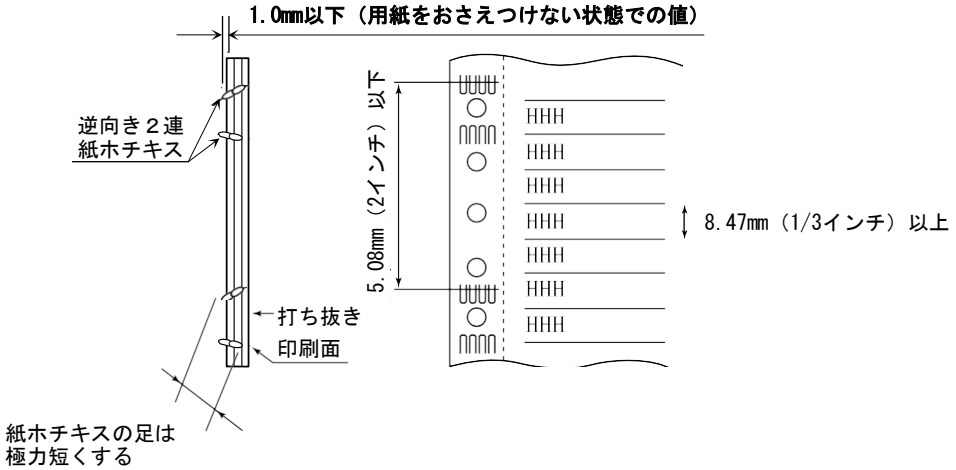
用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
- 糊付けは均一に行い、著しいシワやふくらみがあるものは使用しないでください。
- 用紙を広げたあと、下図のように折り目を指で押しても折り目にできるふくらみ（テント張り）が残る用紙は使用しないでください。
- 横ミシン目の部分に糊付けしないでください。（テント張り量が極端に大きくなるため）



折り目のふくらみ限度

【紙ホチキスの場合の注意点】
- ホチキスは、用紙がずれやすくて用紙走行や印刷品質上の問題が発生しやすいので、なるべく使用しないでください。特にカスタマバーコード（イメージデータ）を印刷する場合は、読み取り不良となる場合がありますので、使用しないでください。
- 紙ホチキスの場合は、重ね合わせ用紙の枚数を3枚以下とします。
- 4枚を超える場合、または3枚以下で給与明細書のような用紙連量の大きなもので構成される場合は、用紙破れや印刷不良の原因となりますので、糊付けを使用してください。
- 紙ホチキスは、50.8mm（2インチ）以下の間隔で逆向き2連（送り孔の上下2個）のものとし、十分な結合力で保持されている必要があります。中間横ミシン目位置の関係で、50.8mm（2インチ）以下の間隔が不可能な場合は、76.2mm（3インチ）以下でも可とします。
- 紙ホチキス部の高さは、1.0mm以下とします。
- 用紙のとじ方は、左右両側とも紙ホチキス、または紙ホチキスと点糊付けの組み合わせの2通りとします。

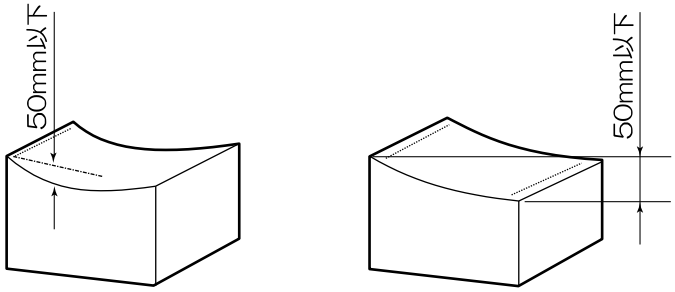
- あらかじめ用紙に罫線を印刷するときは、改行印刷ずれ、複写ずれの影響を避けるため、行間隔を8.47㎜（1/3インチ）以上とする必要があります。
- 上記注意点を含んだ紙ホチキスの例を下図に示します。
- 紙ホチキスの足（切れ目）が長い場合、用紙破れの原因となりますので、極力短くすることをおすすめします。



紙ホチキスの例

●複写用紙の使用上の注意点

糊や紙ホチキスによる用紙両側の膨らみは、給紙部での用紙送りエラー（ジャム）の原因となります。膨らみ量は一箱で50㎜以下としてください。



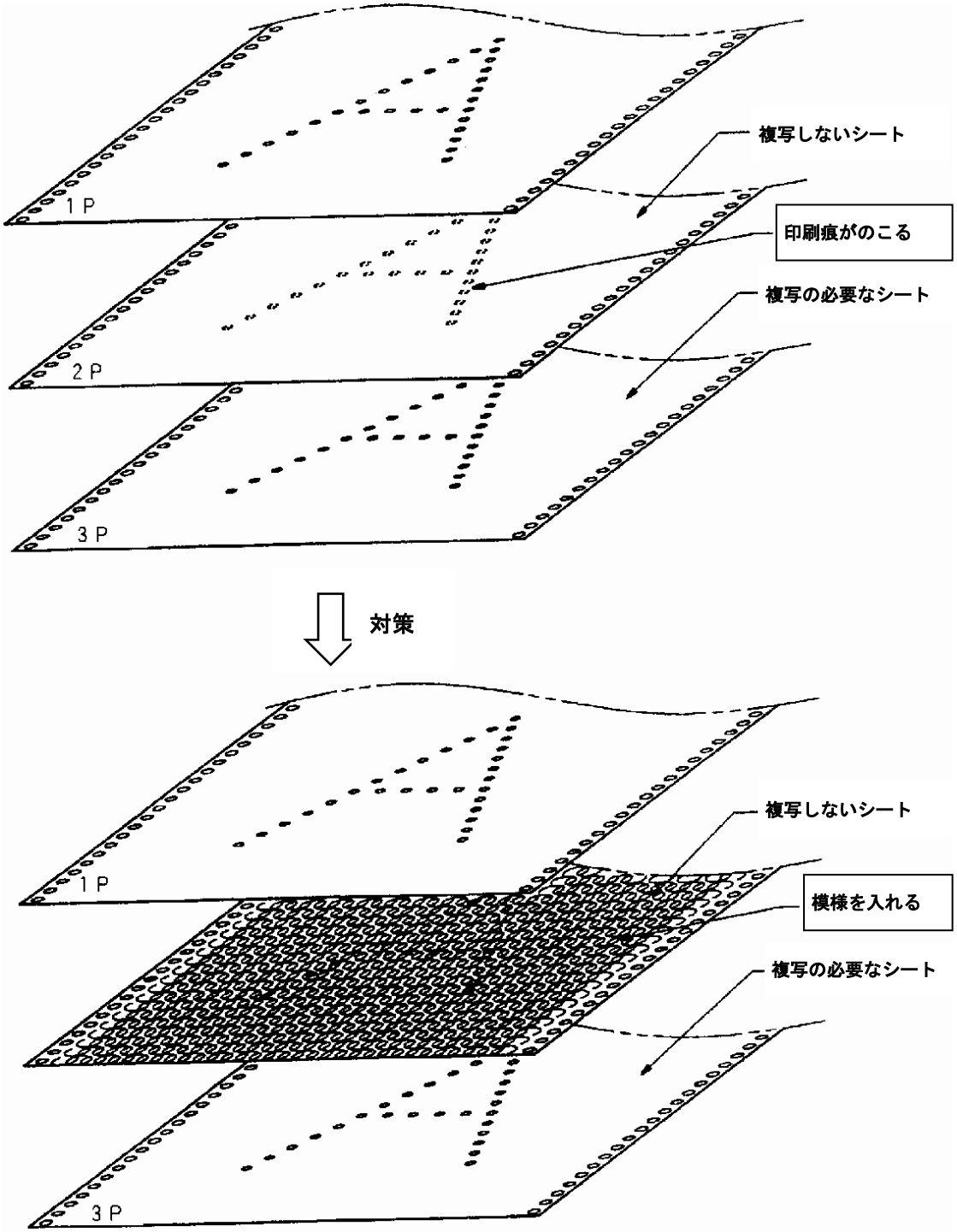
紙ホチキスの例

6.3　特殊紙

6.3.1　複写用紙で複写しない用紙がある場合について（給与明細書等々）

重ね合わせ用紙において、2枚目以降に複写しないシートを用いるとき、インパクトプリンターの機能上、複写しないシートに若干の印刷痕が残ります。

このような現象で問題のあるときは、複写しないシートに模様等をあらかじめ印刷（プレプリント）し、印刷痕を目立ち難くするなどの処置をおすすめします。（下図）



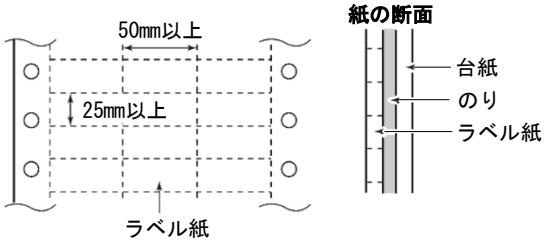
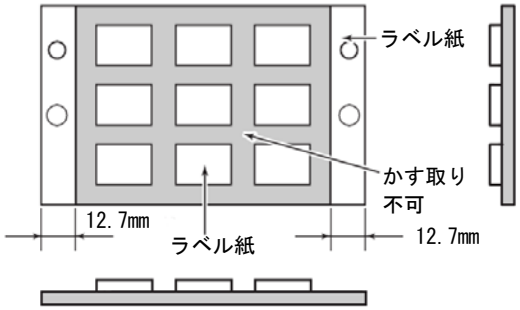
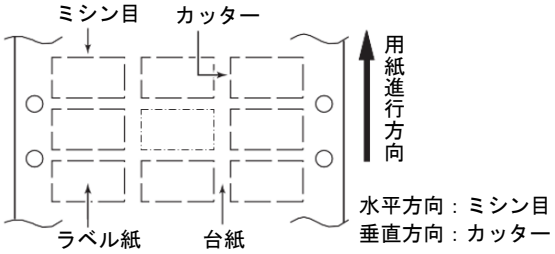
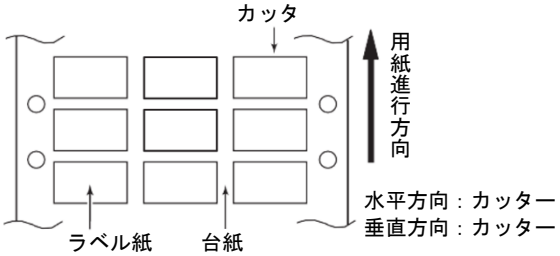
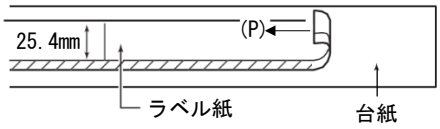
6.3.2　ラベル紙（タック紙）

タック紙とは、裏面に糊のついたラベル紙を台紙の上に並べたもので、印刷後に台紙からラベルをはがして使用します。

●推奨仕様

使用できるラベル紙の推奨仕様を下表に示します。

ラベル紙の使用条件

項 目	仕　様	備　考
用紙 ・ラベル紙 ・台紙	紙質：上質紙 連量：45kg～55kg 横寸法：50mm以上 縦寸法：25mm以上 紙質：グラミン紙または クラフト紙 連量：70kg～80kg （シリコン塗布込み）	
ラベルフォーマット	かす取り禁止	ラベルとして使用しない部分を“かす”といい、この部分を取り除くと障害原因となります。 
	4辺ともカッターを入れたラベル紙禁止	○推奨（用紙進行方向をミシン目にします）  ×不可（すべての辺をカットしています） 
糊の接着力剥離抵抗（P）	30g以上／25.4mm	

●取扱上の注意事項

- タック紙の保管条件は、温度15～32℃、湿度40～70%RHとし、寿命は製造後1年を目安とします。また、製造後、湿気が入らないよう、できるだけ早く防湿フィルムなどで完全包装します。
- 用紙の積み重ね量が増えると自重により底部の用紙に接着剤のはみ出しが発生する可能性があります。保管の際の用紙の積み重ね量については用紙メーカーに確認してください。

●事前確認

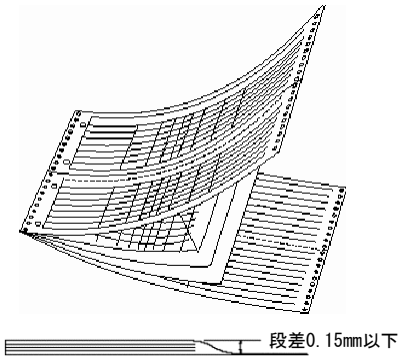
- 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

6.3.3　段差媒体

本プリンターには、1ページ内で厚さが異なる用紙に対応した「段差媒体モード」があります。

上記機能を利用して段差のある用紙（部分的に厚さの異なる用紙）を使用する場合は、下記仕様を満足してください。

段差媒体

項 目	仕　様	備　考
段差用紙	2枚目以降の紙厚合計0.15mm（30kg紙×3枚分）まで削除した用紙を言います。	

6.3.4　孔つき用紙

帳票の機能上で必要な、送り孔を除く孔つき用紙に関する注意事項は以下のとおりです。
（送り孔については「6.2.1 ミシン目加工・送り孔加工（80ページ）」参照）

●デザイン上の注意事項

- ベースとなる用紙は「6.1.1 用紙の基本仕様（77ページ）」で説明した基本特性に合致するものを使用してください。
- 孔部の凹凸やバリが印刷品質低下の原因となります。凹凸やバリのない用紙を使用してください。
- 孔近傍の印刷を避けたデザインとしてください。余白の目安は、印刷位置精度も考慮して約3.5mmです。

●事前確認

- 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

6.3.5　再生紙

再生紙とは、新聞・雑誌などの印刷済み用紙（一般に古紙とよばれています）を溶かしてパルプ状にし、インク類を分離・漂白したものを上質紙に配合した後に製造した用紙をいいます。

国内では再生紙の規格がないため、古紙の含有率や色合い（白色度）などは各製紙メーカーごとに異なります。

再生紙には普通紙に対して次のような特性上の差異があるため、再生紙を採用する場合には特に印刷品質、折り畳み特性等の事前確認を十分に実施してください。また、ロットが変更になる場合にも事前確認することをお薦めします。

確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の用紙共有が得られることを確認することをお薦めします。

【特性上の差異】

- 密度が低い。同じ連量の場合、紙厚が厚い。
- 白色度が低い。
- 引張強度、紙面強度、コシなどの機械的強度が劣る。
- 含水率が高くカールしやすい。
- 品質のバラツキが大きい。使用する古紙の種類により品質に差がでる。

●再生紙取扱上の注意事項

- 紙粉の発生量が多くなります。ローラ、センサー、搬送路などに付着する紙粉の量が多くなり、さまざまなトラブルの原因となるおそれがあります。紙粉清掃の作業をこまめに実施してください。
- 紙送り不良の頻度が多くなる場合があります。吸湿しやすくカールを発生しやすい、剛度が低いなどの要因により、紙送り不良の発生頻度が増加する場合があります。
- 印刷後のカールが大きいものは、紙送りやスタックに支障をきたす場合があります。
- 機械的強度が低いものは、送り孔がれ、紙折れ、シワなどを起こす場合があります。
- 平滑度が低いため、印刷品質が劣る場合があります。
- ロットごとの用紙特性バラツキが用紙搬送性、印刷品質の差としてでる場合があります。
- 再生紙は吸湿しやすいため、防湿フィルム梱包をして保管してください。

6.3.6　バーコード（イメージデータ）印刷時の注意事項

1P用紙以外を使用する場合、用紙の1枚目のみバーコード（イメージデータ）として使用できます。

読み取り装置の違いにより読み取り率が低下する場合がありますので、事前に十分評価する必要があります。紙ホチキスとじ用紙は、用紙がずれやすく、印刷品質が低下します。特にカスタマバーコード（イメージデータ）は読み取り不良となる場合がありますので、使用しないでください。

第７章　日常の点検とお手入れ

7.1　日常の点検

毎日、使い始めと終わりに、次のことをチェックしてください。

(1) 始めの点検

プリンターの周りは、ちらかっていませんか？
特に、クリップ、紙くずなどを確かめて、整頓してください。

(2) 終わりの点検

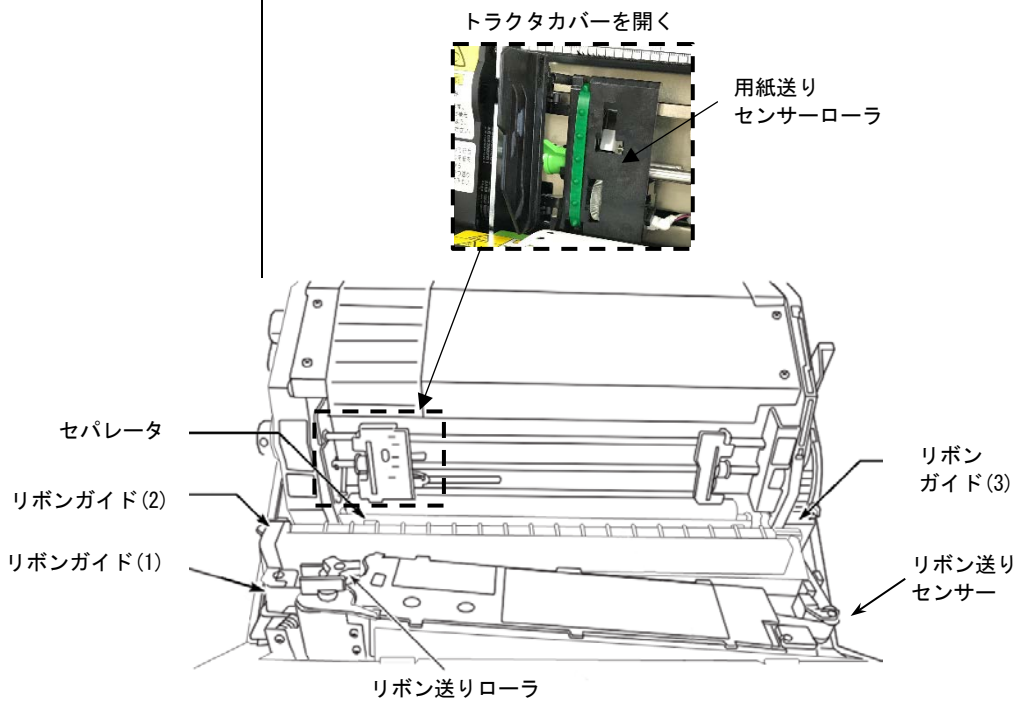
プリンターの電源は切りましたか？
安全のため、できるだけ電源コードをコンセントから抜いてください。

7.2　日常の点検清掃

常に良好な印刷品質を保つために1箇月に1回程度の割合で、下表に示す箇所の清掃を行ってください。位置は「2.5 リボンカートリッジの取り付け（15ページ）」および「2.6　用紙のセット（18ページ）」を参照してください。

なお、清掃時は、必ずプリンターの電源を切断してから実施してください。

清掃箇所と方法

清掃箇所	清掃方法
トラクタ部（左右）	・トラクタカバーを開き、掃除機で紙くず、ほこりを吸い取ってください。 ・左トラクタの用紙送りセンサーローラの外周を、ガーゼなどのやわらかい布で清掃してください。
トラクタ軸と用紙送りユニットフレーム	・トラクタ軸の汚れは、ガーゼなどのやわらかい布で拭き取ってください。 ・用紙送りユニットのフレームおよびガイド板上の紙くず、ほこりなどを掃除機で吸い取ってください。
リボンユニット周辺	・インクリボン交換時、リボンコンテナにたまっているリボンくずを掃除機で吸い取ってください。
リボン送りローラとその周辺	・リボンリリースレバーを引いてリボン送りローラを開き、ローラなどに付着しているリボンくずを掃除機で吸い取ってください。 （注）アルコールなどで拭かないでください。
リボンガイドとセパレータ	・インクリボンをリボンガイドから外し、セパレータを外してください。セパレータ、リボンガイド、リボン送りセンサーのローラに付着しているリボンくずやインクも、やわらかい布で拭き取ってください。1ヶ月に一回程度の清掃を推奨いたします。（「4.4 セパレータの清掃および交換（62ページ）」参照） 

清掃箇所	清掃方法
リボン送りセンサー	・インクリボンをリボン送りセンサーのローラから外し、ローラの軸受部のリボンくずを掃除機で吸い取ってください。 ・ローラの外周に付着しているリボンくずやインクを、やわらかい布で拭き取ってください。 （ローラは軽く回ることを確認してください。）
リボン継ぎ目センサー	・インクリボンをリボン継ぎ目センサーのすき間から外し、センサー面に付着しているリボンくずや紙くずをやわらかい布で拭き取ってください。
ホッパ部	・フロントドアを開け、ホッパ内部の紙くず、ほこりを掃除機で清掃してください。
フォームズラック	・フォームズラック内部の紙くず、ほこりを掃除機で清掃してください。
カバー類	・水を湿らせたやわらかい布で清掃してください。なお、汚れのひどいときは、中性洗剤を使用してください。 （アルコールで拭かないでください。）。
フィルター	・装置下部の左にあるフィルターを外し、掃除機でほこりを吸い取り、再セットしてください。1ヶ月に一回程度の清掃を推奨いたします。 （フィルター清掃後、フィルターのカウントをクリアしてください。35ページ参照） （注）　フィルターは装置の左下にあります。サイドカバーを開き、フィルターをサイドカバー側へ引き抜いてください。 フィルター　サイドカバーを開け引き出す　フィルター ＊清掃後は必ずフィルターをセットしてください。

⚠ 注意

装置動作中は、カバーを開けて手や顔を入れないでください。
けがをするおそれがあります。

第８章　設置に関する条件および注意事項

8.1　設置条件

本プリンターの設置条件を下表に示します。

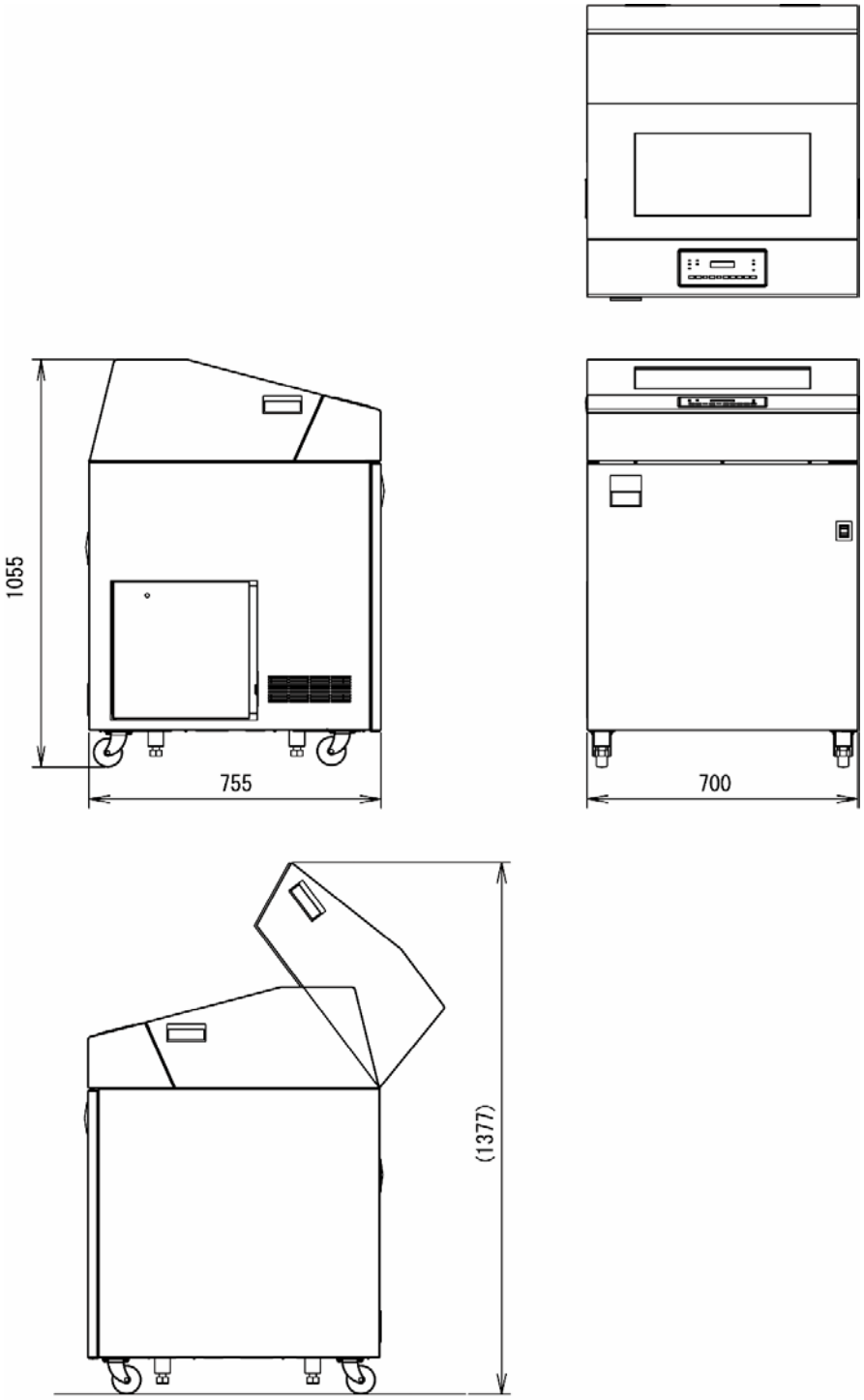
設置条件

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="3">値</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">外形寸法［mm］</td><td>幅</td><td>奥行</td><td>高さ</td><td></td></tr>
<tr><td>700</td><td>755</td><td>1055</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">質量［kg］</td><td colspan="3">約163</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">入力電源</td><td>電圧</td><td colspan="3">AC100V ±10%</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>相数</td><td colspan="3">単相</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td colspan="3">50/60Hz ＋2% −4%</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入力電流［A］</td><td>制御中</td><td colspan="3">最大11.8</td><td rowspan="6">制御中　　:30% Duty印刷時
非制御中　: 省電力モード時</td></tr>
<tr><td>非制御中</td><td colspan="3">0.26</td></tr>
<tr><td rowspan="2">所要電力量［kVA］</td><td>制御中</td><td colspan="3">最大1.18</td></tr>
<tr><td>非制御中</td><td colspan="3">0.026</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発熱量［MJ/H］</td><td>制御中</td><td colspan="3">約4.1</td></tr>
<tr><td>非制御中</td><td colspan="3">約0.09</td></tr>
<tr><td colspan="2">漏洩電流　［mA］</td><td colspan="3">1.0以下</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">温 湿 度
許容範囲</td><td>プリンター状態</td><td colspan="2">動作</td><td>保管</td><td rowspan="3">結露のないこと</td></tr>
<tr><td>温 度　［℃］</td><td colspan="2">10～35</td><td>0～50</td></tr>
<tr><td>湿 度　［%RH］</td><td colspan="2">20～80</td><td>8～80</td></tr>
<tr><td>騒音［dBA］</td><td></td><td colspan="3">55以下</td><td>ISO 7779準拠（音圧レベル）</td></tr>
<tr><td colspan="2">排気量［m^3/min］</td><td colspan="3">約2.8</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">雑音電界強度
雑音端子電圧</td><td colspan="3">VCCIクラスA</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">工事側電源ちょ仕様</td><td colspan="3">125V/15A
JIS C 8303
2極接地極付コンセント
ケーブル長：3m</td><td></td></tr>
</table>

8.2　外形寸法

本プリンターの外形寸法を下図に示します。

質量：約163kg



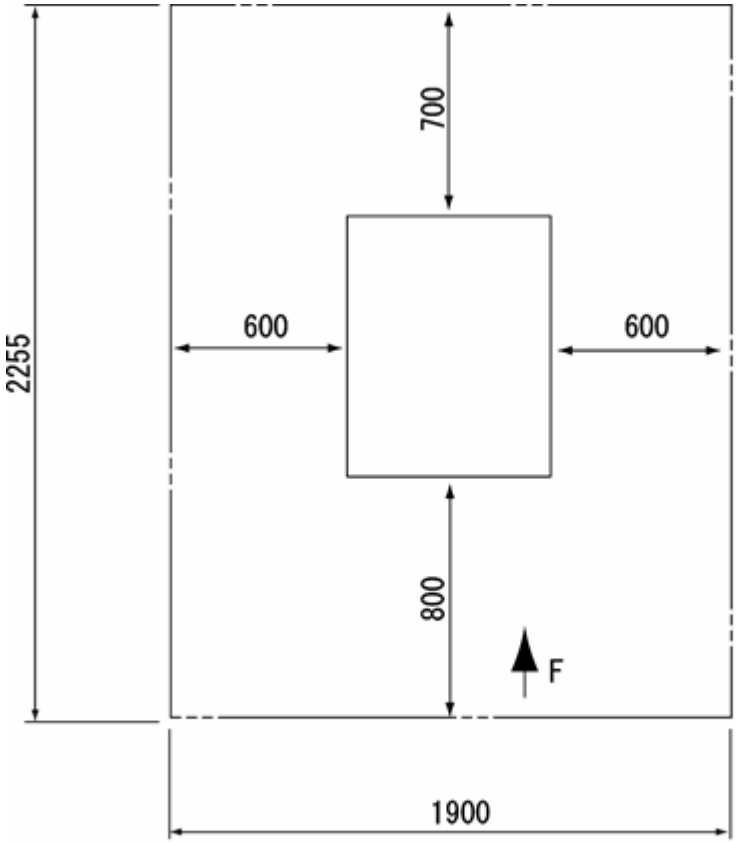
右側面図

外形寸法

8.3　設置スペースと設置上の注意事項

本プリンターの設置に必要なスペースは次のとおりです。本プリンターを安全に、快適にご使用いただくためには、下図に示すスペースを確保し、風通しのよい場所に設置してください。

本プリンターの設置スペースを下図に示します。



単位　：mm
F　　：プリンター前面

設置スペース

本プリンターの機能を十分に活用するため、設置環境については次のような点に注意してください。

●床構造について

- 床荷重は、一般事務室の耐重性があれば設置できます。
- 床の表面材料は、清掃が簡単で油に強く、塵埃の発生しにくいビニール系タイルが最適です。また、静電気の発生を防ぐために、静電気防止用タイルを使用してください。
- 床上げしないで、一般事務室の床に設置できます。
- じゅうたんは静電気障害の原因となるので極力避けてください。やむをえず使用するときは、塵埃の発生が少ない帯電防止用のものを敷いてください。この場合、温湿度を制御する空調機が必要です。

8.4　プリンターの廃棄について

プリンターの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってお客様が処理してください。
詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。